

平成二十九年年度

学生生活実態調査「学群」

報告書 筑波大学



まえがき

このたび、「平成 29 年度筑波大学学生生活実態調査（学群）報告書」が発行される運びとなりました。

筑波大学の学群生を対象とした学生生活実態調査は、開学 5 年目の昭和 53 年度に第 1 回を実施し、平成 29 年度の実施で通算 10 回目の報告になります。

実施にあたっては、回答してくれた学生はもとより、学生生活支援室と学生部を中心として、各教育組織並びに各支援室の協力を得て実施することができました。

今回の調査は、これまでの印刷物による調査ではなく、本学の学習管理システム manaba を用いて実施しました。調査にあたり、設問項目を精選するとともに、回答しやすいよう選択式を基本として、必要に応じて自由記述欄を設け、日本語版か英語版か選んで回答できるようにしました。

本調査は全学生を対象として実施している調査ですが、回答率は 22.5% で、前回に比べ 9.5 ポイント低下しました。特に今回は manaba を用いた調査のため、学生がパソコンからアクセスして回答する必要があったことが、このような回答率となった一因と考えられます。

なお、調査結果は報告書による配布の他、ホームページに掲載し、本学の学生並びに教職員はもとより、学外にも公表します。

本学の教職員においては、本調査結果は、部局の運営や学生の生活環境の改善に役立つ重要な根拠資料であることを認識し、各指標の経年変化に現れる学生意識の変遷を踏まえて、関係部署との連携を図りながら、支援の質の向上に活用していただきたいと思います。

最後に、学生生活支援室はじめ関係者の方々の努力により、今回も本報告が無事刊行できる運びとなりましたこと心から感謝いたします。

平成 30 年 3 月

学生担当副学長 玉川 信一

目 次

まえがき

概要

平成 29 年度学生生活実態調査（学群）概要 1

平成 29 年度筑波大学学生生活実態調査（学群学生用）《和文・英文》 3

筑波大学学生実態調査（学群）回答率について 37

第 1 章 生活全般について 38

問 1. 収入と収支について 38

問 2. アルバイトの経験について 42

問 2-1. アルバイトの種類について 43

問 2-2. アルバイトをする理由について 44

問 2-3. アルバイトの学修への影響について 45

問 3. 大学に希望する経済支援について 46

問 3-1. 一時貸付金を希望する理由について 46

問 4. 現在の住まいについて 47

問 4-1. 学生宿舎への入居希望について 48

問 4-2. 現在の居住地について 49

問 4-3. 入居している学生宿舎について 50

問 4-4. 学生宿舎の満足度について 50

問 4-5. 学生宿舎での生活について 51

問 5. 平均的な 1 日または 1 週間の過ごし方について 52

問 6. 日常生活の満足度について 53

第 2 章 通学・事故等について 54

問 7. 通学時の交通手段について 54

問 8. 雨天時以外の通学時間について 56

問 9. キャンパス交通システム（学内循環バス）の利用頻度について 57

問 10. 自転車事故の経験について 58

問 11. 交通事故の経験について 59

問 12. 盗難被害について 60

問 13.	傷害等の被害について	61
第 3 章	健康状態について	62
問 14.	過去 1 年間の健康状態について	62
問 15.	過去 1 年間の困り事・悩み事について	63
問 16.	過去 1 年間のあなたの感じ方について	64
第 4 章	相談相手・情報の得方について	65
問 17-1.	主な相談相手について	65
問 17-2.	相談相手と話す機会について	67
問 18.	情報の得方について	68
問 19.	相談機関について	69
問 20.	学内広報誌について	70
第 5 章	クラス制度・学生組織・課外活動等について	71
問 21.	クラス制度について	71
問 22.	学生組織の活動について	72
問 23.	サークル活動について	73
問 23-1.	サークル活動を行う理由について	74
問 24.	宗教団体や啓発セミナーへの参加勧誘について	75
問 25.	ボランティア活動について	76
問 26.	T-ACT の活動について	77
問 27.	学外研修施設の利用について	78
第 6 章	進路や就職活動について	79
問 28.	卒業後の進路について	79
問 29.	卒業後の外国での就労希望について	81
問 30.	進路決定の際の相談相手について	82
問 31.	進路を決めた（これから決める時に考慮する）理由について	83
問 32.	将来の進路への感じ方について	84
問 33.	CARIO の活用について	85
問 34.	就職活動に役だった情報源について	86
問 35.	就職活動の学修への影響について	87
第 7 章	本学への期待や要望等について	88
問 36.	教員に最も期待することについて	88

問 37.	教育面や制度面で充実してほしい点について ……………	89
問 38.	manaba の使いやすさについて ……………	90
問 39.	授業での manaba の利用状況について ……………	90
問 40.	今後の授業での manaba の利用について ……………	90
問 41.	設備・充実してほしい施設等について ……………	91
問 42.	学内の福利厚生施設の満足度について ……………	92
問 43.	向上を望むキャンスマナーについて ……………	93
問 44.	筑波大学への要望や提言等について ……………	94
【資料】	平成 29 年度筑波大学学生生活実態調査集計表〈全体〉……………	96

平成 29 年度学生生活実態調査（学群）概要

1. これまでの実態調査の実施と目的

筑波大学では、「学生生活の実態を把握し、学生生活の一層の向上および教育の改善に資すること」を目的として、学生生活実態調査を実施している。これまで、学群学生に対しては、昭和 53 年度から 5 年毎に調査を実施し、平成 20 年度に 7 回目の調査を行った。その後、よりきめ細かな生活実態および学生の要望・提言等を把握するために、2 年に 1 度の間隔で実態調査を実施することになり、平成 22 年度に 8 回目、平成 24 年度に 9 回目の実態調査が行われた。しかし、その後再度の見直しで、実態調査は 5 年毎で十分であるとの判断により、前回実施 5 年後の平成 29 年度に実施した。なお、大学院学生に対する調査も同時に実施し、その結果は別に『平成 29 年度筑波大学学生生活実態調査（大学院）報告書』としてまとめられている。

2. 実施方法の検討と調査項目の設定

学生生活支援室では、平成 29 年 4 月に学生生活実態調査の準備にとりかかり、第 2 回学生生活支援室会議において、室長から室員に対して、学生生活実態調査の実施に向けての協力要請があり、併せて、日程や方法について検討を開始し、1) 調査を平成 29 年 10 月に実施すること、2) 学群の全学生を対象とすること、3) 個人情報管理と作業効率の観点から紙媒体ではなく manaba で行なうこと、などを決定した。第 3 回会議では、manaba での実施を踏まえ、前回の設問にあった所属や学年等々の学生自身に係る項目は削除することとし、それ以外の調査項目について検討した。第 5 回会議では、設問の追加および削除の提案を受けて、慎重な検討を行った。第 6 回会議では、すべての設問について再度検討を行い、7 月上旬までに第 1 次案を作成した。

調査項目の設定においては、回答率を向上させるためにも、設問総数を増やさないことが重要であるとの認識から、項目を厳選する作業を続けた。その結果、前回調査で 52 問（自由記述を除く）であった調査項目は、今回は 44 問に大幅に削減された。今回は、DAC（ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリア）センターの設立を受けて「相談する際に利用する機関」の選択肢に LGBT 等の相談窓口を加えるとともに、ボランティア活動、つくばアクションプロジェクト（T-ACT）の活動、manaba の利用に関する設問などを新たに加えた。学生生活支援室員からは、学生の回答に要する時間を考慮すると、さらに設問を減らすべきとの声も多かったが、経年変化をみるという観点から、さらなる厳選はせずに留めた。大学への要望等に関する設問は、今回も、学生の回答のしやすさと集計・分析の便宜性から、「制度等に関する要望」「教職員に対する要望」「施設に対する要望」などの分類にそれぞれ「カリキュラム」「キャリア・就職支援」「宿舎」「駐輪場」といった小項目を設定する形をとった。

以上のような準備作業を経て、平成 29 年度第 4 回学群教育会議（7 月 18 日開催）で「平成 29 年度筑波大学学生生活実態調査」の実施について報告し、各教育組織に調査への協力を依頼した。また、各学類・専門学群の学生担当教員にも、本調査の実施案を提示して意見聴取を行い、学群長・学類長および学生担当教員から出された意見や要望事項について、修正や改善作業を行うと同時に、増加する留学生への対応として、調査票の英語版の作成に入り、9 月中旬までには日本語版と英語版の調査票を確定し、情報の秘匿性を確保する旨の表記など、細部にわたる確認作業を行った。

3. 調査の実施

10 月 2 日(月)から 10 月 31 日(火)までの期間で manaba によるアンケート調査を実施した。調査期間中、

第5回学群教育会議（10月17日開催）において、教育組織ごとの回答率を提示し、回答率の向上を促した。しかし、回答率が想定より低かったため、10月26日開催の学生生活支援室会議において、調査期間を11月10日（金）まで延長することとした。

調査期間中も、その後の集計作業時も、システムトラブルなど問題になることはなく、関係教職員の方々の尽力により、スムーズに調査と分析を実施することができたのは大変有難かった。ただし、manabaによる回答率は全体で22.5%となり、前回の32.1%から大きく低下してしまった。なお、今回も学類・専門学群ごとの回答率の差は大きく、できる限りの方法で学生への周知を繰り返したが、依頼回数が多すぎるとの苦情もあり、今回の回答率が限界であった。今後の改善が望まれる。

4. 調査結果の分析と報告書の作成

調査期間終了と同時に担当事務職員が調査データの集計を開始し、12月下旬までに完了した。学生生活支援室員と学生部職員に、集計結果の数値をもとに作成された表とグラフが提示され、1月中旬までに各項目の分析結果が整えられた。その後、全体の内容確認が行われ、3月の報告書の発行に至った。

本報告書の発行にあたり、様々な角度からデータの分析を行い、原稿を作成していただいた以下の学生生活支援室員および関係部局の方々に感謝したい。

また、各教育組織においても、学生生活の一層の向上と教育の改善の基礎資料として、本報告書を活用していただければ幸いである。

執筆分担：

概要	田 中 博	（計算科学研究センター）
問 1～問 6	田 中 博	（計算科学研究センター）
問 7～問13	成 瀬 和 弥	（体育系）
問14～問16	田 附 あえか	（人間系）
問17～問20	黒 田 卓 哉	（学生生活支援室）
問21～問27	澁 谷 長 史	（システム情報系）
問28～問35	DACセンター キャリアサポート部門	
問36～問44	中 村 顕	（生命環境系）

平成 29 年度 筑波大学学生生活実態調査（学群学生用）

*** お願い ***

この調査は、皆さんの学生生活の実態を把握し、本学の学生生活の一層の向上および教育改善に資することを目的として実施するもので、調査対象者は学群・学類、大学院の学生（正規生）の皆さんです。

この調査は、本調査以外の目的に用いることはありませんので、ありのままを記入してください。

調査結果は、実態調査報告書として公表し、ホームページでも公開する予定です。

個人情報の取り扱いなどについて

今回の学生生活実態調査は、学習管理システム manaba（統一認証）を利用した調査となるため、調査元の学生部は、皆さんの個人情報を取得することになりますが、個人を特定できる部分のデータ（学籍番号・氏名）は使用しません。アンケート結果も統計的に処理し、個人を特定できるデータは一切公開いたしません。また、個人情報については、「行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律」を遵守するとともに、「国立大学法人筑波大学個人情報保護管理規則」に基づき、厳密に取り扱います。

以上をご了解の上で回答していただきたくお願いいたします。

この調査の趣旨をご理解のうえ、多くの学生の皆さんのご協力をお願いいたします。

平成 29 年 10 月

筑波大学 副学長（学生担当） 玉川 信一

1. 記入の方法などについて

- ① 調査は、全部で 44 問です。（所要時間は 30 分程度です）
- ② 回答は、番号を選ぶ選択方式と、具体的に記述するものがあります。
番号選択方式の場合は、該当する番号を選んでください。
その他欄等への記述の場合は、指定された欄に入力してください。
- ③ 平成 29 年 10 月 1 日現在で記入してください。
- ④ アンケートを途中保存する場合は、アンケートページ内の「中断する」のボタンを押してください。
- ⑤ アンケートページを前後する場合は、アンケートページ内の「前へ」「次へ」のボタンを使用し、ブラウザの戻るボタンは使用しないでください。

2. 提出期間

平成 29 年 10 月 2 日（月）～平成 29 年 10 月 31 日（火）

3. ご質問・ご意見等の問い合わせ先（調査元：学生部 学生生活課 学生企画チーム）

電 話：029-853-2298・2224

メール：gk.gakuseikikaku@un.tsukuba.ac.jp

I. 生活全般について

問1. あなたの1ヶ月の生活費について、平均的な収入と支出の金額を記入してください。

例) 3000円

A. 収入

- | | | | |
|--------|---|----------------------|---|
| ①仕送り | : | <input type="text"/> | 円 |
| ②奨学金 | : | <input type="text"/> | 円 |
| ③アルバイト | : | <input type="text"/> | 円 |
| ④預貯金から | : | <input type="text"/> | 円 |
| ⑤借金により | : | <input type="text"/> | 円 |
| ⑥その他 | : | <input type="text"/> | 円 |

B. 支出

- | | | | |
|--------------------------|---|----------------------|---|
| ①食費 | : | <input type="text"/> | 円 |
| ②住居費（家賃・共益費・光熱費等） | : | <input type="text"/> | 円 |
| ③就学費（授業料を除く図書・文房具・パソコン等） | : | <input type="text"/> | 円 |
| ④交通費（定期代・ガソリン代・駐車場代等） | : | <input type="text"/> | 円 |
| ⑤通信費（電話料・インターネット等） | : | <input type="text"/> | 円 |
| ⑥その他（交際費・教養娯楽費・被服費・医療費等） | : | <input type="text"/> | 円 |
| ⑦預貯金・借金返済 | : | <input type="text"/> | 円 |

問2. 今年の4月以降にアルバイトをしましたか。あてはまるものを1つだけ選択してください。

1. 定期的なアルバイトをした
2. 臨時的なアルバイトをした
3. 定期的・臨時的両方のアルバイトをした
4. 全くしなかった

問2で「1」～「3」を選択した方にお聞きます。

問2-1. 仕事の種類について、あてはまるものをすべて選択してください。

1. 家庭教師
2. 塾講師・添削指導
3. 一般事務
4. 特殊技能（翻訳・通訳・スポーツコーチ等）
5. 飲食店での業務
6. 飲食店以外の軽労働（調査・配達・販売等）
7. 重労働（引っ越し・建築関係等）
8. その他

◎「8. その他」を選択した方は、職種を記入してください。

問2で「1」～「3」を選択した方にお聞きします。

問2-2. アルバイトを行う理由は何ですか。あてはまるものをすべて選択してください。

1. 学費や生活費のため
2. サークル活動費のため
3. レジャー・海外旅行のため
4. 技術を得るため
5. 友人を得るため
6. その他

◎「6. その他」を選択した方は、その理由を記入してください。

問2で「1」～「3」を選択した方にお聞きします。

問2-3. アルバイトに費やされる時間は学修の妨げになっていますか。あてはまるものを1つだけ選択してください。

1. かなり妨げになっている
2. 多少妨げになっている
3. 妨げになっていない

問3. 大学に希望する経済支援は何ですか。あてはまるものをすべて選択してください。

1. 給付型（返還義務なし）奨学金
2. 貸与型（返還義務あり）奨学金
3. 授業料免除
4. 一時貸付金
5. その他
6. 特に希望しない

◎「5. その他」を選択した方は、希望する経済支援の具体例を記入してください。

問3で「4. 一時貸付金」を選択した方にお聞きします。

問3-1. 一時貸付金を希望する理由は何ですか。あてはまるものをすべて選択してください。

1. 授業料のため
2. 生活費のため
3. その他

問4. あなたの現在の住まいについて、あてはまるものを1つだけ選択してください。

1. 学生宿舎
2. 民間のアパート・マンションなど
3. 親と同居
4. 親戚・知人宅
5. その他

問4で「2」～「5」を選択した方にお聞きします。

問4-1. 学生宿舎への入居を希望しますか。

希望する 希望しない

問4で「2」～「5」を選択した方にお聞きします。

問4-2. あなたの現在の居住地について、あてはまる番号を1つだけ選択してください。

(A) 学生宿舎以外でつくば市内 (1. 天久保 2. 春日 3. 桜 4. 柴崎 5. 吾妻 6. その他)

(B) つくば市以外で茨城県内 (1. 県南地域 2. 県西地域 3. その他)

(C) 茨城県外で関東地方 (1. 東京都 2. 千葉県 3. 埼玉県 4. その他)

(D) その他 (1. その他)

問4で「1. 学生宿舎」を選択した方にお聞きします。

問4-3. 入居している学生宿舎について、あてはまるものを各1つずつ選択してください。

① 学生宿舎の地区

1. 一の矢地区
2. 平砂地区
3. 追越地区
4. 春日地区

② 居室のタイプ

1. 単身宿舎
2. 世帯宿舎
3. 二人室
4. シェアハウス

問4で「1. 学生宿舎」を選択した方にお聞きします。

問4-4. 入居している学生宿舎の満足度について、あてはまるアルファベットを各1つずつ選択してください。

1. 料金
2. 居室
3. 補食室
4. トイレ
5. 洗濯室 (ランドリー)
6. 浴場
7. コインシャワー
8. 外灯
9. 出入口の施錠
10. 売店・食堂
11. 管理事務所の対応
12. 総体的に

a. かなり満足

- b. おおむね満足
- c. どちらともいえない
- d. 少し不満
- e. かなり不満

1 √ 2 √ 3 √ 4 √ 5 √ 6 √
 7 √ 8 √ 9 √ 10 √ 11 √ 12 √

問4で「1. 学生宿舎」を選択した方にお聞きします。

問4－5. 学生宿舎での生活について、あてはまるものを各1つずつ選択してください。

A. 近隣の入居者との関係は

- 1. よく会話をする
- 2. 時々会話する
- 3. あいさつを交わす程度
- 4. ほとんど会話しない

B. 留学生居住者との交流（留学生の方は、日本人居住者との交流）はありますか

- 1. よくある
- 2. ときどきある
- 3. あまりない
- 4. まったくない

C. 今年度の宿舎祭に参加しましたか

- 1. 企画（イベントや模擬店、実行委員など）で参加した
- 2. 来場者として参加した
- 3. 参加しなかった

問5. 平均的な1日または1週間の過ごし方について

A. 平日の1日での平均時間を記入してください

①大学の授業・実習・研究等の時間 : 時間
 ②授業等以外の学習時間 : 時間
 ③睡眠時間 : 時間

B. 1週間の総時間を記入してください

①大学の授業・実習・研究等の時間 : 時間
 ②授業等以外の学習時間 : 時間
 ③サークル・ボランティアなどの活動時間 : 時間
 ④アルバイト時間 : 時間

問6. 現在の日常生活に、全体として満足していますか。あてはまるものを1つだけ選択してください。

- 1. かなり満足
- 2. おおむね満足
- 3. どちらともいえない

- 4. 少し不満
- 5. かなり不満

II. 通学・事故等について

問7. あなたが1回の通学のために利用している交通手段はどのようなものですか。雨天及び雨天以外の日それぞれについて、あてはまるものをすべて選択してください。

① 雨天時

- 1. 徒歩
- 2. 自転車
- 3. バイク（原付を含む）
- 4. 自家用車
- 5. キャンパス交通システム（学内循環バス）
- 6. 学内循環バス以外の路線バス
- 7. つくばエクスプレス（TX）
- 8. JR 常磐線
- 9. その他

◎「9. その他」を選択した方は、具体的な交通手段を記入してください。

② 雨天以外

- 1. 徒歩
- 2. 自転車
- 3. バイク（原付を含む）
- 4. 自家用車
- 5. キャンパス交通システム（学内循環バス）
- 6. 学内循環バス以外の路線バス
- 7. つくばエクスプレス（TX）
- 8. JR 常磐線
- 9. その他

◎「9. その他」を選択した方は、具体的な交通手段を記入してください。

問8. 雨天の日以外のあなたの通学時間は片道どのくらいですか。あてはまるものを1つだけ選択してください。

- 1. 15分未満
- 2. 15分～30分未満
- 3. 30分～45分未満
- 4. 45分～1時間未満
- 5. 1時間～1時間半未満
- 6. 1時間半～2時間未満

7. ○ 2時間以上

問9. キャンパス交通システム（学内循環バス）の利用頻度はどのくらいですか。あてはまるものを1つだけ選択してください。

1. ○ ほぼ毎日
2. ○ 週に2～3回
3. ○ 月に2～3回
4. ○ 年に数回
5. ○ いままで数回
6. ○ 利用したことはない

問10. 過去1年間で（新生は大学入学後）、自転車事故の経験はありますか。あてはまるものをすべて選択してください。

1. 事故の経験はない
2. 加害者になったことがある
3. 被害者になったことがある
4. 自損事故の経験がある

◎「2」～「4」を選択した方は、具体的な場所を記入してください。

問11. 過去1年間で（新生は大学入学後）、交通事故（自転車事故を除く）の経験はありますか。あてはまるものをすべて選択してください。

1. 事故の経験はない
2. 加害者になったことがある
3. 被害者になったことがある
4. 自損事故の経験がある

問12. 大学入学後、盗難被害にあったことがありますか。あてはまるものをすべて選択してください。

1. 被害にあったことはない
2. 学内で被害にあった
3. 学外で被害にあった

◎「2」、「3」を選択した方は、盗難物と場所を具体的に記入してください。

【盗難物】

【場 所】

問13. 大学入学後、引たくりや暴行・傷害・たかり・恐喝などの被害にあったことはありますか。あてはまるものをすべて選択してください。

1. 被害にあったことはない
2. 学内で被害にあった
3. つくば市内で被害にあった

4. 上記以外の場所で被害にあった

Ⅲ. 健康状態について

問14. あなたの過去1年間の健康状態について、あてはまるものをすべて選択してください。

1. 健康である
2. 健康不良で数日寝込んだ（受診・入院を除く）
3. 身体の病気で受診・入院した
4. 精神的な問題で受診・入院した
5. 心理的な問題で相談機関を利用した
6. けがで受診・入院した
7. その他

問15. あなたは過去1年間にどのようなことで困ったり悩んだりしましたか。あてはまるものをすべて選択してください。

1. 学業や研究の不振
2. 単位修得の問題
3. 転学類・転学群
4. 休学・退学
5. 進路
6. 就職
7. 友人との関係
8. 教員との関係
9. 研究室内の問題
10. 部活動・サークル内の問題
11. 恋愛関係
12. 家族関係
13. 自分の性格
14. 自分の精神的・心理的状态
15. 自分の身体的病気・けが等の状態
16. 経済状態
17. ハラスメント
18. その他
19. 特になし

◎「18. その他」を選択した方は、その内容を具体的に記入してください。

問16. 次の事柄について、過去1年間のあなたの感じ方に最も近いのはどれですか。あてはまるアルファベットの各1つずつ選択してください。

1. 自分のやりたいことができている
2. 何となく不安になることがある

3. 自分のことをよくわかってきている人がいる
4. 何をやってもうまくいかない気がする
5. 気分が憂鬱である
6. 「死にたい」と思ったことがある
7. 大学生活が充実している

- a. とてもあてはまる
- b. 少しあてはまる
- c. あまりあてはまらない
- d. 全くあてはまらない

1 2 3 4 5 6 7

IV. 相談相手・情報の得方について

問17-1. あなたが重要なことを話したり、悩みを相談する人はどなたですか。話したり相談しやすい順に3つまで選択してください。

1. 1番目に話したり相談しやすい人は
2. 2番目に話したり相談しやすい人は
3. 3番目に話したり相談しやすい人は

- a. 家族
- b. 恋人
- c. 友人（学内）
- d. 友人（学外）
- e. 先輩・後輩（学内）
- f. 先輩・後輩（学外）
- g. 教員
- h. その他
- i. 特にいない

1 2 3

問17-1で「a」～「h」を選択した方にお聞きます。

問17-2. 「問17-1」で話したり相談しやすいとして選んだ人たちとあなたが話をする機会（電話やメールも含みます）は普段どのくらいありますか。それぞれの人についてあてはまるアルファベットを選択してください。

1. 1番の人とは
2. 2番の人とは
3. 3番の人とは

- a. 頻繁にある
- b. 少しある
- c. あまりない

d. ほとんどない

1 2 3

問18. 学業や生活に関わる一般的な情報を得ようとするとき、主に誰にあるいはどこにアクセスしますか。あてはまるものをすべて選択してください。

1. 担任・指導教員
2. 支援室の事務職員
3. 友人等
4. Web 掲示板
5. TWINS 掲示板
6. 大学のHP
7. 学群・学類等のHP
8. 学群・学類やクラスのメーリングリスト
9. SNS (social networking service)
10. その他

問19. 筑波大学には、学生生活の中で生じる様々な問題について、相談できる機関や制度があります。利用状況について、あてはまるアルファベットを各1つずつ選択してください。

1. スチューデントプラザ総合相談窓口
2. 春日地区総合相談窓口
3. 保健管理センター 学生相談室
4. キャリア・就職相談 (学生)
5. 相談室「あう」
6. 保健管理センター1階 精神保健相談 (精神科)
7. 保健管理センター2階 健康相談 (内科)
8. LGBT等の相談窓口 (DACセンターダイバーシティ部門)
9. 障害学生支援の相談窓口 (DACセンターアクセシビリティ部門)
10. 留学生相談室
11. ハラスメント相談センター

a. 利用したことがある

b. 利用したことはないが、利用の仕方は知っている

c. 利用したことはないが、存在は知っている

d. 利用したことがなく、存在も知らない

1 2 3 4 5
6 7 8 9 10 11

問20. 定期的を読む学内広報誌は何ですか。あてはまるものをすべて選択してください。

1. 筑波大学新聞
2. つくばスチューデントズ
3. Campus
4. 筑波スポーツ

- 5. TSUKUBA SPORTS NEWS FLASH (TSA)
- 6. その他
- 7. どれも読まない

V. クラス制度・学生組織・課外活動等について

「1年生」「2年生」の方のみにお聞きします。

問2 1. あなたのクラスはどのように機能していますか。あてはまるものをすべて選択してください。

- 1. 大学への要望をまとめる
- 2. 大学からの情報を学生に連絡する
- 3. 勉強会を行う
- 4. 行事を企画運営する
- 5. 友人・知り合いをつくる
- 6. クラス担任教員とのつながりを維持する
- 7. その他
- 8. 機能していない

「1年生」「2年生」の方のみにお聞きします。

問2 2. 学生組織の活動について、あてはまるアルファベットを各1つずつ選択してください。

- 1. クラス代表者会議の活動
- 2. 全学学類・専門学群代表者会議（全大会の活動）

- a. よく知っている
- b. まあまあ知っている
- c. あまり知らない
- d. 全く知らない

1 √ 2 √

問2 3. サークル活動について、あてはまるものを1つだけ選択してください。（大学から認定されたサークルとは課外活動団体及び一般団体のことを示します。）

- 1. 大学から認定されたサークルで活動中
- 2. 大学の認定を受けていないサークルで活動中
- 3. 「1」と「2」両方のサークルで活動中
- 4. 以前は活動していた
- 5. 活動したことはない

問2 3で「1」～「4」を選択した方にお聞きします。

問2 3-1. サークル活動の動機について、あてはまるものをすべて選択してください。

- 1. 友人がほしくて
- 2. 知識・教養のため
- 3. 健康のため
- 4. 技術向上のため

- 5. 団体活動を経験したい
- 6. 趣味と一致
- 7. 余暇の利用のため
- 8. レクリエーションの一環で
- 9. 希望の進路と同じで有益
- 10. 就職などにプラス
- 11. 高校時代からの継続
- 12. 勧誘されて
- 13. 社会貢献のため
- 14. その他

問24. 宗教団体や啓発セミナーなどへの参加勧誘についてお尋ねします。

- ① 大学入学後、キャンパス内で勧誘を受けたことが
 ある ない
- ② 大学入学後、キャンパス外で勧誘を受けたことが
 ある ない
- ③ 大学入学後、キャンパス内で他の人が勧誘を受けているのを見たり、聞いたりしたことが
 ある ない
- ④ 大学入学後、キャンパス外で他の人が勧誘を受けているのを見たり、聞いたりしたことが
 ある ない

問25. 大学生となつてからのボランティア活動について、あてはまるものをすべて選択してください。

- 1. 授業やゼミを通じて参加したことがある
- 2. つくばアクションプロジェクト (T-ACT) を通じて参加したことがある
- 3. サークル活動を通じて参加したことがある
- 4. その他の機会に参加したことがある
- 5. 参加したことはないが、在学中に参加したいと考えている
- 6. ボランティア活動に参加する予定はない

問26. つくばアクションプロジェクト (T-ACT) の活動について、あてはまるものをすべて選択してください。

(T-ACTとは、学生の「やってみたい」を支援する学生支援組織です。)

- 1. T-ACTで企画の発案者(プランナー)や運営者(オーガナイザー)を行ったことがある
- 2. T-ACTの企画に参加者(パーティシパント)として関わったことがある
- 3. 総合科目「みんなで創ろう『つくばアクションプロジェクト』」を受けたことがある
- 4. T-ACT主催のイベント(活動報告会や公開シンポジウムなど)に参加したことがある
- 5. その他の機会でT-ACTに関わったことがある
- 6. 参加したことはないが、在学中に参加したいと考えている
- 7. T-ACTの活動に参加する予定はない

問27. 筑波大学の学外研修施設（山中・館山）を利用したことはありますか。あてはまるものを1つだけ選択してください。

1. ある
2. ない
3. 存在を知らない

VI. 進路や就職活動について

問28. あなたの卒業後の進路（現在の希望を含む）について、あてはまる番号を1つだけ選択してください。

- (A) 進学 (1. 筑波大学大学院 2. 国内の他大学大学院 3. 海外の大学院 4. その他)
(B) 就職 (1. 企業 2. 教員 3. 公務員 4. 自営・起業 5. その他)
(C) その他 (1. 決まっていない 2. まだ考えていない 3. その他)

V

問29. あなたは卒業後、外国で（留学生は卒業後、日本で）働きたいと思いますか。あてはまるものを1つだけ選択してください。

1. 強くそう思う
2. ややそう思う
3. 分からない
4. あまりそう思わない
5. 全くそう思わない

問30. あなたの進路決定の際の主な相談相手はどなたですか。あてはまるものをすべて選択してください。

1. 家族
2. 親戚・知人
3. 友人・先輩
4. 教員
5. 事務職員
6. その他

問31. あなたが進路を決めた（これから決めるときに考慮する）主な理由について、あてはまるものをすべて選択してください。

1. やりがい
2. 社会的貢献
3. 給与が多い
4. 安定した生活
5. ワーク・ライフ・バランス
6. 自分の能力や適性
7. 専門知識を深める
8. 大学で学んだことが生かせる
9. 社会的評価
10. 将来性

1 1. 地理的利便性

1 2. その他

問 3 2. 将来の進路（キャリア形成）についてあなたの感じ方に最も近いのはどれですか。あてはまるアルファベットを各 1 つずつ選択してください。

1. 将来の進路（キャリア形成）について、とても関心を持っている
2. 働くことについて、真剣に考えたことがない
3. 進路決定では、周囲の雰囲気流されることはない
4. 職業生活を充実させるためには、自分自身の責任が大きいと思う
5. 希望する進路に進むための具体的な計画を立てている
6. 希望する進路は決まっているが、それに向けての努力は特にしていない

- a. よくあてはまる
- b. ややあてはまる
- c. どちらともいえない
- d. あまりあてはまらない
- e. 全くあてはまらない

1 √ 2 √ 3 √ 4 √ 5 √ 6 √

問 3 3. あなたは CARIO（つくばキャリアポートフォリオ）を活用していますか。あてはまるものを 1 つだけ選択してください。

1. 現在、活用している
2. 時々、活用している
3. フレッシュマンセミナーでのみ活用した
4. 活用していない

◎「4. 活用していない」を選択した方で、活用していない理由がある方は記入してください。

「就職活動をした」「就職活動中」の方にお聞きします。

問 3 4. 就職活動に役立った主な情報源は何ですか。あてはまるものをすべて選択してください。

1. キャリアサポート部門 / 就職課
2. キャリアサポート部門 / 就職課 HP
3. 学内の就職ガイダンス
4. 学群・学類の就職委員
5. 就職情報誌
6. 就職情報サイト
7. 学外の就職イベント
8. 企業・自治体等の HP
9. インターンシップ
- 1 0. OB・OG 訪問
- 1 1. その他

◎「11. その他」を選択した方は、役に立った情報源を具体的に記入してください。

「就職活動をした」「就職活動中」の方にお聞きします。

問35. 就職活動によって、大学での学修に支障がでましたか。あてはまるものを1つだけ選択してください。

1. 支障は全くでていない
2. 支障はほとんどでていない
3. 支障が多少はでている
4. 支障がとてんでている

VII. 本学への期待や要望について

問36. 筑波大学の教員に最も期待することはどのようなことですか。あてはまるものを1つだけ選択してください。

1. 学問・研究の楽しさを教えてほしい
2. 授業内容を充実させてほしい
3. もっと解りやすく教えてほしい
4. ハラスメントの問題に敏感になってほしい
5. その他
6. 特になし

◎「5. その他」を選択した方は、期待することを具体的に記入してください。

問37. 教育面や制度面で充実してほしいと思うのはどのようなことですか。あてはまるものをすべて選択してください。

1. 教育スタッフ
2. カリキュラム
3. 教職課程
4. 課外教育プログラム（講演会・講習会等）
5. 留学制度
6. 就職説明会
7. クラス制度
8. 学生組織
9. 奨学金・授業料免除
10. 課外活動に対する支援
11. ボランティア活動に対する支援
12. メンタル面に関する支援
13. ハラスメント対応（組織・制度）
14. その他

◎「14. その他」を選択した方は、充実してほしい点を具体的に記入してください。

問38. manaba の使いやすさについて、あてはまるものを1つだけ選択してください。

1. 満足
2. まあ満足
3. 普通
4. やや不満
5. 不満

◎manaba について改善してほしい点があれば記入してください。

問39. 授業での manaba の利用状況について、あてはまるものを1つだけ選択してください。

1. 満足
2. まあ満足
3. 普通
4. やや不満
5. 不満

問40. 授業での manaba の利用を、今後どのようにすればよいと思いますか。あてはまるものを1つだけ選択してください。

1. 積極的に利用してほしい
2. 現状程度でいい
3. 利用しないほうがいい

問41. キャンパス内の施設等で、特に整備・充実してほしいのはどれですか。あてはまるものをすべて選択してください。

1. 教室・実験室
2. 図書館
3. IT 環境
4. 体育施設
5. 課外活動施設
6. セキュリティ
7. 駐車場
8. 駐輪場
9. 学内循環バス
10. ペDESTリアン
11. 外灯
12. その他

◎「1 2. その他」を選択した方は、整備・充実してほしい点を具体的に記入してください。

問4 2. 学内の福利厚生施設の満足度について、あてはまるアルファベットを各1つずつ選択してください。

1. 食堂
2. 喫茶
3. パン販売
4. キッチンカー
5. 書店
6. 画材
7. その他売店
8. 自動販売機

- a. 満足
- b. まあ満足
- c. 普通
- d. やや不満
- e. 不満

1 √ 2 √ 3 √ 4 √ 5 √
6 √ 7 √ 8 √

◎現在の福利厚生施設等で不便を感じたり改善してほしい点があれば、下記の分類表から該当する番号を記入後、具体的な内容を記述してください。複数項目に対する記述も可能です。

【分類表】

1. 食堂 2. 喫茶 3. パン販売 4. キッチンカー 5. 書店 6. 画材
7. その他売店 8. 自動販売機

【記述例】

4. もっと多くの場所で販売してほしい
1.

【記述欄】

問4 3. 筑波大学生のキャンパスマナーに関して、向上を望みたいことはどのようなことですか。あてはまるものをすべて選択してください。

1. 運転マナー
2. 駐輪マナー
3. 飲酒マナー
4. 談話室等共有スペースの利用マナー
5. 喫煙マナー
6. その他
7. 特になし

Survey for Student Life in the University of Tsukuba, 2017
For Undergraduate Students

*** Please Read ***

The purposes of this survey are to learn about living conditions for all students, to further improve student life in the University of Tsukuba, and to contribute to improvements in education. The survey is for all students (regular students) in all the schools, colleges and graduate schools of University of Tsukuba.

The survey will not be used for any purpose other than those mentioned above. Please answer with complete honesty.

We intend to release the survey's results in a survey report, which will also be published on the University's website.

Managing your personal information

This survey for student life is conducted using the study management system "manaba" (with integrated authentication). The Department of Student Affairs is administering the survey and will be able to access personal information of all students but will not use data that can identify individuals (student registration numbers and names). Statistics will be produced from the survey results in aggregate but data that can identify individuals will NOT be published. Personal information will be handled strictly in accordance with the law "Act on the Protection of Personal Information held by Administrative Organs" and in line with the University's "Personal Information Protection Rules".

Please understand the above points when filling out the survey.

We hope that all students will cooperate with the survey to improve student life.

October 2017

Shin-ichi Tamagawa, Vice President for Student Affairs,
University of Tsukuba

1. Notes for filling out the survey:

- ① The survey has a total of 44 questions. (The required time is approximately 30 minutes.)
- ② Some questions ask for selection of numbered answers and some ask for written answers. Where selection of numbered answers is required, select the applicable number(s). Where written answers are required, type in the designated boxes.
- ③ The survey should be filled out as of October 1, 2017.
- ④ If you like to save your entry in the middle of a questionnaire, click the ※¹“中断する” box on the page of questionnaire.
- ⑤ If you like to move your page back and forth, click the ※²“前へ” or ※³“次へ” box on the page of questionnaire. Do not use the back function on an Internet browser.

※¹ “中断する” : quit ※² “前へ” : forward ※³ “次へ” : backward

2. Submission period:

October 2 (Monday) to October 31 (Tuesday), 2017

3. Please send any questions or feedback to the survey administrators (Student Planning Team, Division of Student Welfare, Department of Student Affairs).

Tel. [029-853-2298](tel:029-853-2298) or [029-853-2224](tel:029-853-2224)

Email: gk_gakuseikikaku@un.tsukuba.ac.jp

I. General Lifestyle

Q1. How much money do you receive and spend in a typical month? Enter your average monthly income and expenditure.

A. Income

- ① Remittances _____yen
- ② Scholarship _____yen
- ③ Part-time work _____yen
- ④ From your Savings _____yen
- ⑤ Loans _____yen
- ⑥ Other _____yen

B. Expenses

- ① Food _____yen
- ② Housing (rent, common area fee, utilities, etc.) _____yen
- ③ Study (exclude tuition fees; include books, office supplies, computer expenses, etc.) _____yen
- ④ Transport (commuter pass, fuel costs, parking fees, etc.) _____yen
- ⑤ Communications (telephone, Internet, etc.) _____yen
- ⑥ Others (leisure, hobbies, entertainment, clothing, medical costs, etc.) _____yen
- ⑦ Savings or loan repayments _____yen

Q2. Have you done any part-time work since the beginning of April 2017? Select only one answer.

- 1. Regular part-time work
- 2. One time part-time work
- 3. Both regular and one time part-time work
- 4. None

If you selected 1, 2 or 3 in Q2, answer Q2-1.

Q2-1. What kind of work did you do? Select all answers that apply.

- 1. Private tutoring
- 2. Cram school teaching or remote learning support
- 3. Administrative work
- 4. Specialist work (translation, interpreting, sports coaching, etc.)
- 5. Restaurant work
- 6. Light work other than restaurant work (surveys, delivery, sales, etc.)
- 7. Heavy work (house-moving, construction, etc.)
- 8. Others

◎ If you selected 8 (Others) in Q2-1, write the kind of work.

If you selected 1, 2 or 3 in Q2, answer Q2-2.

Q2-2. Why did you take part-time work? Select all answers that apply.

- 1. To pay for study or living costs
- 2. To pay for circle activities
- 3. To pay for leisure activities or foreign travel
- 4. To learn skills
- 5. To find friends

6. Others

◎If you selected 6 (Others) in Q2-2, write the reason.

If you selected 1, 2 or 3 in Q2, answer Q2-3.

Q2-3. Has the time you spend working interfered with your learning? Select only one answer.

1. Very much
2. A little
3. No

Q3. What kind of financial support would you request to the University? Select all answers that apply.

1. Grant type (no repayment required) scholarships
2. Student loans (repayment required)
3. Tuition fee exemptions
4. Short-term loans
5. Others
6. None in particular

◎If you selected 5 (Others) in Q3, enter a specific example of the financial support you would like to receive.

If you selected 4 (short-term loans) in Q3, answer Q3-1.

Q3-1. What should the short-term loans be for? Select all answers that apply.

1. Tuition fees
2. Living costs
3. Others

Q4. Where are you currently living? Select only one answer.

1. Student residence hall
2. Private apartment or similar
3. With parents
4. A relative or acquaintance's home
5. Others

If you selected any of 2 to 5 in Q4, answer Q4-1.

Q4-1. Would you like to live in a student residence hall?

- Yes No

If you selected any of 2 to 5 in Q4, answer Q4-2.

Q4-2. Which area do you currently live in? Select one answer.

- (A) Tsukuba City other than the student residence halls
(1. Amakubo 2. Kasuga 3. Sakura 4. Shibasaki 5. Azuma 6. Other)
- (B) Ibaraki Prefecture other than Tsukuba
(1. South Ibaraki District 2. West Ibaraki District 3. Other)
- (C) Kanto other than Ibaraki
(1. Tokyo Metropolis 2. Chiba Prefecture 3. Saitama Prefecture 4. Other)

(D) Other (1. Other)

If you selected 1 (Student residence halls) in Q4, answer Q4-3.

Q4-3. Where is your residence hall and what type of room do you have? Select one of each.

①Area of student residence hall

1. Ichinoya
2. Hirasuna
3. Oikoshi
4. Kasuga

②Type of room

1. Single room
2. Family room
3. Twin room
4. Shared house

If you selected 1 (Student residence halls) in Q4, answer Q4-4.

Q4-4. How satisfied are you with the student residence hall? Select only one answer for each category.

1. Cost
 2. Private room
 3. Communal kitchen
 4. Toilets
 5. Laundry room
 6. Bathroom
 7. Coin-operated showers
 8. Outside lighting
 9. Entrance security
 10. Shops and cafeterias
 11. Admin office
 12. Overall
-
- a. Very satisfied
 - b. Fairly satisfied
 - c. Neutral
 - d. Fairly dissatisfied
 - e. Very dissatisfied

1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____ 6 _____
7 _____ 8 _____ 9 _____ 10 _____ 11 _____ 12 _____

If you selected 1 (Student residence halls) in Q4, answer Q4-5.

Q4-5. How is life in the student residence hall? Select one answer for each question.

A. Do you know your neighbors?

1. We often talk
2. We occasionally talk
3. We just exchange greetings

4. We hardly talk

B. Do you talk to residents from other countries? (If you are from another country, do you talk to Japanese residents?)

1. Often
2. Sometimes
3. Rarely
4. Never

C. Did you take part in your hall's festival this year?

1. I helped to run it (organized an event, worked on a stall, was on the committee, etc.)
2. I attended it
3. I did not take part

Q5. How do you spend a typical day and week?

A. How many hours a day on a weekday do you spend on the following?

- ① Lectures, experiments, research, etc. in the University _____ hours
② Study other than lectures in the University _____ hours
③ Sleep _____ hours

B. How many hours in total in a typical week do you spend on the following?

- ① Lectures, experiments, research, etc. in the University _____ hours
② Study other than lectures in the University _____ hours
③ Circle activities, volunteer activities, etc. _____ hours
④ Part-time work _____ hours

Q6. Are you satisfied with your daily life in general? Select only one answer.

1. Very satisfied
2. Fairly satisfied
3. Neutral
4. Fairly dissatisfied
5. Very dissatisfied

II. Daily Commuting and Accidents

Q7. How do you commute between home and the University? Select all answers that apply for both wet days and dry days.

① Wet days

1. Walking
2. Bicycle
3. Motorbike (including scooters)
4. Private car
5. Campus transport system (University Loop-line On-campus Bus)
6. Other local bus
7. Tsukuba Express (TX)
8. JR Joban line
9. Others

⊙If you selected 9 (Others) in ① of Q7, specify how you commute.

②Dry days

1. Walking
2. Bicycle
3. Motorbike (including scooters)
4. Private car
5. Campus transport system (University Loop-line On-campus Bus)
6. Other local bus
7. Tsukuba Express (TX)
8. JR Joban line
9. Others

⊙If you selected 9 (Others) in ② of Q7, specify how you commute.

Q8. How long does your commute take (for one way) usually except wet days? Select only one answer.

1. Less than 15 minutes
2. 15–29 minutes
3. 30–44 minutes
4. 45–59 minutes
5. 60–89 minutes
6. 90–119 minutes
7. More than two hours

Q9. How often do you use the campus transport system (University Loop-line On-campus Bus)? Select only one answer.

1. Nearly every day
2. Two or three times a week
3. A few times a month
4. A few times a year
5. A few times ever
6. Never

Q10. Have you been involved in a bicycle accident in the past one year (or since joining the University)?

Select all answers that apply.

1. No traffic accident
2. I have caused a traffic accident
3. I have been the victim of a traffic accident
4. I have caused a self-incurred accident

If you selected any of 2 to 4 in Q10, specify the location.

Q11. Have you been involved in a traffic accident (excluding bicycle accidents) in the past one year (or since joining the University)? Select all answers that apply.

1. No traffic accident

2. I have caused a traffic accident
3. I have been the victim of a traffic accident
4. I have caused a self-incurred accident

Q12. Have you had anything stolen since joining the University? Select all answers that apply.

1. No
2. Yes, on campus
3. Yes, off campus

⊙If you selected 2 or 3 in Q12, specify the stolen item and the place where the theft took place.

[Stolen item(s)] _____

[Location] _____

Q13. Have you been a victim of purse snatching, assault, extortion, threats or similar since joining the University? Select all answers that apply.

1. No
2. Yes, on campus
3. Yes, in Tsukuba city
4. Yes, outside Tsukuba city

III. Health

Q14. How has your health been in the past one year? Select all answers that apply.

1. Good health
2. Stayed at home for some days due to an illness
3. Was examined or stayed in hospital due to a physical illness
4. Was examined or stayed in hospital due to a mental problem
5. Used a counseling service for a psychological problem
6. Was examined or stayed in hospital due to injury
7. Others

Q15. What kinds of problems have you experienced in the past one year? Select all answers that apply.

1. Lack of progress in study or research
2. A problem with academic credits
3. Transferring to a different course or school
4. Leave of absence or leaving university
5. Career planning
6. Job-hunting
7. Relationships with friends
8. Relationships with faculty
9. Problems in the laboratory
10. Problems in a club or circle
11. Romantic relationships
12. Family relationships
13. Personal character
14. Personal mental or psychological condition
15. Personal physical condition such as illness or injury
16. Money problems

- 17. Harassment
- 18. Others
- 19. Nothing particular

⊙ If you selected 18 (Others) in Q15, write in details.

Q16. How well do these statements match how you have felt over the past one year? Select only one answer for each statement.

- 1. I can do what I want to do
- 2. I have some worries
- 3. There are people here who understand me
- 4. Nothing I do goes well
- 5. I feel depressed
- 6. I have wanted to die
- 7. My university life is fulfilling

- a. Definitely
- b. Fairly
- c. Not really
- d. Not at all

1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____ 6 _____ 7 _____

IV. Availability of Advisers and Source of Information

Q17-1. Who do you talk to about important matters and seek advice from? Select up to three answers, starting with the person who is easiest to approach.

- 1. Easiest to approach
 - 2. Second easiest
 - 3. Third easiest
-
- a. Family member
 - b. Romantic partner
 - c. Friend (in the University)
 - d. Friend (outside the University)
 - e. Senior and junior colleagues (in the University)
 - f. Senior and junior colleagues (outside the University)
 - g. Faculty member
 - h. Others
 - i. Nobody in particular

1 _____ 2 _____ 3 _____

If you selected a to h in Q17-1, answer Q17-2.

Q17-2. How often can you talk to the people you identified in Q17-1 (including telephone and email) ? Select only one answer for each person.

- 1. The easiest to approach

2. The second easiest
3. The third easiest

- a. Often
- b. Sometimes
- c. Occasionally
- d. Almost never

1 _____ 2 _____ 3 _____

Q18. When you want to find information about study or university life, to whom or where do you usually go? Select all answers that apply.

1. Academic advisor
2. Support office staff
3. Friends, etc.
4. Web bulletin board
5. TWINS bulletin board
6. The University website
7. School/college or course website
8. Email list for school/college, course or class group
9. SNS (social networking service)
10. Others

Q19. University of Tsukuba has organizations and systems where you can go for consultation regarding the problems that arise in student life. Have you used them? Select only one answer for each category.

1. Student Plaza General Consultation Service
2. Kasuga Area General Consultation Service
3. University Health Center, Student Counseling Room
4. Desk for career counseling (for students)
5. Work-life balance counseling room "Au"
6. University Health center 1F, Mental Health care (Psychiatry)
7. University Health center 2F, Health consultation (Internal medicine)
8. Desk for LGBT and other sexual minorities (Diversity section in DAC Center)
9. Support service for students with disabilities (Accessibility section in DAC Center)
10. International students consulting room
11. Harassment counseling center

- a. I have used this
- b. I have not used this but I know how to access it
- c. I have not used this but I am aware of it
- d. I have not used this and I was not aware of it

1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____
 6 _____ 7 _____ 8 _____ 9 _____ 10 _____ 11 _____

Q20. Which campus magazines do you regularly read? Select all answers that apply.

1. University of Tsukuba Newspaper
2. Tsukuba Students

3. Campus
4. Tsukuba Sports
5. TSUKUBA SPORTS NEWS FLASH (TSA)
6. Others
7. None

V. Class Groups, Student Organizations, Extra-curricular Activities, etc.

Only first-year and second-year undergraduates should answer Q21.

Q21. What does your class group do? Select all answers that apply.

1. Petitions the University as a group
2. Propagates information from the University to the students
3. Functions as a study group
4. Plans and organizes events
5. Forms friendships and personal connections
6. Maintains communication with the class teacher
7. Others
8. Nothing effective

Only first-year and second-year undergraduates should answer Q22.

Q22. How much do you know about these student organization activities? Select only one answer for each.

1. Activities in class representative meetings
 2. School and college representative meeting (Zendaikai) and their activities
- a. I know a lot about it
 - b. I know something
 - c. I know very little
 - d. I don't know anything

1 _____ 2 _____

Q23. How active are you in student groups? Select only one answer that applies.

1. I belong to and am active only in a student group authorized by the University
2. I belong to and am active only in a group that is not authorized by the University
3. I belong to and am active in both groups in 1 and 2
4. I used to be active in a student group
5. I have never been active in a student group

If you selected any of 1 to 4 in Q23, answer Q23-1.

Q23-1. What motivates you to be active in a student group? Select all answers that apply.

1. To make friends
2. To gain knowledge and education
3. To keep health
4. To improve skills
5. To gain experience in group activities
6. To fill my interests
7. To make use of leisure time
8. To fill part of my recreation

9. To contribute for my chosen career
10. To contribute getting a job
11. To continue what I did in high school
12. To respond to the invitation
13. To contribute to society
14. Others

Q24 Have you been solicited to attend a religious group, a self-improvement seminar or similar?

- ① Since joining the University, I have been solicited on campus.
 Yes No
- ② Since joining the University, I have been solicited off campus.
 Yes No
- ③ Since joining the University, I have seen/heard someone else being solicited on campus.
 Yes No
- ④ Since joining the University, I have seen/heard someone else being solicited off campus.
 Yes No

Q25. Have you participated in volunteer activities since joining the University? Select all answers that apply.

1. I have participated through a class or a seminar
2. I have participated through Tsukuba Action Project (T-ACT)
3. I have participated through student group activities
4. I have participated in another way
5. I have not participated but I would like to participate while I am at the University
6. I have no interest in volunteer activities

Q26. Have you participated in Tsukuba Action Project (T-ACT)? Select all answers that apply. (T-ACT is a student support organization that helps students to actualize their ideas or plans.)

1. I have been a planner or organizer for a T-ACT project
2. I have been a participant in a T-ACT project
3. I have taken the introductory course "Planning and Execution of the Tsukuba Action Project"
4. I have participated in a T-ACT event (such as an activity report meeting or a public symposium)
5. I have done something else with T-ACT
6. I have not participated but I would like to participate while I am in the University
7. I have no interest in T-ACT activities

Q27. Have you used the University's off-campus training centers (Yamanaka and Tateyama)? Select only one answer.

1. Yes
2. No
3. I don't know anything about them

VI. Career and Job-Hunting

Q28. What do you plan to do after graduation including your current hope? Select only one answer.

- (A) Further education

- (1. University of Tsukuba graduate school 2. Another graduate school in Japan
3. A graduate school in another country 4. Others)

(B) Employment

- (1. In a company 2. Teaching 3. As a public servant 4. Self-employment/entrepreneur
5. Others)

(C) Others (1. Undecided 4. Haven't really considered 3. Others)

Q29. After graduation, do you want to work in another country? (International students: Do you want to work in Japan?) Select only one answer.

1. Definitely
2. I think so
3. I'm not sure
4. I think not
5. Definitely not

Q30. Who do you mainly consult about career decisions? Select all answers that apply.

1. Family
2. Relative/acquaintance
3. Friend/senior student
4. Faculty member
5. Administrative staff
6. Others

Q31. What are or will be the main factors in choosing your career? Select all answers that apply.

1. It will be worthwhile
2. To contribute to society
3. High income
4. Stability in life
5. Good work-life balance
6. It will suit my skills and talents
7. Deepening expertise in field
8. To use what I have learned at University
9. Social status
10. Long-term prospects
11. Convenient work locations
12. Others

Q32. How do you feel about your future career (Career development)? Select only one answer for each statement.

1. I think a lot about my future career (Career development)
2. I have not thought seriously about working
3. My future career plans are not influenced by my surroundings
4. Achieving a fulfilling professional life is very much my responsibility
5. I have made specific plans for progress in my chosen career
6. I have decided what career I want but I have not done anything specific for it

- a. Definitely
- b. I think so
- c. I'm not sure
- d. I think not
- e. Definitely not

1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____ 6 _____

Q33. Do you use CARIO (Tsukuba Career Portfolio)? Select only one answer.

- 1. I am currently using it
- 2. I sometimes use it
- 3. I only went to the freshman seminar
- 4. I have not used it

⊙If you selected 4 (I have not used it), give a reason why you do not use CARIO.

Answer Q34 if you are job-hunting now or have done job-hunting activities.

Q34. What are the most useful sources of information for job-hunting? Select all answers that apply.

- 1. Career Development Office/Division of Career Services
- 2. Website of Career Development Office/Division of Career Services
- 3. Job-hunting guidance in the University
- 4. Career services committee in your school or college
- 5. Job listings magazine
- 6. Job listings website
- 7. Job-hunting events outside the University
- 8. Websites of businesses, government bodies, etc.
- 9. Internships
- 10. Alumni visits
- 11. Others

⊙If you selected 11 (Others) in Q34, enter details of the most useful sources of information.

Answer Q35 if you are job-hunting now or have done job-hunting activities.

Q35. Have your job-hunting activities interfered with your university study or research? Select only one answer.

- 1. Not at all
- 2. Very little
- 3. To some extent
- 4. Very much

VII. Your Hopes and Expectations for University of Tsukuba

Q36. What is your main desire for the University's faculty? Select only one answer.

- 1. To teach the pleasure of scholarship and research
- 2. Well-prepared lecture content
- 3. Teaching that is easy to understand

4. Sensitivity to harassment issues
5. Others
6. Nothing particular

⊙If you selected 5 (Others) in Q36, specify what you desire.

Q37. What factors would you like to see improved in our education or educational systems? Select all answers that apply.

1. Teaching staff
2. Curriculum
3. Teacher training courses
4. Extra-curricular teaching programs (special lectures, short courses and such)
5. The study abroad system
6. Job-hunting information sessions
7. The class group system
8. Student organizations
9. Scholarships, tuition fee exemptions, etc.
10. Support for extra-curricular activities
11. Support for volunteer activities
12. Support for mental health
13. Anti-harassment measures (organizations and processes)
14. Others

⊙If you selected 14 (Others) in Q37, specify what you hope to be improved.

Q38. Is manaba (the Learning Management System in University of Tsukuba) easy to use? Select only one answer to indicate how satisfied you are.

1. Very satisfied
2. Fairly satisfied
3. Neutral
4. Fairly dissatisfied
5. Very dissatisfied

⊙Describe any improvements you would like to see in manaba.

Q39. What do you think of how manaba is used in teaching? Select only one answer.

1. Very satisfied
2. Fairly satisfied
3. Neutral
4. Fairly dissatisfied
5. Very dissatisfied

Q40. How much should manaba be used in teaching in the future? Select only one answer.

1. It should be used more
2. About the same as now

3. ○ It would be better to not use it

Q41. Which campus facilities particularly need to be expanded or improved? Select all answers that apply.

1. Teaching rooms and laboratories
2. Library
3. Computing facilities
4. Sports and fitness facilities
5. Facilities for extra-curricular activities
6. Security
7. Parking
8. Bicycle parking
9. University Loop-line On-campus Bus
10. Walking routes
11. Outside lighting
12. Others

◎If you selected 12 (Others) in Q41, specify where you like to be expanded or improved.

Q42. How satisfied are you with welfare facilities on campus? Select only one answer for each facility.

1. Cafeterias
2. Coffee shops
3. Bakeries
4. Food trucks
5. Bookshop
6. Art and craft supplies
7. Other shops
8. Vending machines

- a. Very satisfied
- b. Fairly satisfied
- c. Neutral
- d. Fairly dissatisfied
- e. Very dissatisfied

1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____
6 _____ 7 _____ 8 _____

◎If you think any of the current welfare facilities are inconvenient or need improvement, enter a number from the following list of categories and a specific description. You can make multiple suggestions.

【List of categories】

1. Cafeterias
2. Coffee shops
3. Bakeries
4. Food trucks
5. Bookshop
6. Art and craft supplies
7. Other shops
8. Vending machines

【Description Example】

4. They should be sold in more locations.

1.

【Answer box】

Q43. Where do you want to see improvements in Students' manners on campus? Select all answers that apply.

- 1. Driving
- 2. Bicycle parking
- 3. Alcohol drinking
- 4. Use of common spaces such as lounge areas
- 5. Smoking
- 6. Others
- 7. Nothing particular

◎If you selected 6 (Others) in Q43, specify what you expect for students to improve.

Q44. If you have any requests or suggestions about teaching and student life in general at the University of Tsukuba, enter a number from the following list of categories and a specific description. You can make multiple suggestions.

【List of categories】

- (A) Systems (1. Curriculum 2. Support for student life 3. Financial support
4. Careers and job-hunting support 5. Others)
- (B) Faculty and Administrative staff
(1. Faculty 2. Administrative staff 3. Others)
- (C) Facilities (1. Study and research conditions 2. Computing 3. Library 4. Residence halls
5. Cafeterias and shops 6. Bicycle parking 7. Walking routes and roads 8. Others)
- (D) Others (1. Others)

【Description Example】

A5. Web bulletin board should be easier to read.

C2.

【Answer box】

This is the end of the survey.
Thank you very much for your cooperation.

筑波大学学生生活実態調査(学群)回答率について

回答率については、前々回の調査では44.6%、前回は32.1%であったが、今回は22.5%である。調査方法を前回までの紙ベースの調査から、manabaを用いたWeb調査に変更したこともあり、回答率は大幅に下がってしまった。次回はWeb調査での回答率向上のために周知方法等を改善していく必要がある。

また、学群・学類によって回答率はまちまちであるが、40%を超える学類がある一方で、10%に満たない回答率の学類もある。学年別にみると、1年次27.5%、2年次26.4%、3年次19.6%、4年次24.4%となっており、3年次が他の学年より回答率が低い、学年間でバランスを欠くほどの違いは出ていない。

平成29年度 筑波大学学生生活実態調査(学群) 回答率

学群・学類		学年		在籍学生数 (平成29年度9月15日現在)					回収票数						回収率							
		1年次	2年次	3年次	4年次	医学類5集	医学類6集	合計	1年次	2年次	3年次	4年次	医学類5集	医学類6集	合計	1年次	2年次	3年次	4年次	医学類5集	医学類6集	合計
人文・文化学群	人文学類	127	129	118	165			539	41	29	25	43			138	32.3%	22.5%	21.2%	26.1%			25.6%
	比較文化学類	83	88	85	105			361	26	17	17	31			91	31.3%	19.3%	20.0%	29.5%			25.2%
	日本語・日本文学類	45	47	45	56			193	18	20	20	24			82	40.0%	42.6%	44.4%	42.9%			42.5%
	小計	255	264	248	326			1,093	85	66	62	98			311	33.3%	25.0%	25.0%	30.1%			28.5%
社会・国際学群	社会学類	94	95	100	124			413	24	8	15	6			53	25.5%	8.4%	15.0%	4.8%			12.8%
	国際総合学類	93	103	93	135			424	31	13	6	13			63	33.3%	12.6%	6.5%	9.6%			14.9%
	小計	187	198	193	259			837	55	21	21	19			116	29.4%	10.6%	10.9%	7.3%			13.9%
人間学群	教育学類	36	37	35	47			155	7	7	5	5			24	19.4%	18.9%	14.3%	10.6%			15.5%
	心理学類	55	51	53	67			226	17	6	23	14			60	30.9%	11.8%	43.4%	20.9%			26.5%
	障害科学類	38	37	38	39			152	26	12	11	9			58	68.4%	32.4%	28.9%	23.1%			38.2%
	小計	129	125	126	153			533	50	25	39	28			142	38.8%	20.0%	31.0%	18.3%			26.6%
生命環境学群	生物学類	97	102	97	110			406	46	22	32	44			144	47.4%	21.6%	33.0%	40.0%			35.5%
	生物資源学類	146	150	152	160			608	41	23	23	14			101	28.1%	15.3%	15.1%	8.8%			16.6%
	地球学類	55	55	59	69			238	12	14	6	26			58	21.8%	25.5%	10.2%	37.7%			24.4%
	小計	298	307	308	339			1,252	99	59	61	84			303	33.2%	19.2%	19.8%	24.8%			24.2%
理工学群	数学類	42	41	40	47			170	6	3	4	10			23	14.3%	7.3%	10.0%	21.3%			13.5%
	物理学類	63	66	65	76			270	12	11	4	10			37	19.0%	16.7%	6.2%	13.2%			13.7%
	化学類	52	53	55	56			216	43	10	9	13			75	82.7%	18.9%	16.4%	23.2%			34.7%
	応用理工学類	128	128	136	156			548	14	7	14	16			51	10.9%	5.5%	10.3%	10.3%			9.3%
	工学システム学類	139	133	142	169			583	27	26	34	46			133	19.4%	19.5%	23.9%	27.2%			22.8%
	社会工学類	126	124	126	152			528	23	24	22	31			100	18.3%	19.4%	17.5%	20.4%			18.9%
	小計	550	545	564	656			2,315	125	81	87	126			419	22.7%	14.9%	15.4%	19.2%			18.1%
情報学群	情報科学類	86	84	106	131			407	18	19	25	36			98	20.9%	22.6%	23.6%	27.5%			24.1%
	情報メディア創成学類	82	55	55	67			259	15	9	14	21			59	18.3%	16.4%	25.5%	31.3%			22.8%
	知識情報・図書館学類	107	102	120	134			463	30	20	38	29			117	28.0%	19.6%	31.7%	21.6%			25.3%
	小計	275	241	281	332			1,129	63	48	77	86			274	22.9%	19.9%	27.4%	25.9%			24.3%
医学群	医学類	138	142	133	126	118	138	795	34	38	24	26	11	36	169	24.6%	26.8%	18.0%	20.6%	9.3%	26.1%	21.3%
	看護学類	71	72	79	88			310	22	25	20	21			88	31.0%	34.7%	25.3%	23.9%			28.4%
	医療科学類	38	39	45	46			168	17	11	16	16			60	44.7%	28.2%	35.6%	34.8%			35.7%
	小計	247	253	257	260	118	138	1,273	73	74	60	63	11	36	317	29.6%	29.2%	23.3%	24.2%	9.3%	26.1%	24.9%
体育専門学群	247	255	254	275			1,031	32	203	11	20			266	13.0%	79.6%	4.3%	7.3%			25.8%	
芸術専門学群	108	112	107	138			465	34	13	20	21			88	31.5%	11.6%	18.7%	15.2%			18.9%	
合計	2,296	2,300	2,338	2,738	118	138	9,928	616	590	438	545	11	36	2,236	26.8%	25.7%	18.7%	19.9%	9.3%	26.1%	22.5%	

第1章 生活全般について

問1. 収入と収支について

A. 収入

◎全体平均の合計は、前回調査よりやや減少し、8.9万円で、その約半分は仕送りである。

◎1年次の収入が他の学年より大幅に減少している。

平均的な1か月の収入を「仕送り」「奨学金」「アルバイト」「預貯金から」「借金」「その他」の各項目に分けて記入してもらった。ただし、臨時の収入を除いた金額である。

平均的な1か月の収入は、前回調査の9.1万円よりも減少している。内訳をみると、「仕送り」4.5万円、「奨学金」1.9万円、「アルバイト」2.2万円であった。これを男女別で比べると、男性は「仕送り」4.7万円、「奨学金」2.0万円、「アルバイト」2.1万円、女性は「仕送り」4.2万円、「奨学金」1.8万円、「アルバイト」2.2万円と、項目間で目立った差はみられない。また、学年別では、1年次の収入が他の学年より大きく減少している。医学類5年次の「仕送り」が高額で、「奨学金」や「アルバイト」がその分、他の学年より少ない。学群・学類別では、国際総合学類と日本語・日本文化学類が突出して高額で、特に預貯金の切り崩しの多さが特徴的である。一方、生物学類、応用理工学類では収入全体が他の学群・学類よりやや低かった。

図1.1 1ヶ月の平均的な収入【全体平均（万円）】

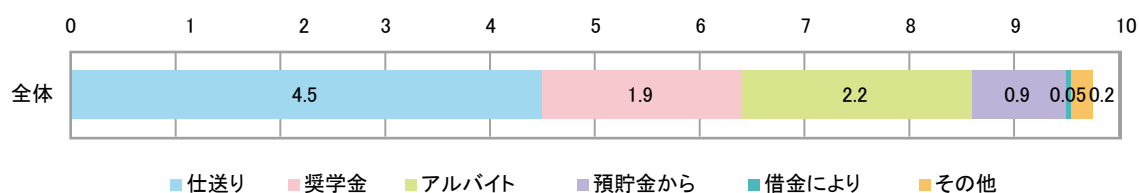
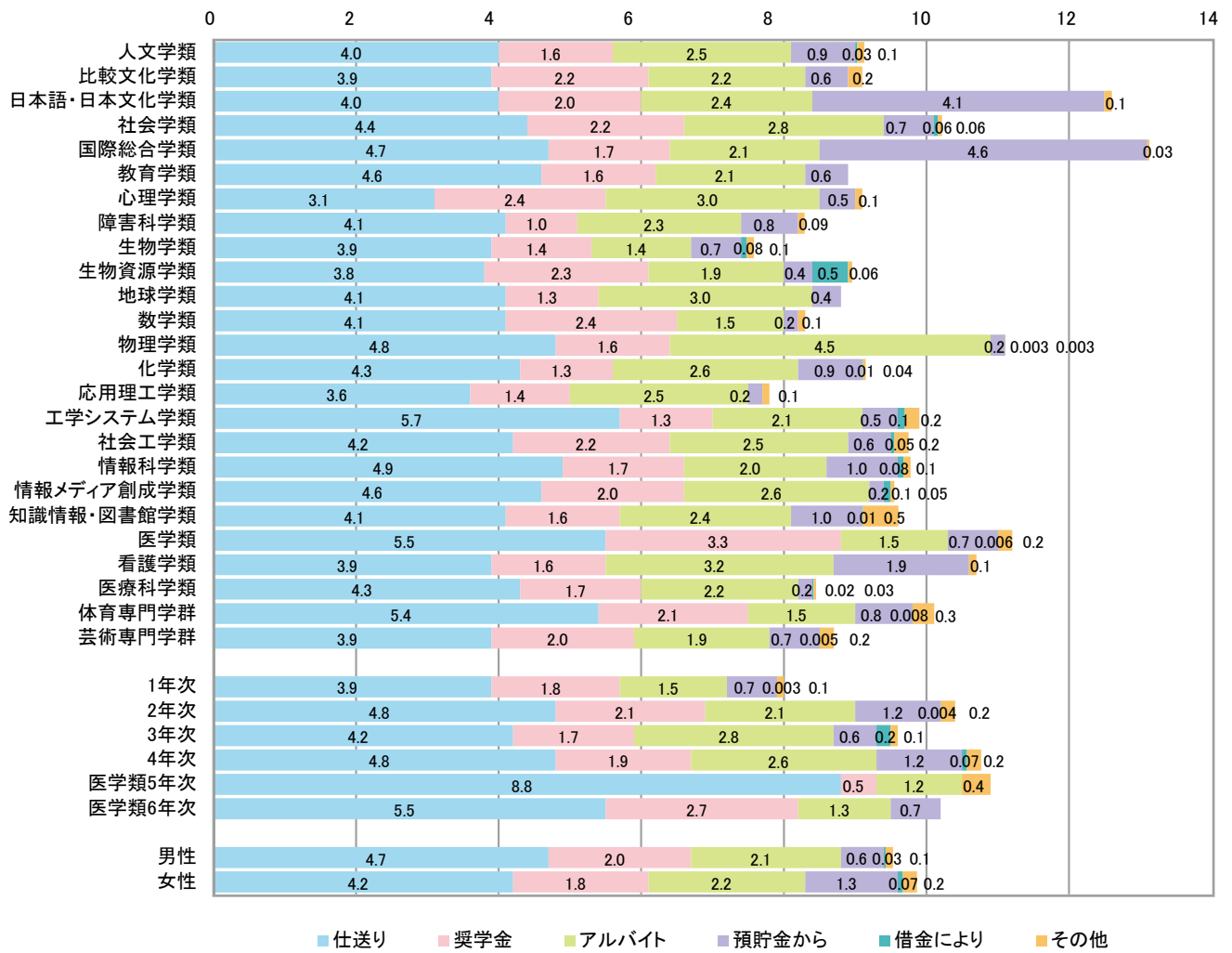


図 1.2 1ヶ月の平均的な収入【学群・学類別、学年別、男女別（万円）】



B. 支出

- ◎平均的支出は、全体で7.9万円と前回と同額であり、その約半分は食費と住居費である。
- ◎1年次学生の支出が大幅に少なく、若い年次ほど食費と住居費の支出が少ない。
- ◎学群・学類別では、日本語・日本文化学類の支出に占める預貯金・借金返済の割合が突出して大きい。

平均的な1か月の支出を「食費」「住居費」「就学費」「交通費」「通信費」「その他」「預貯金・借金返済」の各項目に分けて記入してもらった。ただし、臨時の支出を除いた金額である。

なお、前回調査での「交際・教養娯楽費」の項目は、今回は「その他（交際費・教養娯楽費・被服費・医療費等）」に含め、新たに「預貯金・借金返済」の項目を設けた。このため、「預貯金・借金返済」を除いた全体平均を合計すると、支出は7.9万円となり、前回調査の7.9万円と同額で変化はない。内訳をみると、「食費」2.5万円、「住居費」2.9万円、「就学費」0.4万円、「交通費」0.5万円、「通信費」0.3万円、「その他」1.3万円となっている。これを男女別でみると、「食費」で男性は2.8万円、女性は2.2万円と差がみられるが、それ以外の項目間で目立った差はみられない。学年別でみると、1年次の支出総額が他の学年より大きく減少しており、医学類も含めてその内訳をみると、若い年次ほど「食費」と「住居費」の支出が少ない。学群・学類別では、体育専門学群の「食費」と「住居費」の支出が多くなっている。一方、地球学類、化学類、応用理工学類では支出総額がやや低めとなっている。

今回新たに調査項目に加えた「預貯金・借金返済」について、全体集計と分けて分析すると、全体平均は1.0万円であるが、学群・学類別にみると、日本語・日本文化学類が4.5万円と突出しているのが特徴的である。

図 1.3 1ヶ月の平均的な支出【全体平均（万円）】

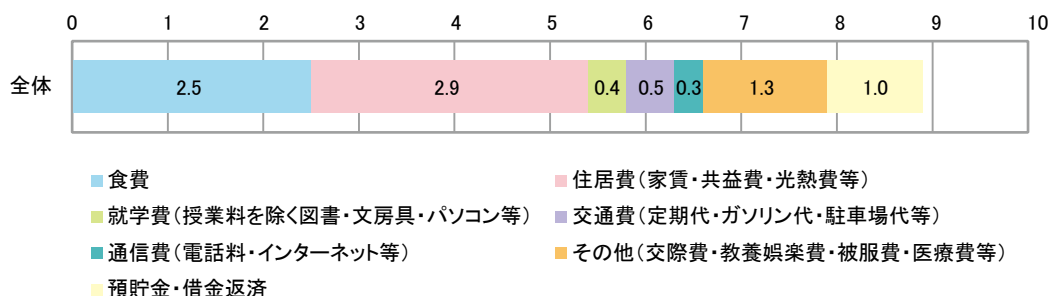
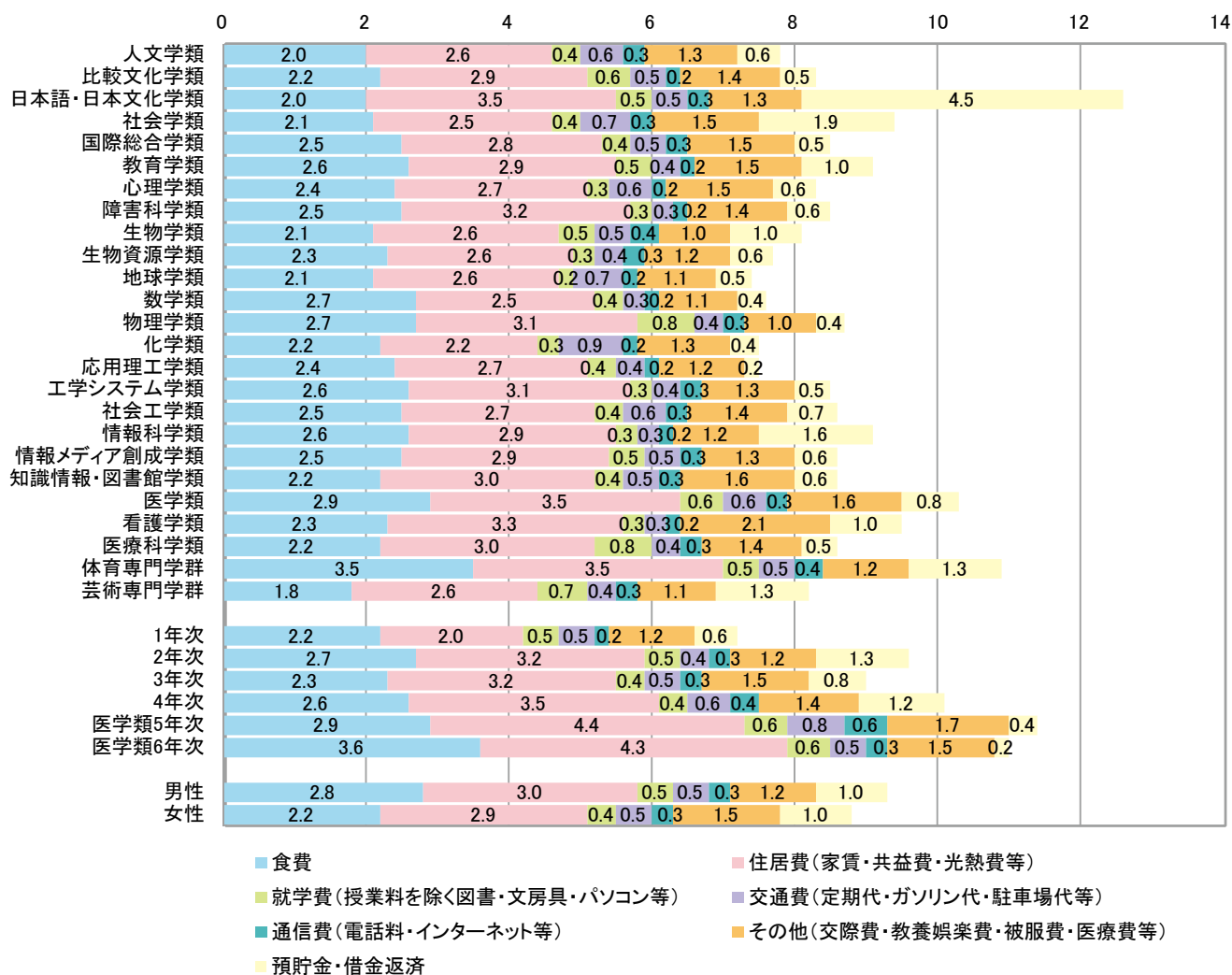


図 1.4 1ヶ月の平均的な支出【学群・学類別、学年別、男女別（万円）】

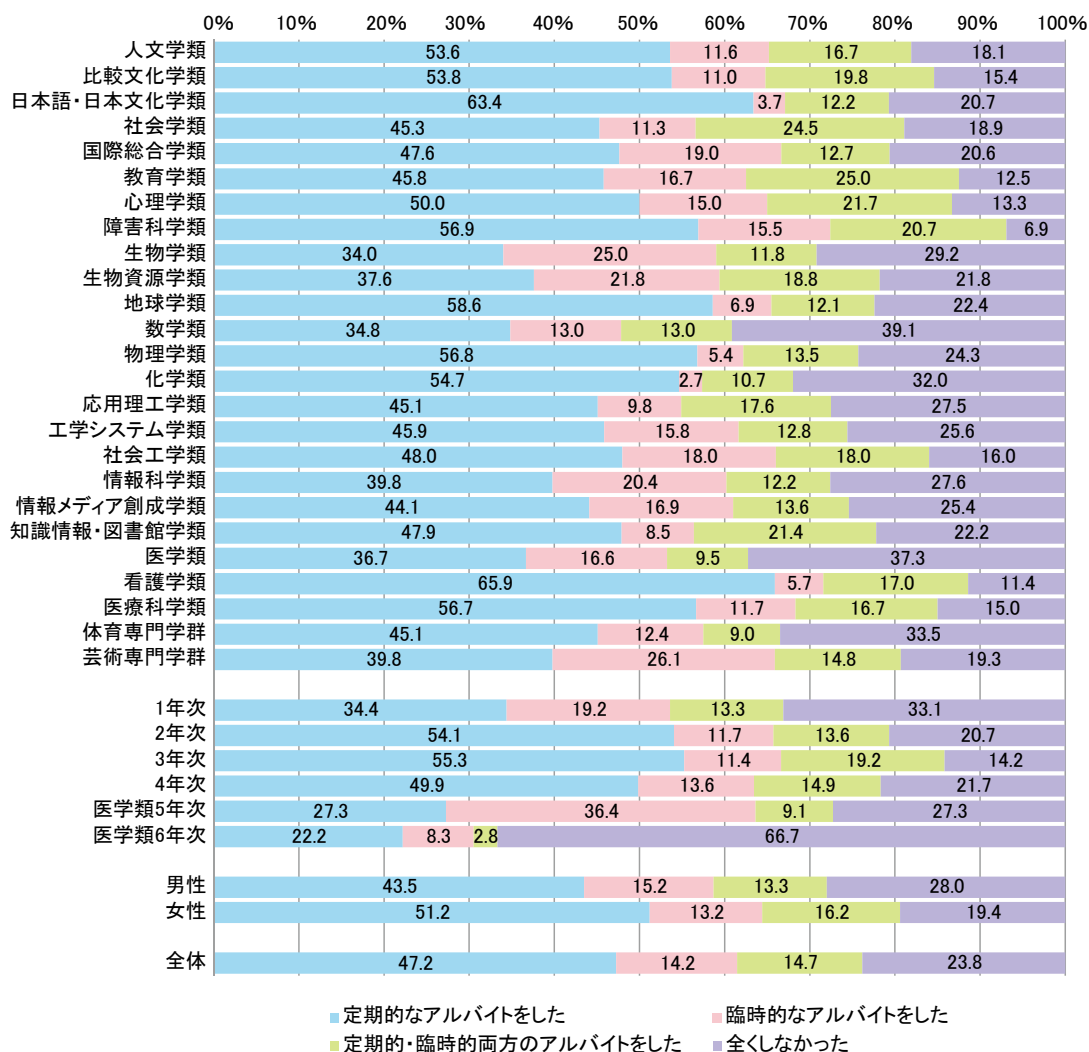


問 2. アルバイトの経験について

◎アルバイト経験者は全学平均で76.1%。前回調査から大幅に増加した。

アルバイトの経験について、調査年の4月以降の状況を「定期的なアルバイトをした」「臨時的なアルバイトをした」「定期的・臨時的両方のアルバイトをした」「全くしなかった」の4項目から1つ選択してもらった。全学平均で76.1%の学生が4月以降に何らかのアルバイトをしており、前回調査の64.4%と比べると大幅に増加している。「定期的なアルバイト」をしている学生は47.2%で、前回調査の43.5%と大きな差はないが、「臨時的なアルバイト」14.2%、「定期的・臨時的両方のアルバイト」14.7%の結果から、複数のアルバイト経験を持つ学生が増えている。男女別でみると、定期的なアルバイトをしている学生は女性に多く、アルバイトを全くしなかった学生は男性に多かった。学年別にみると、2～4年次では、定期的なアルバイトをしている学生が約半数を占め、「全くしなかった」と回答した割合は20%前後である。一方で、1年次では「全くしなかった」33.1%、「定期的なアルバイト」34.4%と他の学年とは違った傾向がみられた。医学類6年次では、「全くしなかった」が66.7%と突出して多いことから、勉学で忙しく、アルバイトができる状態でないことがわかる。学群・学類別にみるとその差は非常に大きく、数学類、医学類、体育専門学群、化学類、生物学類などでは多くの学生が「全くしなかった」と答えている。また、障害科学類、看護学類、教育学類、心理学類ではアルバイト経験率が非常に高く、特に「定期的なアルバイト」をしている学生の比率が高い。

図 1.5 アルバイトの経験【学群・学類別、学年別、男女別、全体 (%)】



問 2-1. アルバイトの種類について

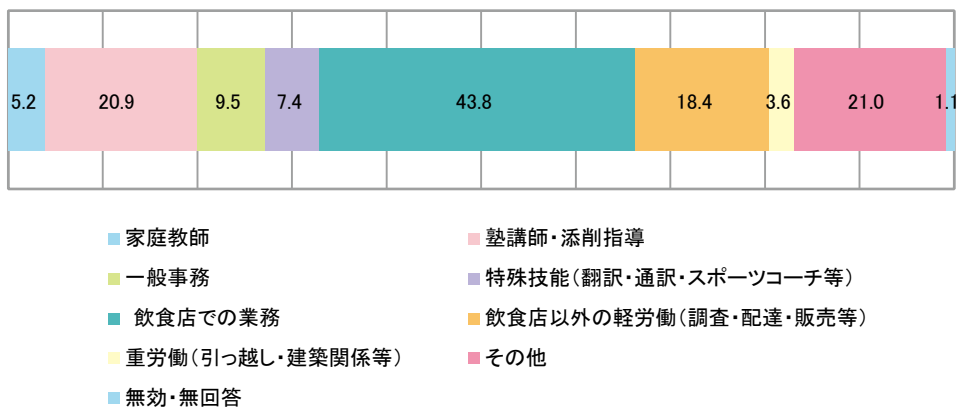
- ◎アルバイトの職種では、飲食店での業務が43.8%で最も多い。
- ◎家庭教師や塾講師などの教育指導のアルバイトは26.1%。

問2でアルバイトをしたことがある学生に対し、アルバイトの種類について尋ねた。

アルバイトの職種の選択肢は、「家庭教師」「塾講師・添削指導」「一般事務」「特殊技能（翻訳・通訳・スポーツコーチ等）」「飲食店での業務」「飲食店以外の軽労働（調査・配達・販売等）」「重労働（引っ越し・建築関係等）」「その他」である。

これらのアルバイトの中では、「飲食店での業務」が最も多く43.8%、次いで「塾講師・添削指導」20.9%で、「家庭教師」とあわせると26.1%の学生が教育指導に関するアルバイトを行っている。

図 1.6 アルバイトの種類【全体 (%)】



問 2-2. アルバイトをする理由について

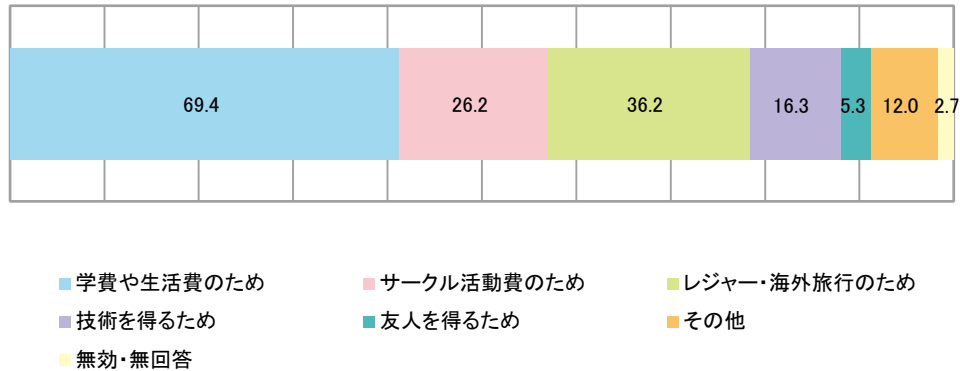
◎学費や生活費のために 69.4%の学生がアルバイトをしている。

問 2 でアルバイトをしたことがある学生に対し、アルバイトを行う理由を複数選択で尋ねた。

アルバイトを行う理由の選択肢は、「学費や生活費のため」「サークル活動費のため」「レジャー・海外旅行のため」「技術を得るため」「友人を得るため」「その他」の 6 択である。

これらのアルバイトを行う理由の中では、「学費や生活費のため」69.4%で最も多く、次いで「レジャー・海外旅行のため」36.2%、「サークル活動費のため」26.2%であった。

図 1.7 アルバイトをする理由【全体 (%)】



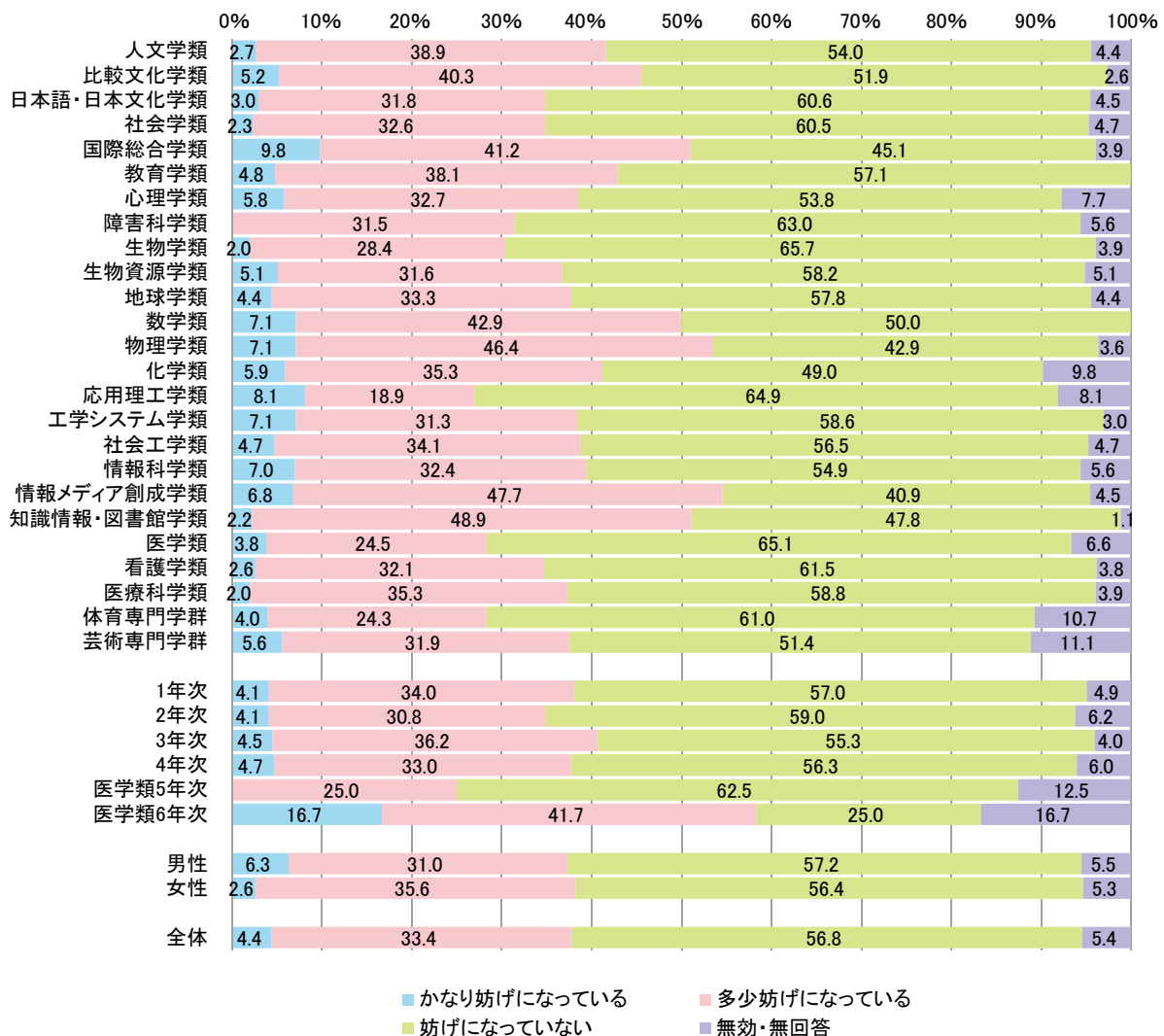
問 2-3. アルバイトの学修への影響について

◎アルバイトに費やす時間が学修への妨げになっていると答えた学生は 37.8%。

問 2 でアルバイトをしたことがある学生に対し、そのアルバイトに費やされる時間は学修の妨げになっているかを「かなり妨げになっている」「多少妨げになっている」「妨げになっていない」の 3 項目から選択してもらった。

全体で 37.8% の学生がアルバイトに費やす時間が学修に影響していると感じており、56.8% の学生は「妨げになっていない」と回答している。これは男女別にみても変化はない。学年別でみると、医学類 6 年次では、58.4% が「妨げになっている」、25.0% が「妨げになっていない」と回答しており、他の学年と比べて妨げになっていると感じている学生が多く、学修の多忙さがうかがえる。学群・学類別では情報メディア創成学類、物理学類、知識情報・図書館学類、国際総合学類、数学類で多くの学生がアルバイトは学修に影響があると答えているが、他の多くの学群・学類では 5 割以上の学生が学修の妨げになっていないと感じている。

図 1.8 アルバイトの学修への影響【学群・学類別、学年別、男女別、全体 (%)】



問 3. 大学に希望する経済支援について

問 3-1. 一時貸付金を希望する理由について

◎希望する経済支援としては、給付型（返還義務なし）奨学金が 57.9%、次いで授業料免除が 48.8%であった。

大学に希望する経済支援として、あてはまるものすべてを回答してもらった。選択肢は「給付型（返還義務なし）奨学金」「貸与型（返還義務あり）奨学金」「授業料免除」「一時貸付金」「その他」「特に希望しない」の 6 択である。

希望する経済支援としては、「給付型（返還義務なし）奨学金」が 57.9%、次いで、「授業料免除」が 48.8%と多いが、「特に希望しない」という回答も 24.8%あった。外国人留学生は、71.0%が「給付型（返還義務なし）奨学金」を希望し、63.4%が「授業料免除」を希望している。また、日本人学生は、57.3%が「給付型（返還義務なし）奨学金」を希望し、48.2%が「授業料免除」を希望している。

一時貸付金を希望する理由を複数選択で尋ねた結果は、「授業料のため」51.2%、「生活費のため」78.0%、「その他」9.8%、「無効・無回答」2.4%であった。外国人留学生と日本人学生でみると、外国人留学生では、「授業料のため」80.0%、「生活費のため」80.0%、「その他」20.0%、日本人学生ではそれぞれ 47.2%、77.8%、8.3%であり、外国人留学生は日本人学生より約 1.7 倍「授業料のため」の支援を希望している。

表 1.1 希望する経済支援【外国人留学生・日本人学生別、全体】

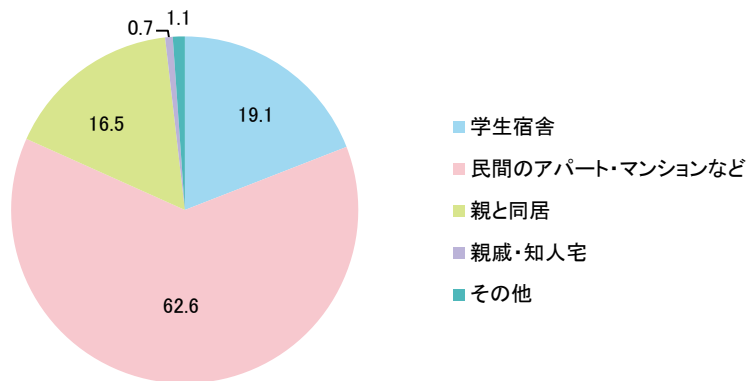
	外国人留学生		日本人学生		全体	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
給付型（返還義務なし）奨学金	66	71.0%	1,228	57.3%	1,294	57.9%
貸与型（返還義務あり）奨学金	11	11.8%	223	10.4%	234	10.5%
授業料免除	59	63.4%	1,033	48.2%	1,092	48.8%
一時貸付金	5	5.4%	36	1.7%	41	1.8%
その他	4	4.3%	33	1.5%	37	1.7%
特に希望しない	17	18.3%	537	25.1%	554	24.8%

問 4. 現在の住まいについて

◎学生宿舎に居住する学生は 19.1%、民間のアパート・マンションは 62.6%であった。

現在の住まいの実態について尋ねた。本学の「学生宿舎」に居住 19.1%、「民間のアパート・マンションなど」に居住 62.6%、「親と同居」すなわち自宅通学者が 16.5%であった。前回調査では、「学生宿舎」22.0%、「民間のアパート・マンションなど」60.9%、「親と同居」15.7%で、前回調査とほとんど変わらない結果であった。

図 1.9 現在の住まい【全体 (%)】



問 4-1. 学生宿舎への入居希望について

◎学生宿舎以外に住んでいる学生は、学生宿舎への入居を希望していない。

問 4 において、「学生宿舎」以外を選択した学生に対して、学生宿舎への入居希望について尋ねた。「希望する」と回答した学生は 7.6% で、84.2% は宿舎への入居を希望していない。また、男女別では女性の入居希望者が若干多い。学年別では、1 年次が 3.0% で、年次が進むにつれてその比率は増加し、4 年次では 11.4% と入居希望が多くなっている。

学生宿舎は、新入生と外国人留学生の入居を優先しており、今後、外国人留学生の受け入れがさらに進むと予想されることから、2 年次以上の日本人学生の入居数を増すことは困難である。入居を希望する学生の声にどう応えるか検討が必要であろう。

表 1.2 学生宿舎への入居希望【学年別、男女別、全体】

	希望する		希望しない		無効・無回答	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1 年次	10	3.0%	283	84.7%	41	12.3%
2 年次	33	6.4%	434	84.3%	48	9.3%
3 年次	33	8.0%	358	86.3%	24	5.8%
4 年次	60	11.4%	433	82.0%	35	6.6%
医学類 5 年次	1	9.1%	10	90.9%	0	0.0%
医学類 6 年次	2	5.9%	29	85.3%	3	8.8%
男性	60	6.2%	835	86.2%	74	7.6%
女性	79	9.1%	712	82.0%	77	8.9%
全体	139	7.6%	1547	84.2%	151	8.2%

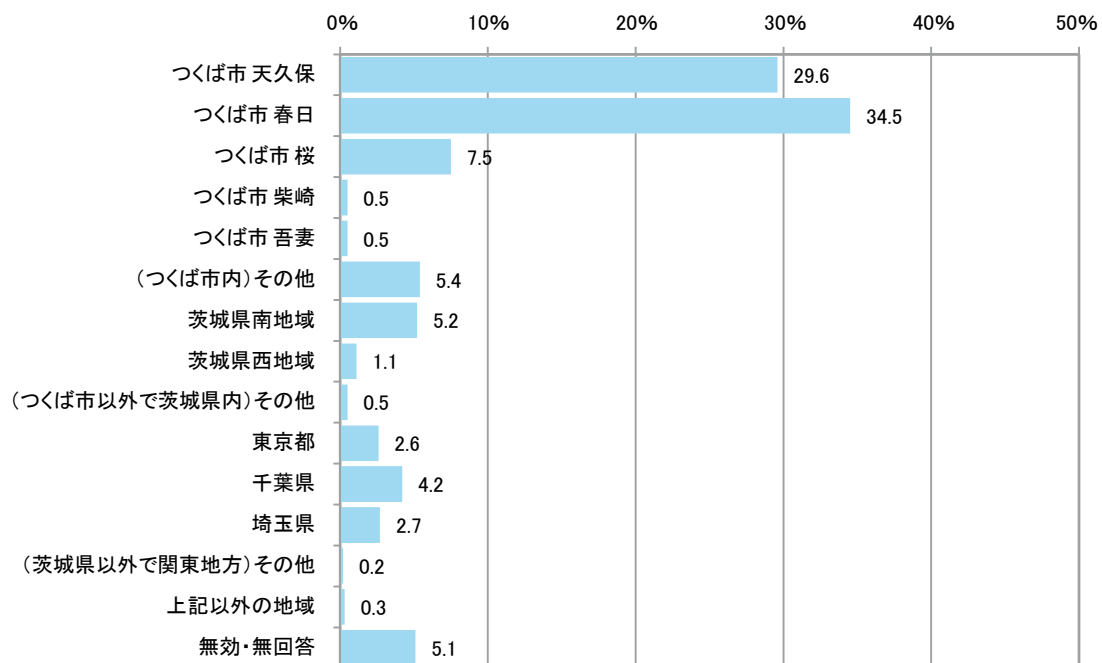
問 4-2. 現在の居住地について

◎学生の居住地としては、つくば市の天久保と春日の2地区で64.1%を占めている。

問4において、「学生宿舎」以外を選択した学生に対して、現在の居住地について尋ねた。

つくば市天久保29.6%と、つくば市春日34.5%での居住率が飛びぬけて高く、この2地区だけで全体の64.1%を占めている。前回調査では、この2地区の居住率はそれぞれ33.5%と32.5%で、天久保地区で減少し、春日地区で増加していた。また、つくば市内では、桜地区が6.9%から7.5%、柴崎地区が1.0%から0.5%、吾妻地区が1.0%から0.5%であり、その他の地域については、県南地域が5.4%から5.2%、東京都が2.4%から2.6%、千葉県が4.0%から4.2%、埼玉県が3.0%から2.7%などとなっており、前回調査時と大きな変動はなかった。

図 1.10 現在の居住地【全体 (%)】



問 4-3. 入居している学生宿舎について

問 4-4. 学生宿舎の満足度について

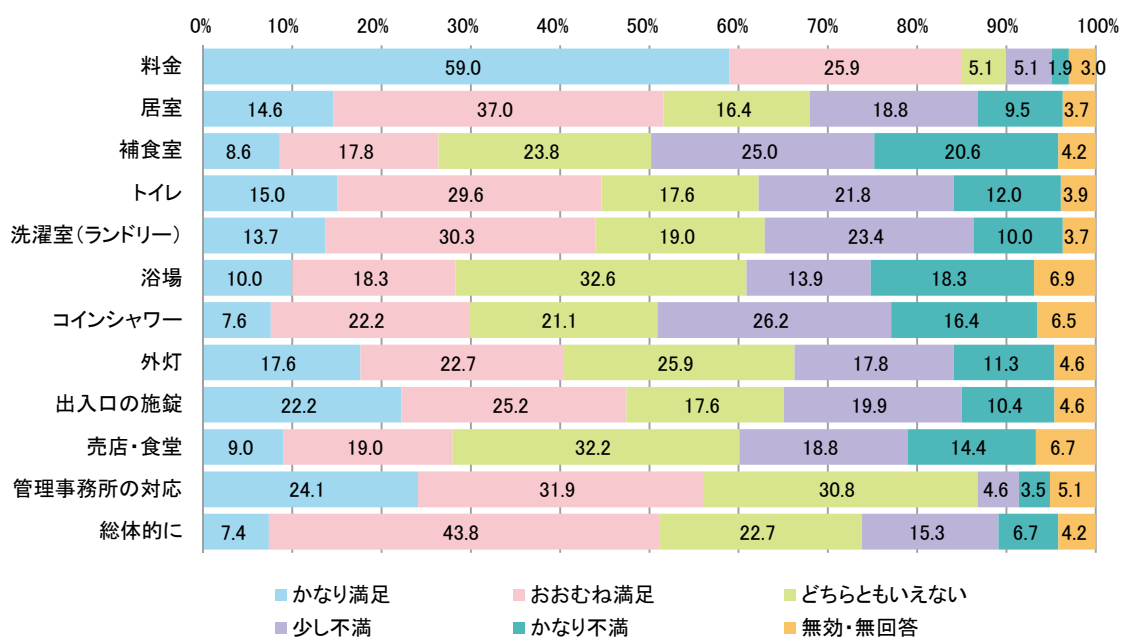
◎学生宿舎の料金については 84.9%が満足している。

◎補食室、浴場、売店・食堂、コインシャワーの満足度は 30%以下。

問 4 において、「学生宿舎」に入居していると回答した学生の入居地区は、一の矢 28.8%、平砂 42.8%、追越 15.3%、春日 7.2%で、居室のタイプは、単身宿舎 81.0%、世帯宿舎 0.7%、二人室 2.1%、シェアハウス 11.6%であった。

学生宿舎に入居している学生に、現在の居住地の満足度について尋ねた。総体的にみると、「かなり満足」7.4%、「おおむね満足」43.8%、「どちらともいえない」22.7%、「少し不満」15.3%、「かなり不満」6.7%であった。施設等別でみると、「料金」については、「かなり満足」59.0%と「おおむね満足」25.9%をあわせて 84.9%が満足と答えている。「かなり満足」「おおむね満足」が「居室」51.6%、「管理事務所の対応」56.0%、「出入口の施錠」47.4%で、一方、「補食室」「浴場」「売店・食堂」「コインシャワー」の満足度は 30%以下であった。

図 1.11 学生宿舎満足度【全体 (%)】



問 4-5. 学生宿舎での生活について

- ◎日常の入居者間の交流は、約 7 割が会話や挨拶程度、約 3 割は交流がない。
- ◎外国人留学生と交流がある学生は 22.9%、交流がまったくない学生は 55.8%。
- ◎今年度の宿舎祭に参加した学生は 66.5%、参加しなかった学生は 30.7%。

問 4 において、「学生宿舎」に入居している学生に対し、A. 近隣の入居者との関係、B. 外国人留学生居住者との交流、C. 今年度の宿舎祭の参加状況を尋ねた。近隣の入居者との関係は、「よく会話する」10.9%、「時々会話する」24.9%、「あいさつを交わす程度」33.0%、「ほとんど会話しない」27.9%であった。外国人留学生居住者との交流は、「よくある」6.8%、「ときどきある」16.1%、「あまりない」17.3%、「まったくない」55.8%であり、学生間の日常的な交流は少ない。一方で、今年度の宿舎祭への参加状況は、「企画（イベントや模擬店、実行委員など）で参加した」50.2%、「来場者として参加した」16.3%、「参加しなかった」30.7%であった。日常の交流はあまりないものの、宿舎祭には参加している様子が見える。

図 1.12 A. 近隣の入居者との関係【全体 (%)】

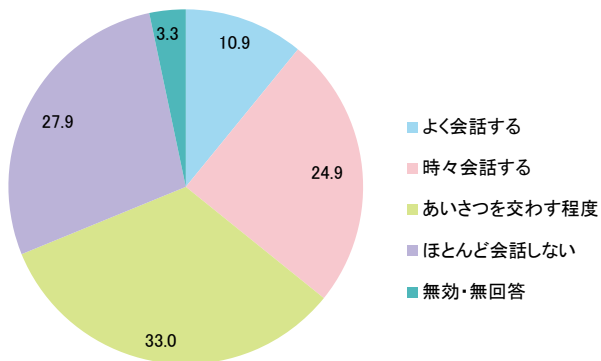


図 1.13 B. 外国人留学生居住者との交流【全体 (%)】

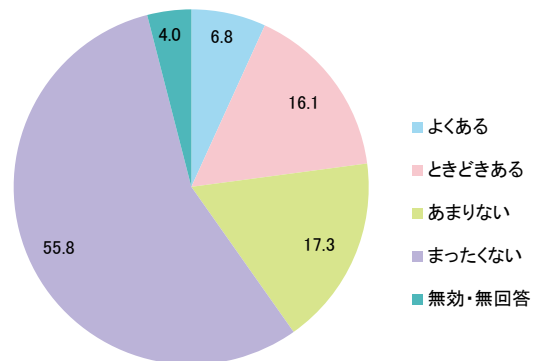
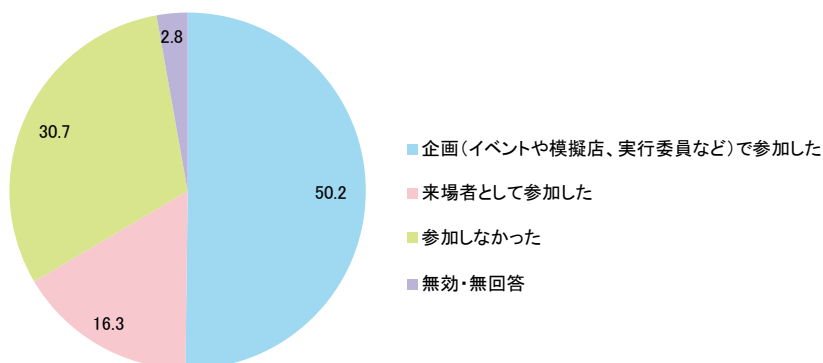


図 1.14 C. 今年度の宿舎祭の参加状況【全体 (%)】



問 5. 平均的な 1 日または 1 週間の過ごし方について

◎全学の平均は、1日あたりの総学習時間が7.5時間、睡眠が6.5時間であった。

◎1週間の過ごし方をみると、年次とともに総学習時間が減り、アルバイト時間が増加している。

平均的な1日の時間の使い方を「大学の授業・実習・研究等の時間」「授業等以外の学習時間」「睡眠時間」の3項目で、1週間の過ごし方を「大学の授業・実習・研究等の時間」「授業等以外の学習時間」「サークル・ボランティアなどの活動時間」「アルバイト時間」の4項目で、時間単位で尋ねた。

全学の平均は、1日あたり、「大学の授業・実習・研究等の時間」と「授業以外の学習時間」で7.5時間、「睡眠時間」が6.5時間であった。前回調査では、「授業・学習・実習・研究等の時間」が6.1時間、「睡眠時間」が6.5時間であった。1日の過ごし方を男女別にみても差はみられない。学年別にみると、授業等の学習時間が、年次とともに減少する傾向がみられる。医学類5年次、6年次の学習時間は他の年次より2時間近く長い。

また、1週間の過ごし方をみると、全体では「大学の授業・実習・研究等の時間」30.0時間、「授業等以外の学習時間」11.3時間、「サークル・ボランティアなどの活動時間」7.1時間、「アルバイト時間」7.1時間であった。男女別にみても差はみられない。学年別に比較すると、1～4年次は総学習時間に大きな差はないが、アルバイト時間が学年とともに伸びる傾向にある。医学類5年次と6年次の学習時間が長いのは医学類独自のカリキュラムによると考えられる。

図 1.15 1日の過ごし方【学年別、男女別、全体（時間）】

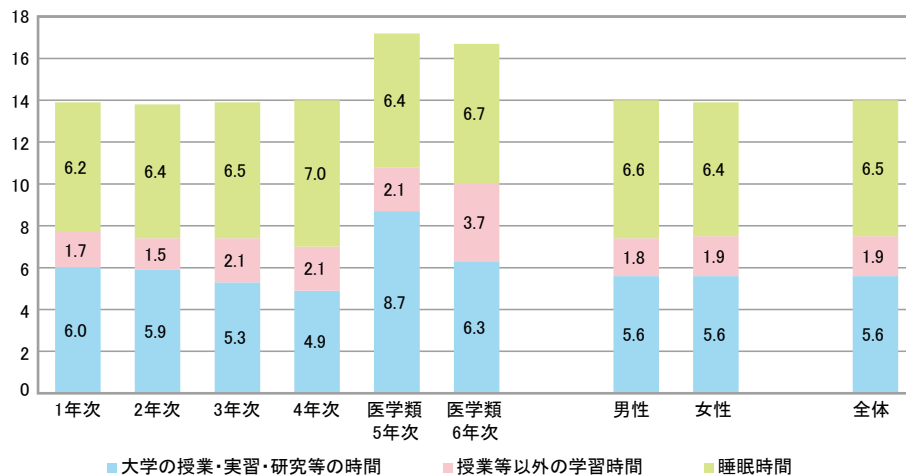
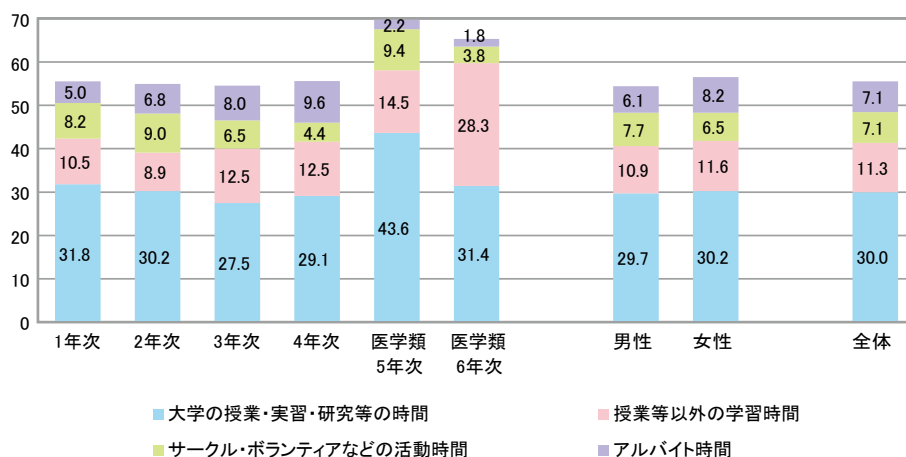


図 1.16 1週間の過ごし方【学年別、男女別、全体（時間）】

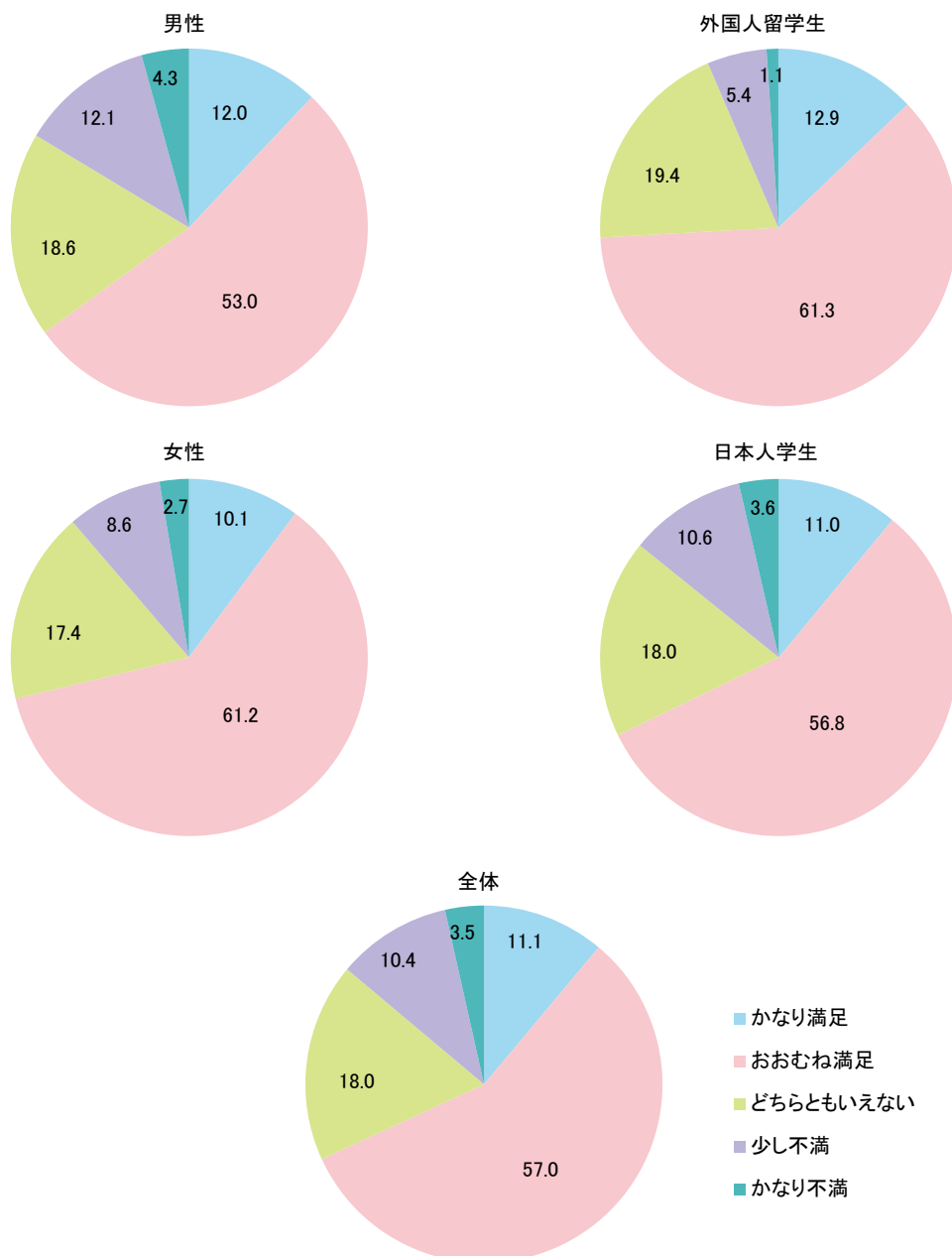


問 6. 日常生活の満足度について

◎日常生活に対する満足度は、全体では「かなり満足」11.1%、「おおむね満足」57.0%。

現在の日常生活に対する満足度を「かなり満足」「おおむね満足」「どちらともいえない」「少し不満」「かなり不満」の5択で尋ねた。全体では「かなり満足」11.1%、「おおむね満足」57.0%、「どちらともいえない」18.0%、「少し不満」10.4%、「かなり不満」3.5%であった。男女別で見ると、女性が「かなり満足」「おおむね満足」と回答した割合が男性と比べて多い。また、外国人留学生と日本人学生では、外国人留学生の方が「かなり満足」「おおむね満足」と回答した割合が多かった。

図 1.17 日常生活の満足度【男女別、外国人留学生・日本人学生別、全体（%）】



第2章 通学・事故等について

問7. 通学時の交通手段について

- ◎天候に関わらず自転車の利用率が高い。
- ◎キャンパス交通システム（学内循環バス）の利用は前回調査より低下。

雨天時以外および雨天時の通学の手段について、「徒歩」「自転車」「バイク（原付を含む）」「自家用車」「キャンパス交通システム（学内循環バス）」「学内循環バス以外の路線バス」「つくばエクスプレス（TX）」「JR常磐線」「その他」の9項目を選択肢としてあげ、複数回答方式で調査した。

天候に関わらず、「自転車」の利用が最も多かった。雨天時以外では、自転車の利用率は85%を超え、雨天時でも67.6%が利用していた。前回調査では、雨天時以外81.4%、雨天時64.5%で、自転車の利用率は増加している。次いで多かったのは「徒歩」で、雨天時以外で27.2%、雨天時で50.1%と、前回調査の雨天時以外26.3%、雨天時47.5%より若干上昇していた。なお、男性よりも女性の方が「徒歩」の割合が高い。「キャンパス交通システム（学内循環バス）」の利用率は、雨天時以外で12.3%、雨天時で23.8%で、前回調査の雨天時以外15.6%、雨天時26.5%より低く、「つくばエクスプレス（TX）」の利用率は、雨天時以外で9.8%、雨天時で9.9%で、前回調査の雨天時以外10.1%、雨天時10.3%とあまり変化はなかった。

自転車の利用に関しては、駐輪マナーや交通違反など学内でも大きな問題となっていることや、ほとんどの学生が自転車を利用していることから、安全対策、安全教育を今後も継続して行う必要がある。特に、雨天時の自転車利用も6割を超えており、傘さし運転による事故やスリップなどのリスクも高まることが想定されるため、より注意喚起が必要であろう。

図 2.1 通学時の交通手段：雨天時【学年別、男女別、全体（%）】

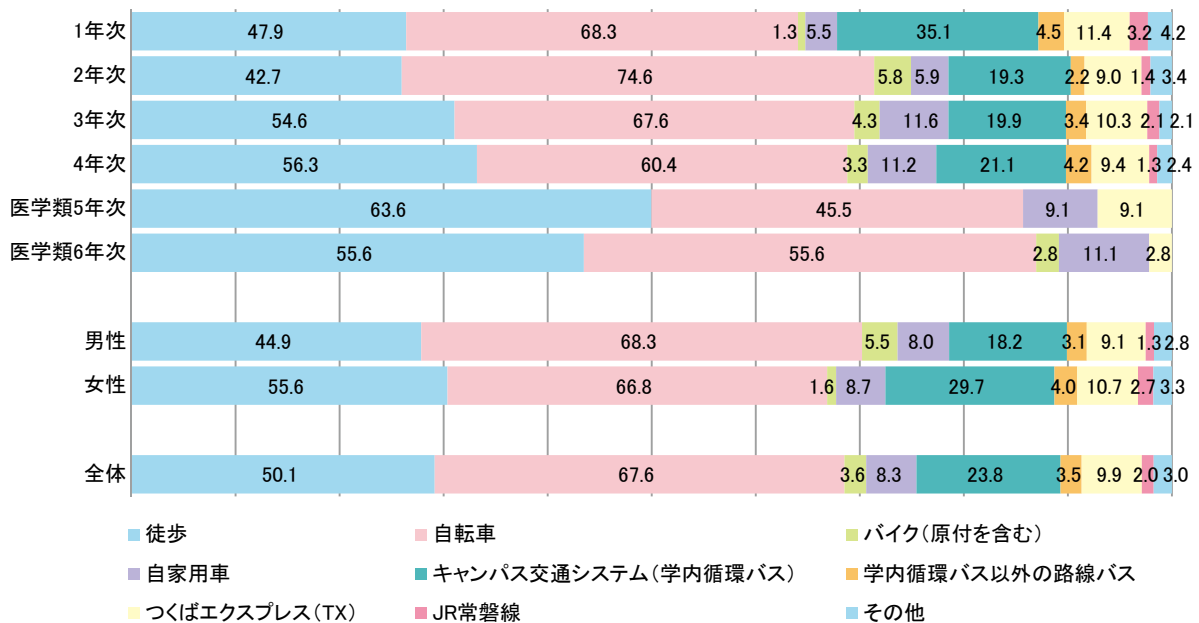
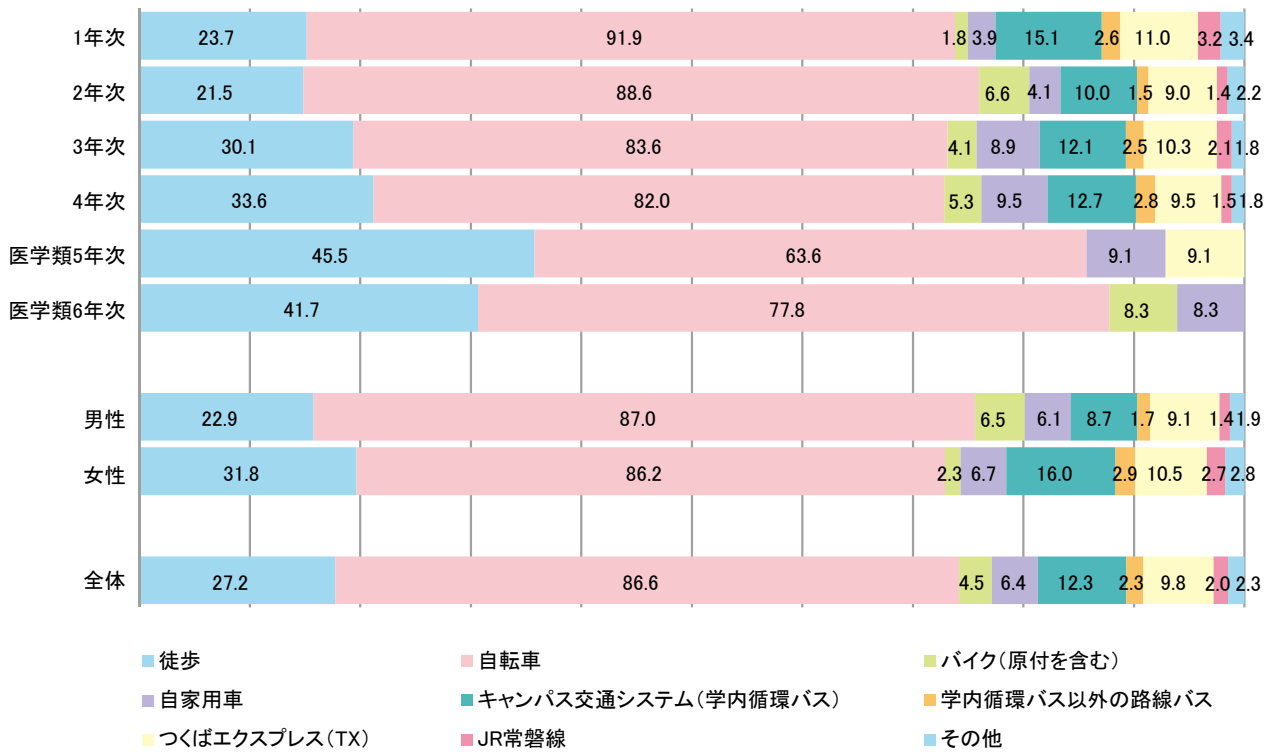


図 2.2 通学時の交通手段：雨天時以外【学年別、男女別、全体 (%)】



問 8. 雨天時以外の通学時間について

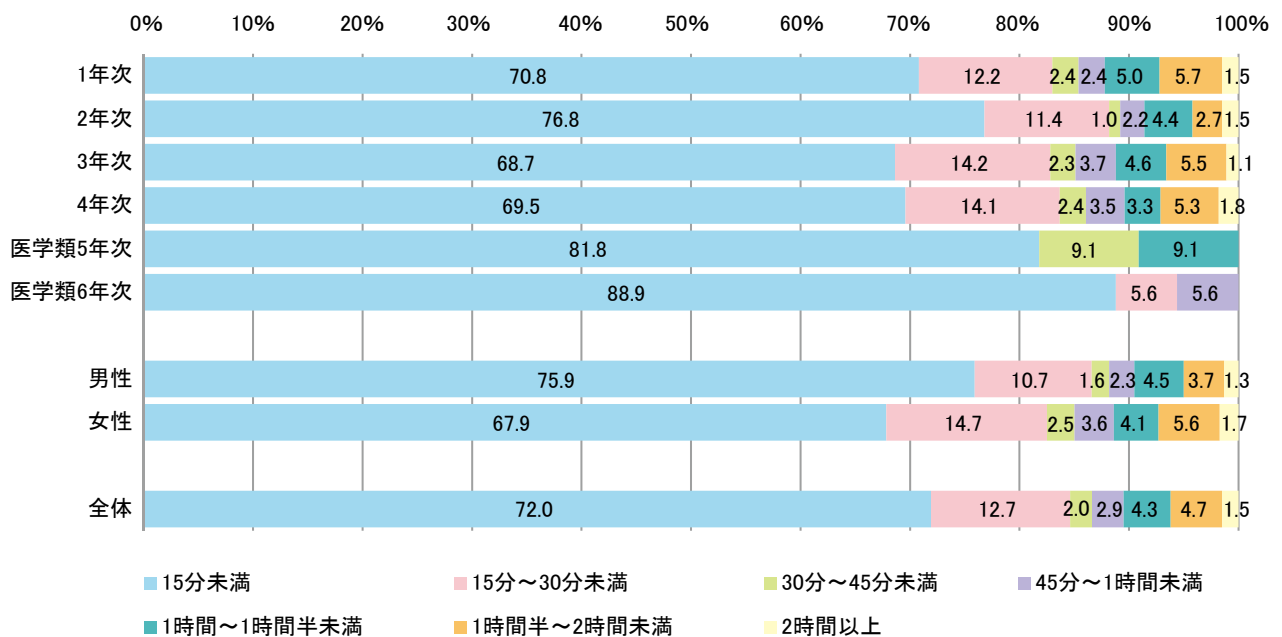
- ◎約 8 割の学生が 30 分未満の通学時間。
- ◎通学時間が 1 時間以上かかる学生は約 1 割。

雨天時以外での通学時間について調査した。「15分未満」「15分～30分未満」「30分～45分未満」「45分～1時間未満」「1時間～1時間半未満」「1時間半～2時間未満」「2時間以上」の7項目を選択肢としてあげ、単一選択方式で尋ねた。

最も多かったのは「15分未満」72.0%、次いで多かったのは「15分～30分未満」12.7%であった。通学時間が30分未満の学生が8割を超えていることから、ほとんどの学生が大学近辺に居住していることが推察される。前回調査では、「15分未満」72.6%、「15分～30分未満」11.6%で、前回調査と比較しても大きな変化はなかった。

通学時間が30分以上かかる学生は15.4%で、1時間以上かかる学生は10.5%であった。前回調査では、「30分以上」14.0%、「1時間以上」9.5%であったことから、近年、電車等で遠距離通学している学生が微増してきていることが推察される。男女別でみると、通学時間が1時間以上かかる男性は9.5%、女性は11.4%であった。授業や課外活動等で帰宅時間が遅くなる場合もあり、防犯対策は十分に行う必要があるだろう。

図 2.3 雨天時以外の通学時間【学年別、男女別、全体 (%)】



問 9. キャンパス交通システム（学内循環バス）の利用頻度について

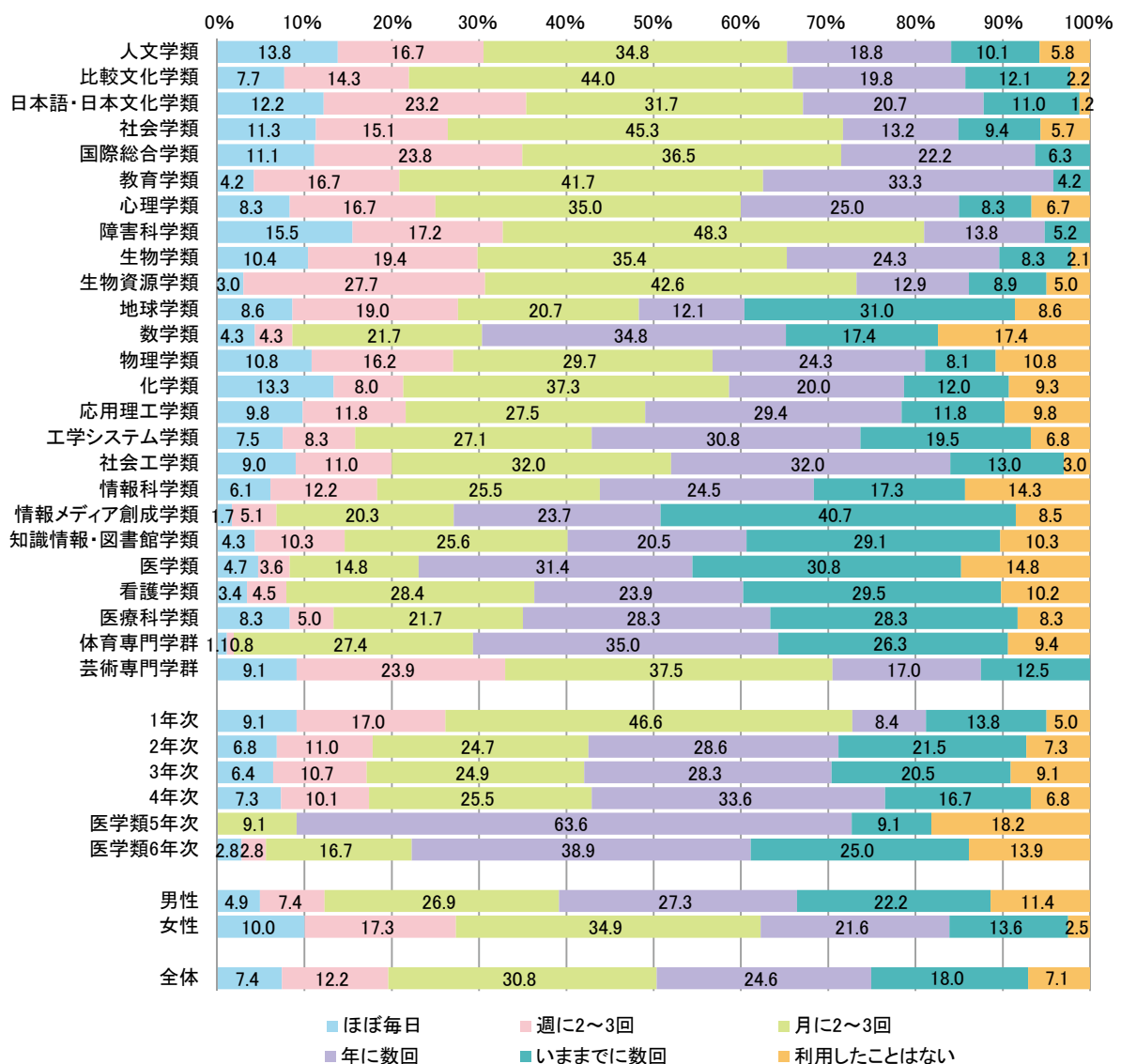
- ◎約 2 割の学生が日常的に利用。
- ◎第 2・第 3 エリアや女性の利用率が高い。

キャンパス交通システム（学内循環バス）の利用頻度について調査した。「ほぼ毎日」「週に 2～3 回」「月に 2～3 回」「年に数回」「いままでに数回」「利用したことはない」の 6 項目を選択肢としてあげ、単一選択方式で尋ねた。

「月に 2～3 回」利用する学生が最も多く 30.8%、次いで「年に数回」が 24.6%であった。「ほぼ毎日」利用している学生は 7.4%、「週に 2～3 回」利用している学生は 12.2%と、日常的に循環バスを利用している学生は約 2 割で、前回調査の「ほぼ毎日」7.6%、「週に 2～3 回」15.2%と比較すると微減であった。

男女別でみると、男性の月 2～3 回以上の利用率は 39.2%で、女性の利用率は 62.2%と、女性の利用が多いことが明らかとなった。この傾向は前回調査でも同様であった。学群・学類別にみると、第 2 エリアと第 3 エリアの学生の利用頻度が高い。

図 2.4 キャンパス交通システム（学内循環バス）の利用頻度【学群・学類別、学年別、男女別、全体（%）】



問 10. 自転車事故の経験について

- ◎約 1 割の学生が自転車事故を経験。
- ◎女性が被害者になった割合は男性の約 1.5 倍。

過去 1 年間 (1 年生については大学入学後) の自転車事故の経験について調査した。「事故の経験はない」「加害者になったことがある」「被害者になったことがある」「自損事故の経験がある」の 4 項目を選択肢としてあげ、複数回答方式で尋ねた。

「事故の経験がない」は 89.2% であった。自転車事故を経験した学生では、「自損事故の経験がある」6.8%、「被害者になったことがある」4.2%、「加害者になったことがある」0.8% であった。前回調査では、「事故の経験がない」が 89.0% で、ほぼ変化はみられない。

男女別でみると、被害者になった割合が男性 3.1%、女性 5.4% と女性の方が多く、男性の約 1.5 倍であった。この傾向は前回調査でも確認でき、今回も同様の結果であった。また、学年別や学群・学類別でも大きな違いはなかった。

「事故の経験がない」が 100% になるよう、さらなる安全対策や事故を補償する保険への加入の促進などにも取り組んでいく必要がある。

表 2.1 自転車事故経験の有無【学群・学類別、学年別、男女別、全体】

	回答数	事故の経験はない		加害者になったことがある		被害者になったことがある		自損事故の経験がある	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
人文学類	140	119	86.2%	1	0.7%	7	5.1%	13	9.4%
比較文化学類	92	79	86.8%	1	1.1%	2	2.2%	10	11.0%
日本語・日本文化学類	84	73	89.0%	0	0.0%	3	3.7%	8	9.8%
社会学類	53	48	90.6%	0	0.0%	1	1.9%	4	7.5%
国際総合学類	63	53	84.1%	1	1.6%	3	4.8%	6	9.5%
教育学類	24	20	83.3%	0	0.0%	0	0.0%	4	16.7%
心理学類	62	55	91.7%	0	0.0%	3	5.0%	4	6.7%
障害科学類	58	50	86.2%	0	0.0%	2	3.4%	6	10.3%
生物学類	147	122	84.7%	2	1.4%	12	8.3%	11	7.6%
生物資源学類	105	78	77.2%	4	4.0%	8	7.9%	15	14.9%
地球学類	58	49	84.5%	1	1.7%	4	6.9%	4	6.9%
数学類	23	21	91.3%	0	0.0%	1	4.3%	1	4.3%
物理学類	37	32	86.5%	0	0.0%	1	2.7%	4	10.8%
化学類	75	71	94.7%	0	0.0%	2	2.7%	2	2.7%
応用理工学類	52	46	90.2%	2	3.9%	2	3.9%	2	3.9%
工学システム学類	133	128	96.2%	1	0.8%	0	0.0%	4	3.0%
社会工学類	101	92	92.0%	0	0.0%	4	4.0%	5	5.0%
情報科学類	98	92	93.9%	0	0.0%	1	1.0%	5	5.1%
情報メディア創成学類	59	58	98.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.7%
知識情報・図書館学類	118	107	91.5%	0	0.0%	5	4.3%	6	5.1%
医学類	169	156	92.3%	1	0.6%	4	2.4%	8	4.7%
看護学類	88	80	90.9%	0	0.0%	3	3.4%	5	5.7%
医療科学類	60	52	86.7%	0	0.0%	3	5.0%	5	8.3%
体育専門学群	269	235	88.3%	2	0.8%	17	6.4%	15	5.6%
芸術専門学群	89	78	88.6%	1	1.1%	7	8.0%	3	3.4%
1 年次	618	553	89.8%	2	0.3%	19	3.1%	44	7.1%
2 年次	601	507	85.9%	6	1.0%	40	6.8%	48	8.1%
3 年次	441	397	90.6%	4	0.9%	13	3.0%	27	6.2%
4 年次	550	493	90.5%	5	0.9%	22	4.0%	30	5.5%
医学類 5 年次	11	11	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
医学類 6 年次	36	33	91.7%	0	0.0%	1	2.8%	2	5.6%
男性	1,157	1,037	90.2%	10	0.9%	36	3.1%	74	6.4%
女性	1,100	957	88.1%	7	0.6%	59	5.4%	77	7.1%
全体	2,257	1,994	89.2%	17	0.8%	95	4.2%	151	6.8%

問 11. 交通事故（自転車事故を除く）の経験について

- ◎交通事故の経験がない学生は95.0%。前回よりも約4ポイント向上。
- ◎交通事故を経験した学生は男性の方が多い。

過去1年間（1年生については大学入学後）の交通事故（自転車事故を除く）の経験について調査した。「事故の経験はない」「加害者になったことがある」「被害者になったことがある」「自損事故の経験がある」の4項目を選択肢としてあげ、複数回答方式で尋ねた。

「事故の経験がない」は95.0%であった。交通事故を経験した学生では、「被害者になったことがある」2.4%、「自損事故の経験がある」2.1%、「加害者になったことがある」0.8%であった。前回調査では、「事故の経験がない」は91.1%であったことから、3.9ポイント向上した。「事故の経験がない」が100%になるよう、今後も継続した対策が必要である。

男女別でみると、交通事故を経験した学生は加害者、被害者、自損をあわせて男性6.9%、女性3.7%で男性の方が多かった。この傾向は前回調査でも確認でき、今回も同様の結果であった。

大学に入学すると、多くの学生が免許を取得し、車やバイクに乗る機会が増加する。そのため、被害者だけでなく加害者となるリスクも高まることから、交通ルールの遵守や、安全運転の励行が求められる。

表 2.2 交通事故（自転車事故を除く）経験の有無【学群・学類別、学年別、男女別、全体】

	回答数	事故の経験はない		加害者になったことがある		被害者になったことがある		自損事故の経験がある	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
人文学類	139	132	95.7%	2	1.4%	2	1.4%	3	2.2%
比較文化学類	91	87	95.6%	0	0.0%	1	1.1%	3	3.3%
日本語・日本文化学類	83	78	95.1%	1	1.2%	0	0.0%	4	4.9%
社会学類	53	49	92.5%	1	1.9%	2	3.8%	1	1.9%
国際総合学類	63	62	98.4%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.6%
教育学類	24	23	95.8%	0	0.0%	1	4.2%	0	0.0%
心理学類	61	54	90.0%	0	0.0%	5	8.3%	2	3.3%
障害科学類	58	57	98.3%	0	0.0%	1	1.7%	0	0.0%
生物学類	144	135	93.8%	1	0.7%	5	3.5%	3	2.1%
生物資源学類	102	95	94.1%	0	0.0%	2	2.0%	5	5.0%
地球学類	58	54	93.1%	1	1.7%	2	3.4%	1	1.7%
数学類	23	23	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
物理学類	38	35	94.6%	1	2.7%	1	2.7%	1	2.7%
化学類	75	72	96.0%	0	0.0%	2	2.7%	1	1.3%
応用理工学類	51	46	90.2%	1	2.0%	1	2.0%	3	5.9%
工学システム学類	134	123	92.5%	2	1.5%	7	5.3%	2	1.5%
社会工学類	100	98	98.0%	0	0.0%	1	1.0%	1	1.0%
情報科学類	98	97	99.0%	0	0.0%	1	1.0%	0	0.0%
情報メディア創成学類	59	56	94.9%	0	0.0%	2	3.4%	1	1.7%
知識情報・図書館学類	117	113	96.6%	0	0.0%	3	2.6%	1	0.9%
医学類	171	158	93.5%	2	1.2%	5	3.0%	6	3.6%
看護学類	88	86	97.7%	1	1.1%	1	1.1%	0	0.0%
医療科学類	60	60	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
体育専門学群	266	248	93.2%	3	1.1%	9	3.4%	6	2.3%
芸術専門学群	88	84	95.5%	1	1.1%	0	0.0%	3	3.4%
1年次	616	601	97.6%	1	0.2%	9	1.5%	5	0.8%
2年次	593	556	94.2%	8	1.4%	11	1.9%	18	3.1%
3年次	439	415	94.7%	0	0.0%	14	3.2%	10	2.3%
4年次	548	511	93.8%	7	1.3%	17	3.1%	13	2.4%
医学類5年次	12	8	72.7%	0	0.0%	2	18.2%	2	18.2%
医学類6年次	36	34	94.4%	1	2.8%	1	2.8%	0	0.0%
男性	1,154	1,074	93.4%	12	1.0%	38	3.3%	30	2.6%
女性	1,090	1,051	96.8%	5	0.5%	16	1.5%	18	1.7%
全体	2,244	2,125	95.0%	17	0.8%	54	2.4%	48	2.1%

問 12. 盗難被害について

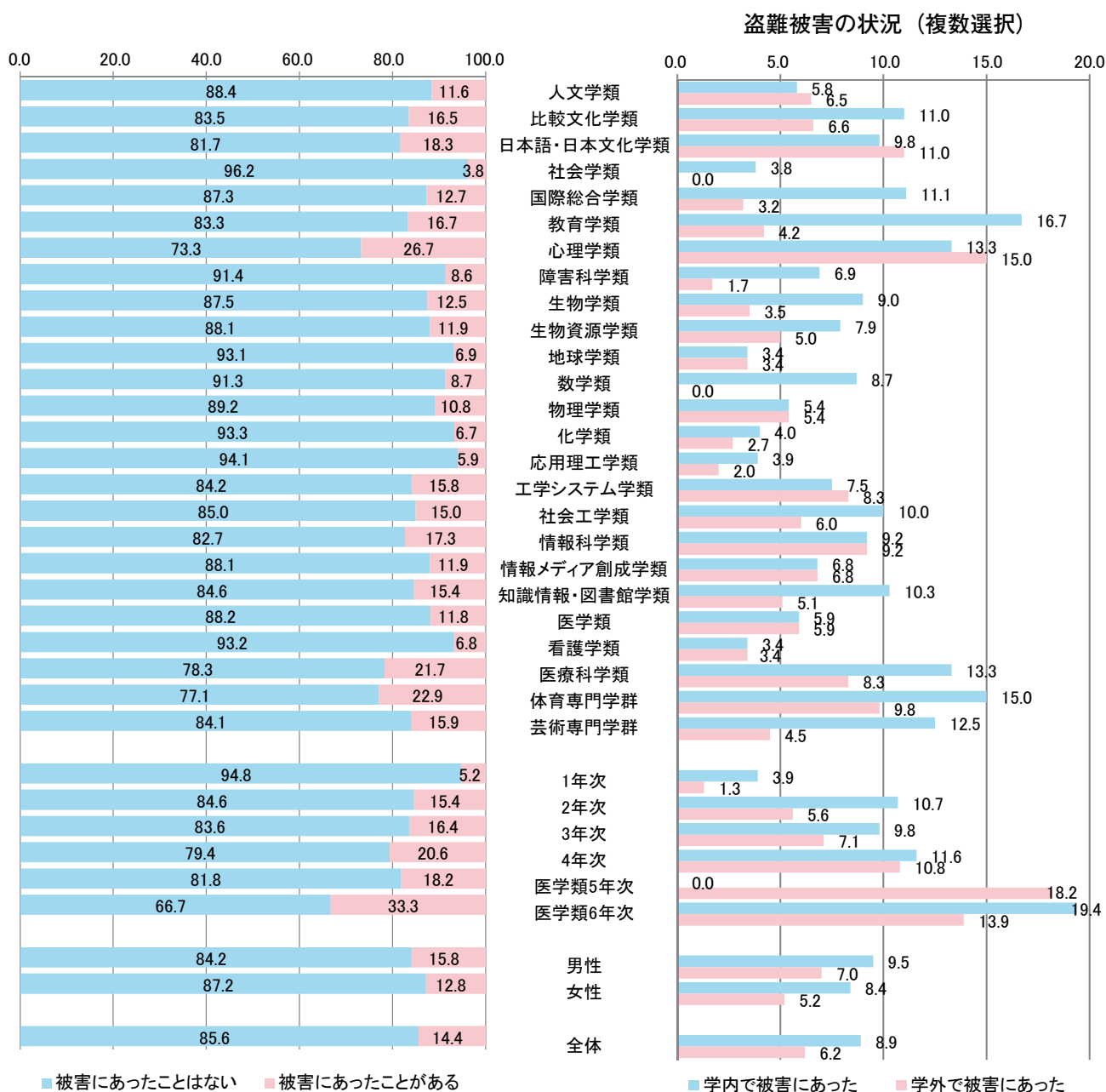
- ◎約 15%の学生が盗難の被害。
- ◎自転車の盗難が最多。
- ◎被害者の割合は減少。

大学入学後に、学内学外を問わず、盗難被害の有無を調査した。「被害にあったことはない」「学内で被害にあった」「学外で被害にあった」の3項目を選択肢としてあげ、複数回答方式で尋ねた。

「被害にあったことはない」学生は85.6%であった。盗難被害の経験がある学生では、「学内で被害にあった」8.9%、「学外で被害にあった」6.2%で、盗難品は自転車が最も多く、次いで傘、現金であった。前回調査では「被害にあったことがない」74.4%で、被害にあったことがない学生の割合は11.2ポイント上昇した。

盗難被害の割合は改善したが、盗難被害にあわないよう今後も注意喚起を促し、継続した対策が必要である。

図 2.5 盗難被害経験の有無【学群・学類別、学年別、男女別、全体 (%)】



問 13. 傷害等の被害について

- ◎約 2%の学生が傷害等の被害に遭遇。
- ◎被害の割合は減少。

大学入学後の傷害等の被害の有無について調査した。「被害にあったことはない」「学内で被害にあった」「つくば市内で被害にあった」「上記以外の場所で被害にあった」の4項目を選択肢としてあげ、複数回答方式で尋ねた。

全体で「被害にあったことはない」98.8%であった。傷害等の被害にあった学生では、「学内で被害にあった」0.2%、「つくば市内で被害にあった」0.6%、「上記以外で被害にあった」0.4%であった。前回調査では、「被害にあったことはない」96.4%で、被害にあったことのない学生の割合は2.4ポイント上昇した。一方、被害にあったことのある学生は約1%おり、被害の発生場所は前回調査と大きな違いはなかった。男女別でも大きな違いはなかった。大学校内だけでなく、周辺地域も含めて、安全で安心な環境を整備し、充実したキャンパスライフが送れるように、学生への注意喚起活動など継続して行っていく必要がある。

図 2.6 傷害等被害経験の有無【学群・学類別、学年別、男女別、全体 (%)】



第3章 健康状態について

問 14. 過去1年間の健康状態について

- ◎全体の約60%は身体的に健康であり、日常的体調不良を除くと大半が健康である。
- ◎心理的問題での相談機関利用者は全体の約5%であり、学年があがるにつれ増加傾向。
- ◎精神的問題での受診・入院経験のあるものは全体の約3.3%である。

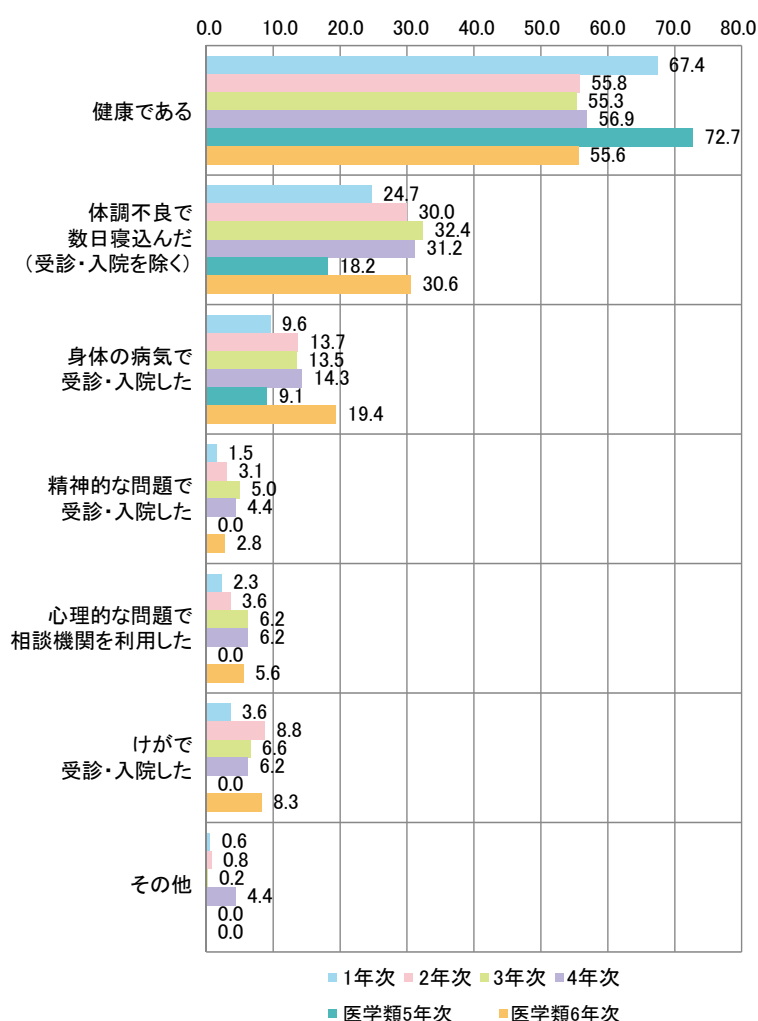
過去1年の身体的および心理的・精神的健康状態についてあてはまるものすべてを選択させた。健康であると回答したものは全体の約6割であった。1年次と医学類5年次が約7割前後であり、その他の学年は約55%であった。また、受診や入院を要しない軽度の体調不良を患ったものが全体の約3割であり、受診や入院を要する疾病に罹患したものが12.7%で、入院や受診を要する負傷をしたものが5.8%であった。以上の結果から、大半の学生は、日常的な体調不良を除けば、身体的に健康であったことが推測される。

心理的問題を感じて相談機関を利用したと回答したものは全体の4.4%で、特に、1～2年次の約2～4%に比べて、3年次6.2%、4年次6.2%と割合が増加しており、学年が進むにつれて心理的問題を抱える学生が増加する傾向がある。また、精神的問題により受診や入院をしたと回答したものは全体の3.3%で、1～2年次の受診率が約1～3%であるのに比して、3～4年次の受診率は5%前後と増加傾向にある。

表 3.1 過去1年間の健康状態【全体】

健康である	59.2%
健康不良で数日寝込んだ(受診・入院を除く)	29.2%
身体の病気で受診・入院した	12.7%
精神的な問題で受診・入院した	3.3%
心理的な問題で相談機関を利用した	4.4%
けがで受診・入院した	5.8%
その他	0.6%

図 3.1 過去1年間の健康状態【学年別 (%)】



問 15. 過去 1 年間の困り事・悩み事について

- ◎最も多い困り事悩み事は「進路」で約 4 割であった。
- ◎続いて「学業・研究の不振」「部活動・サークル内の問題」があげられた。
- ◎自分の性格や心理的・精神的問題についても約 3 割が該当していた。

過去 1 年間にどのようなことで困ったり悩んだりしたかを複数選択させた。最も多くあげられたのは前回調査同様「進路」で全体の約 40%が該当した。中でも 3 年次の過半数、4 年次の約半数が選択している。また、「就職」に関する悩みも 3～4 年次は半数近くが選択しており、2 人に 1 人は進路や就職の悩みを抱えていると推測される。また、1～2 年次の約 4～5%が転学類等について悩んだと回答しており、初期の適応に課題を抱える可能性が考えられる。

全体で 2 番目に多い悩みは「学業・研究の不振」で約 37%が選択している。特に 4 年次の約半数が該当していることが特徴的で、医学類 5～6 年次も 4 割前後が選択している。3 番目は「自分の精神的・心理的状态」33.9%で、「自分の性格」32.6%もあわせて考えると、3 人に 1 人以上は自分自身について悩み考えていることが推測され、女性のほうが男性より悩みを抱える割合が多い。他には、部活動・サークル内、友人間、恋愛、家族等、対人関係に関する悩みが約 12～32%該当している。また、経済的問題の悩みを抱えるものが全体の 2 割を超えている。

表 3.2 過去 1 年間の困り事・悩み事【学年別、男女別、全体】

	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	医学類 5 年次	医学類 6 年次	男性	女性	全体
学業や研究の不振	33.0%	29.0%	34.0%	50.5%	36.4%	41.7%	35.0%	38.1%	36.5%
単位修得の問題	27.3%	28.8%	27.4%	21.5%	9.1%	2.8%	26.0%	25.6%	25.8%
転学類・転学群	5.2%	3.9%	2.1%	0.6%	0.0%	0.0%	3.6%	2.4%	3.0%
休学・退学	2.9%	3.2%	4.8%	6.1%	0.0%	2.8%	5.2%	2.9%	4.1%
進路	37.7%	34.7%	55.7%	47.7%	54.5%	41.7%	41.2%	44.9%	43.0%
就職	11.4%	19.3%	43.2%	43.5%	0.0%	22.2%	24.0%	31.5%	27.6%
友人との関係	28.1%	24.6%	25.1%	17.1%	36.4%	13.9%	21.8%	25.7%	23.7%
教員との関係	2.6%	3.2%	3.2%	8.3%	18.2%	5.6%	5.7%	3.0%	4.4%
研究室内の問題	0.2%	1.0%	2.3%	8.3%	0.0%	8.3%	2.9%	2.9%	2.9%
部活動・サークル内の問題	29.2%	46.3%	36.3%	20.0%	45.5%	22.2%	30.4%	35.4%	32.8%
恋愛関係	19.2%	20.0%	24.2%	17.2%	27.3%	36.1%	20.3%	20.1%	20.2%
家族関係	11.2%	11.0%	17.1%	12.5%	9.1%	13.9%	9.7%	15.8%	12.7%
自分の性格	33.9%	27.3%	38.8%	32.8%	27.3%	22.2%	28.3%	37.3%	32.6%
自分の精神的・心理的状态	33.4%	28.3%	40.6%	36.0%	27.3%	22.2%	30.8%	37.2%	33.9%
自分の身体的病気・けが等の状態	9.9%	14.6%	12.6%	10.5%	18.2%	13.9%	11.4%	12.4%	11.9%
経済状態	18.0%	22.0%	27.4%	24.8%	18.2%	13.9%	23.3%	21.6%	22.5%
ハラスメント	0.6%	1.0%	0.9%	0.9%	18.2%	2.8%	1.1%	0.8%	1.0%
その他	1.8%	1.9%	3.9%	0.9%	9.1%	2.8%	1.8%	2.3%	2.1%
特になし	18.5%	16.4%	10.7%	11.4%	9.1%	19.4%	16.7%	12.5%	14.7%

問 16. 過去 1 年間のあなたの感じ方について

- ◎「やりたいことができている」「大学生活が充実している」等の心理的健康度が高い回答であった。
- ◎一方、「何となく不安になることがある」に該当するものも同様に高い。
- ◎「気分が憂鬱である」は約 12%、「『死にたい』と思ったことがある」は約 7%が高頻度で該当。

心理的健康度についていくつかの指標で「とてもあてはまる」から「全くあてはまらない」の 4 件法で尋ねた。「自分のやりたいことができている」「大学生活が充実している」「自分のことをよくわかってくれている人がいる」の 3 項目はどれも約 7～8 割程度が YES 群（注参照）に該当しており、心理的健康度の高さがうかがえた。一方、「何となく不安になることがある」という項目にも約 77%が YES 群として回答しており、女性の方がやや多かった。「学生生活ではやりたいことができ、充実しており、自分を理解してくれる人もいる。自由さも満足さも理解されている感覚もあるが、どこか不安である」という現代的な学生像を描くことができよう。

一方、「何をやってもうまくいかない気がする」に YES 群として回答したものは全体の約 4 割、また、「『死にたい』と思ったことがある」という希死念慮に YES 群として該当するものは約 2 割であった。特に希死念慮項目に「とてもあてはまる」を選択したものは 7.6%であった。丁寧な対応が求められよう。

図 3.2 過去 1 年間の精神的な健康状態【全体 (%)】

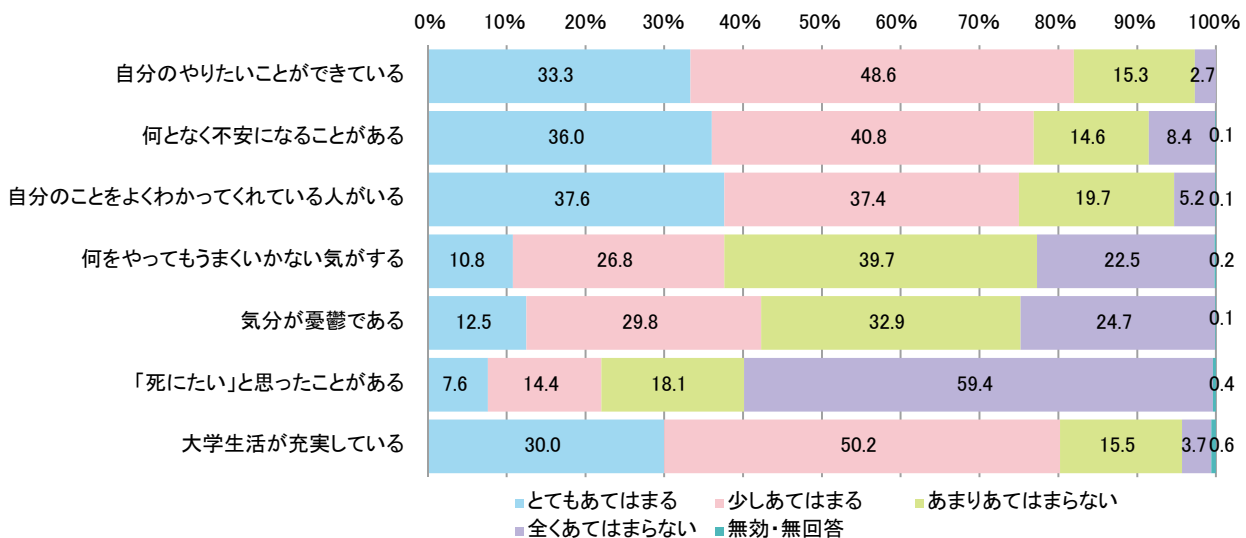


表 3.3 過去 1 年間の感じ方【全体】

	YES		NO	
	男性	女性	男性	女性
自分のやりたいことができている	81.7%	82.1%	18.3%	17.8%
何となく不安になることがある	72.3%	81.6%	27.6%	18.2%
自分のことをよくわかってくれている人がいる	70.1%	80.1%	29.7%	19.8%
何をやってもうまくいかない気がする	36.1%	39.3%	63.8%	60.4%
気分が憂鬱である	41.1%	43.6%	58.7%	56.4%
「死にたい」と思ったことがある	21.7%	22.4%	77.8%	77.3%
大学生活が充実している	78.0%	82.6%	21.5%	16.8%

注) 把握しやすいよう、YESは「とてもあてはまる」「少しあてはまる」を合算し、NOは「あまりあてはまらない」「全くあてはまらない」を合算した。

第4章 相談相手・情報の得方について

問 17-1. 主な相談相手について

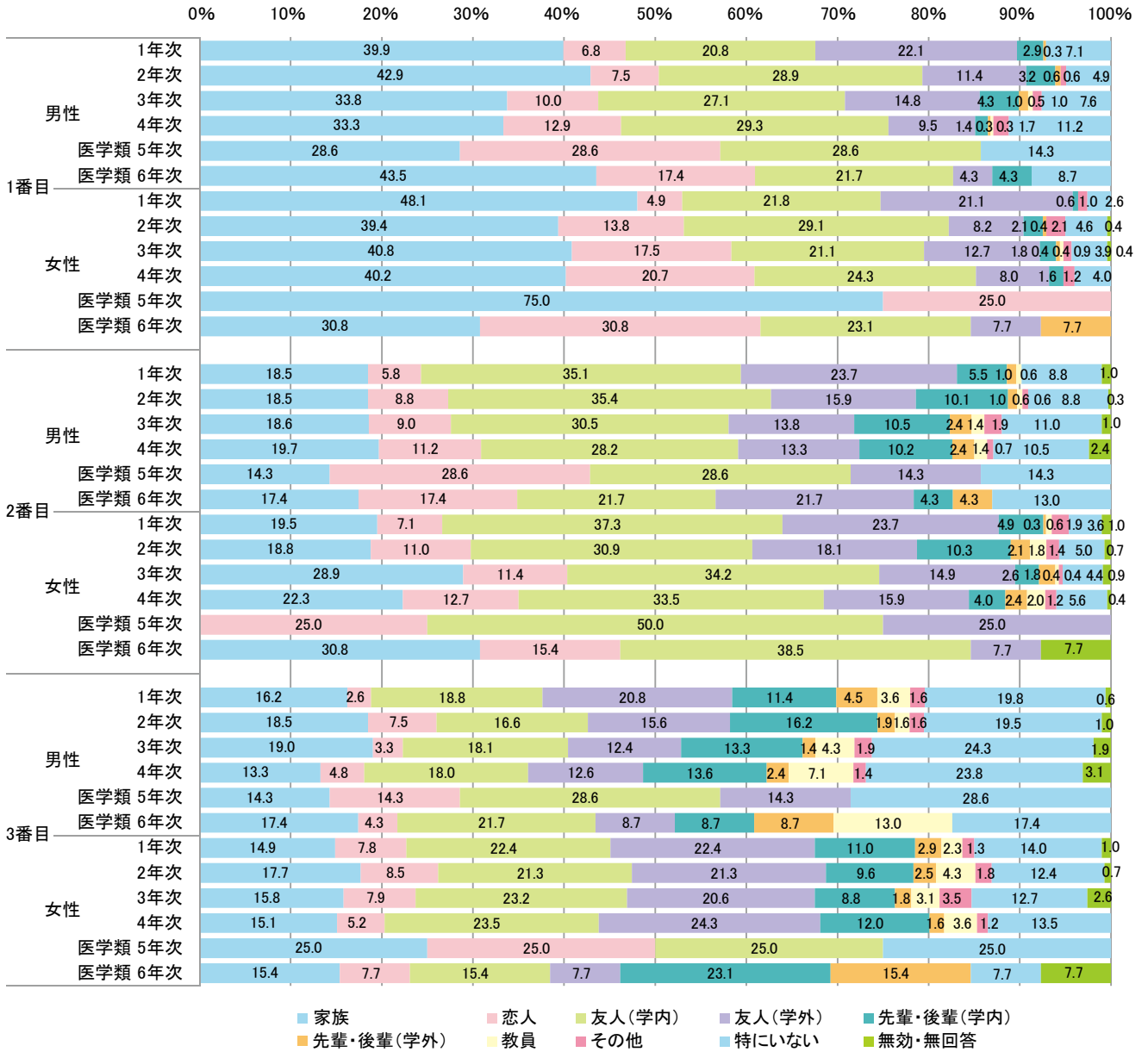
- ◎総じて相談相手として最も選ばれやすいのは家族、次いで学内友人である。
- ◎男性は相談相手を持たない者が女性より多い。
- ◎女性は家族、恋人、友人が相談相手の大半を占めている。

重要なことを話したり、悩みを相談する人として、該当する上位3番目までを選択させた。全体として、1番目に最も多く選ばれたのは「家族」であった。次いで選ばれたのは「友人（学内）」で、男女別の学年推移をみても、増減はあるものの「家族」「友人（学内）」の割合は多くを占めており、「友人（学外）」も認められる。また、男女ともに1番目、2番目に「恋人」を選ぶ割合が学年を経るにつれて増えており、多くの学群生にとって「家族」「恋人」「友人」が主な相談先となっている。

男性は女性と比較して、「先輩・後輩（学内）」を選ぶ割合が多いことから、縦のつながりで相談しやすいと示唆される。一方で、1番目に「特にいない」を選択した者も4.9%～14.3%もあり、男性は自身の悩みを打ち明けることが少ないという指摘通りの実態が垣間みえる。女性は代表的な相談先である「家族」「恋人」「友人」が多くの割合を占めている分、相談先のバリエーションが少ない可能性がある。

また、医学類5年次、6年次は4年次までの様相とは異なる。これは回答者の数が少ないという理由もあろう。あるいは、相談先の1番目、2番目の大半が「家族」「恋人」「友人」で占められていることから、相談先が身近な相手に限られるという特徴を示しているのかもしれない。

図 4.1 相談相手【男女別、学年別 (%)】



問 17-2. 相談相手と話す機会について

- ◎相談相手として1番目に選択した人と話す機会が多い。
- ◎男性は相談相手と話す機会が少なく、悩みを話せる機会が限られやすい。
- ◎女性のおよそ4人に3人は相談相手と頻繁に話ができていると言える。

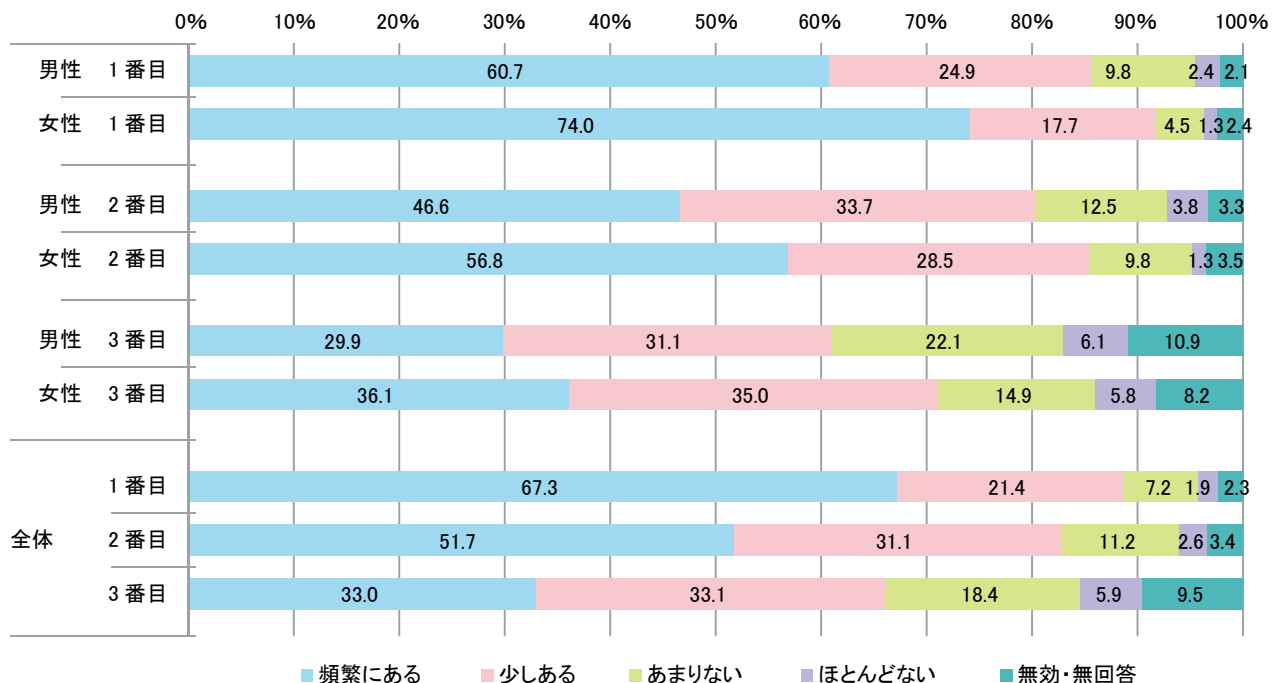
重要なことを話したり、悩みを相談する相手として選択した上位3番目までのそれぞれの人に対してどのくらい話をする機会があるかを尋ねた。全体では、88.7%の学生が1番目に選択した相談相手と話す機会が「頻繁にある」「少しある」と回答し、66.1%の学生が3番目に選択した相談相手とも「頻繁にある」「少しある」と回答したことから、多くの学生において相談相手と話す機会はあると言える。

女性は、90%以上の学生が1番目に選択した相談相手と話す機会が「頻繁にある」「少しある」と回答しており、1番目から3番目のいずれにおいても「頻繁にある」と回答した者の割合が男性より多く、女性は、相談相手となる者と話す機会を多く得られていることがわかる。

男性は、1番目に選択した相談相手と話す機会が「頻繁にある」「少しある」と回答した割合が85.6%で、多くの男子学生が相談相手と話す機会を持てていると言える。一方、約12%の男子学生が1番目に選択した相談相手であっても話す機会が少ないことを示す結果でもある。問17-1も踏まえると、男性は悩みを相談したり、人と話す機会が少ないと考えられる。

これらの結果から、男女ともに（特に男性においては）相談相手と呼べるような他者がいない学生もある程度いることが推測される。相談できないという状況は、学生生活における援助のリソースに欠けているということであり、注意が必要であろう。

図 4.2 相談相手と話す機会【男女別、全体 (%)】



問 18. 情報の得方について

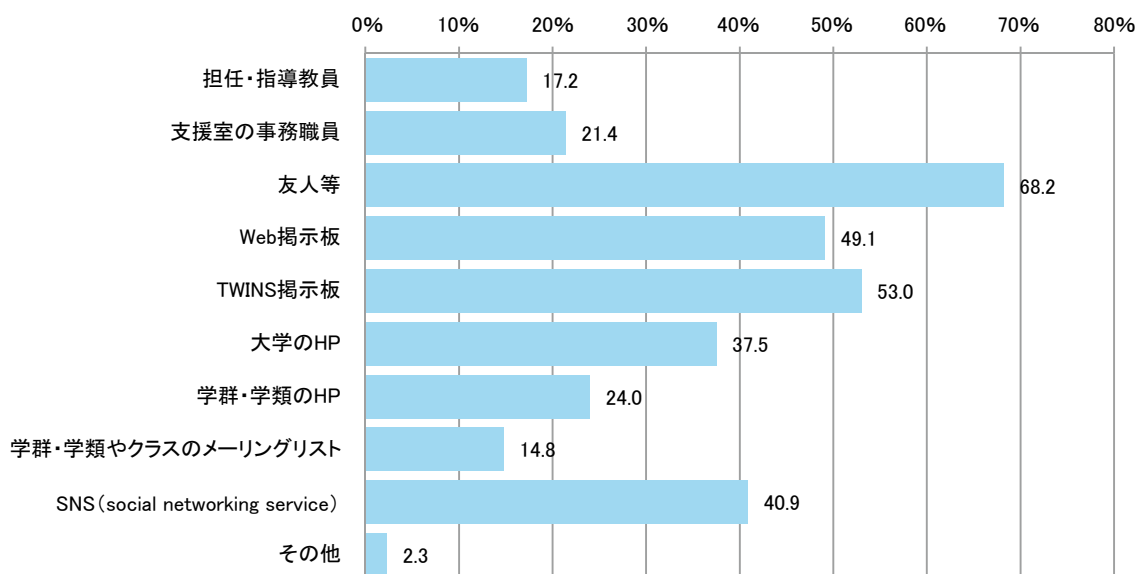
- ◎学群生にとっての主な情報取得源は「友人等」「TWINS 掲示板」「Web 掲示板」。
- ◎大学が用意した Web 掲示板の利用率は向上している。
- ◎学群生においては SNS を活用した友人同士の情報網が強い情報源になっている。

学生生活に関わる情報を得ようとするとき、どういった情報源にアクセスするかを複数回答で尋ねた。選択された割合が多い順から、「友人等」「TWINS 掲示板」「Web 掲示板」であった。前回調査では多い順に「友人等」「支援室の掲示板」「大学の HP」で、他の項目も回答傾向が変化しており、前回調査では 3 つまでの選択式であったことに対し、今回調査では選択数の制限をなくしたことが影響していると考えられる。

前回調査と比較して「TWINS 掲示板」は 6.1% から 53.0% と大幅に上昇している。今回調査時には学内に設けられていた「支援室掲示板」が廃止され、「Web 掲示板」に移行されたため、学生が参照する掲示板が軒並み Web に移行したことが、「TWINS 掲示板」選択率の大幅な向上と「Web 掲示板」の高い利用率に寄与したと考えられる。学群生の Web 掲示板利用率が向上している現在だからこそ、掲示板の利便性向上を図り、情報源ツールとしての役割をより一層強化したい。

また、前回調査では 11.6% であった「SNS (social networking service)」の選択率が 40.9% まで上昇していることも顕著な変化である。前回調査後からの 5 年間で SNS の普及が著しいことの表れであろう。さらに、「友人等」が前回に引き続き最も高い選択率であることもあわせて考えると、学群生の実態として、友人同士の情報網が最も利用される情報源であり、その役割がメーリングリストなどのより手軽にやり取りのできる各種 SNS へと移っていると考えられる。

図 4.3 情報取得源【全体 (%)】



問 19. 相談機関について

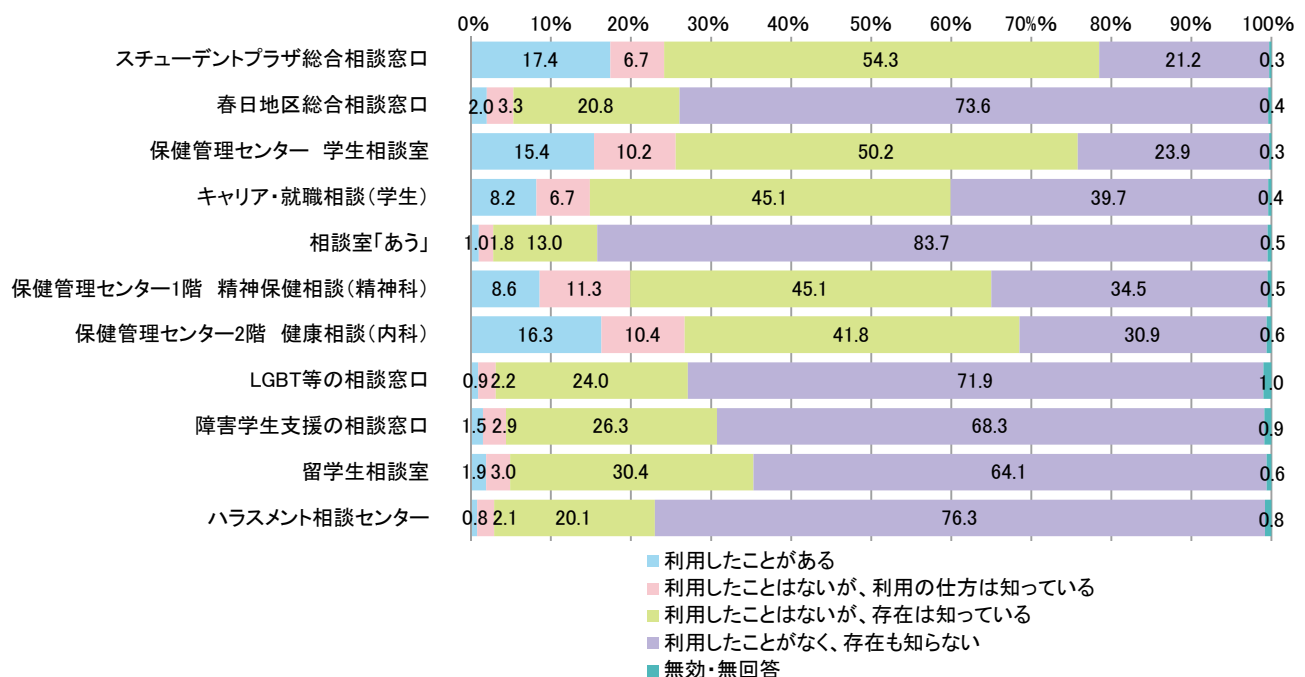
- ◎学内相談機関の存在を知っているが、利用方法までは知らない学生が多い。
- ◎特に「総合相談窓口」「学生相談室」「健康相談(内科)」は、学群生の周知率・利用率ともに高く、ニーズの高さを感じさせる。

学内にある相談機関の周知状況や利用状況について尋ねた。前回調査時は学内5か所の機関のみの調査であったが、今回の調査では学内11か所すべての機関を対象とした。「利用したことがある」と回答された割合を「利用率」、利用率に「利用したことはないが、利用の仕方は知っている」と回答された割合を足したものを「利用方法の周知率」、利用方法の周知率に「利用したことはないが、存在は知っている」と回答された割合を足したものを「存在の周知率」とする。存在の周知率、利用方法の周知率、また利用率いずれにおいても「学生プラザ総合相談窓口」「保健管理センター学生相談室」「保健管理センター2階 健康相談(内科)」が上位3つであった。

存在の周知率は60%から70%を越える機関と、35%程度の機関とで二分されている。また、いずれの機関についても、存在の周知率に比較して利用方法の周知率は軒並み低い。コミュニティ全体の援助能力を向上させるためには、利用方法も含めた周知に工夫を要すると言える。一方で、30%程度の周知率である機関は特定のニーズに特化した機関が主であり、ニーズを持った然るべき対象に情報が届いているかといった、より質的な観点からの検討が単純な周知率の数値以上に重要であるとも考えられる。

利用率では、学生プラザ総合相談窓口が20%弱で最も高い。総合相談窓口の持つ「とりあえず何か困ったときには利用され、より適切な機関へとつなぐ」という使命が果たされていると言える。また、学生相談室と健康相談(内科)の利用率の高さは、ニーズの高さを反映しているとともに、身体的な不調と同様に、心理的な不調も気軽に相談できる風土が醸成されていると考えられ、両者の重要性があらためて示唆された結果となった。

図 4.4 相談機関の周知率・利用率【全体 (%)】



問 20. 学内広報誌について

- ◎学内広報誌を定期的に読まない学群生が7割を超える。
- ◎5人に1人は筑波大学新聞を定期的に読んでいる。

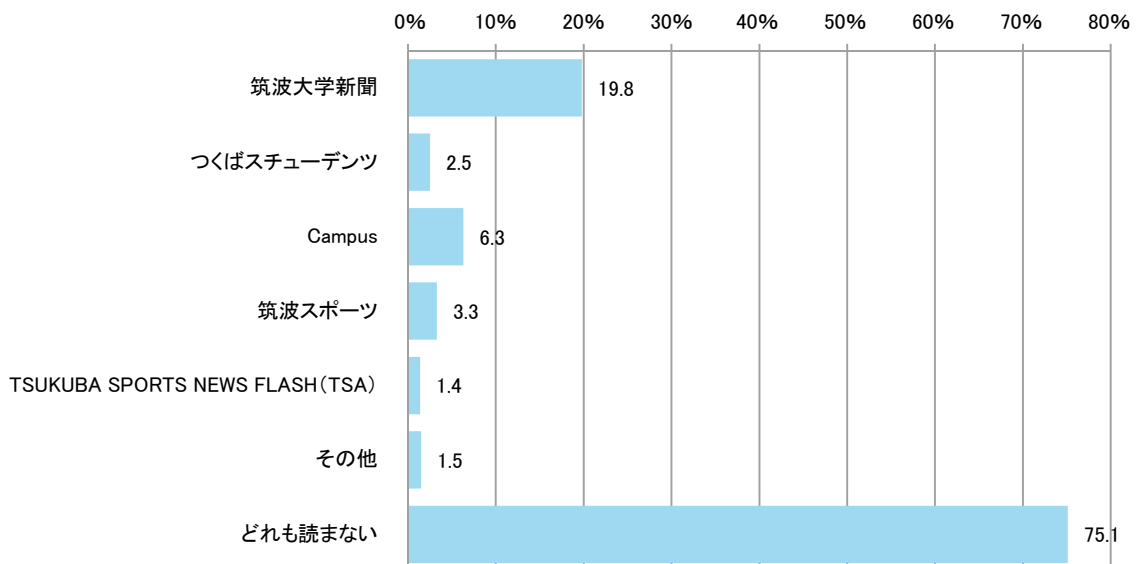
定期的に読む学内広報誌は何かを複数回答で尋ねた。今回の調査では、前回調査時と同様の学内広報誌5誌と、その他という選択肢を設けた。

回答傾向をみると、男女別の差はほとんど認められない。「どれも読まない」と回答した学生が7割を超えており、この結果は前回調査時と比較して1ポイント程度の上昇がみられる。筑波大学新聞以外の広報誌は、読むと答えた学群生の割合が軒並み低下している。

「定期的」ではなく、時々読んだり、目に入った時に読んだりする程度の場合、今回の設問では回答が得られなかったと考えられ、実際はもう少し学群生の目に触れている可能性もある。しかしながら、学群生にとっての情報源が友人やSNSという気軽に文章量の多くない媒体が主であるという問18の結果も踏まえて考えると、学群生における広報誌離れがますます進んでいるという実態が垣間みえる。

一方で、筑波大学新聞を定期的に読むと回答した学生の割合は、前回調査の13.2%から今回は19.8%と他の広報誌とは異なり上昇がみられた。その理由については不明であるが、筑波大学新聞の取組を参考に検討を進めることで、学内広報誌の周知について何らかの知見が得られる可能性もある。学群生の情報源として、Web掲示板の利用率が向上していることなども踏まえると、広報誌のための広報をWeb掲示板を用いて行うなど、周知のための工夫が求められる。あるいは、情報伝達手段としてのそもそもの意義を問い直す必要があるかもしれない。

図 4.5 定期的に読む学内広報誌【全体 (%)】



第5章 クラス制度・学生組織・課外活動等について

問 21. クラス制度について

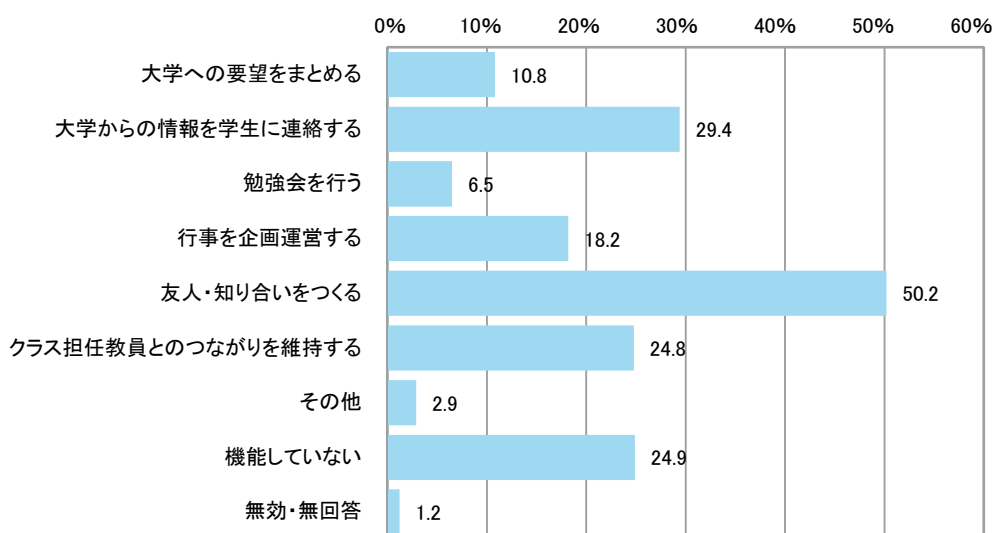
- ◎クラスは「友人・知り合いをつくる」機能が最多。
- ◎クラスが機能していないと答えた学生の割合が高い学類の数が増加。

クラスがどのように機能しているかを調査するため、1年次および2年次を対象に、「大学への要望をまとめる」「大学からの情報を学生に連絡する」「勉強会を行う」「行事を企画運営する」「友人・知り合いをつくる」「クラス担任教員とのつながりを維持する」「その他」「機能していない」から複数回答で選択してもらった。

結果としては、比率が高いほうから順に、「友人・知り合いをつくる」「大学からの情報を学生に連絡する」「機能していない」であった。この順は、前回調査時と変化はない。ただし、前回調査時とくらべて比較的大きな変化があったのは、「クラス担任教員とのつながりを維持する」7.9ポイント増、「機能していない」5.7ポイント増である。

学群・学類別でもおおむね同様の傾向がみられるが、障害科学類、数学類では、「友人・知り合いをつくる」と「クラス担任教員とのつながりを維持する」が同じ割合で5割を超え、それぞれの学類のなかでもっとも高くなっている。また、「機能していない」と答えた学生が多いのは、社会工学類、体育専門学群、社会学類、情報科学類、日本語・日本文化学類、工学システム学類、人文学類で、3割を越えている。前回調査時に3割を超えていたのは5学群・学類であったのに比べて増加している。一方、教育学類、地球学類、数学類では0%、医療科学類でも5%未満であった。「機能していない」の回答は、「大学からの情報を学生に連絡する」（相関係数－0.67）、「友人・知り合いをつくる」（相関係数－0.67）、「クラス担任教員とのつながりを維持する」（相関係数－0.69）の回答が多かった学群・学類ほど少なかった。

図 5.1 クラスの機能【全体 (%)】



問 22. 学生組織の活動について

- ◎ 6～7割の学生がクラ代会・全代会の活動をよく知らない。
- ◎ クラ代会の活動の認知度は、「大学への要望をまとめる」というクラスの機能の強さと相関がある。

クラス代表者会議（クラ代会）と全学学類・専門学群代表者会議（全代会）の活動の認知度について、1年次および2年次を対象に、「よく知っている」「まあまあ知っている」「あまり知らない」「全く知らない」の4項目から1つ選択してもらった。

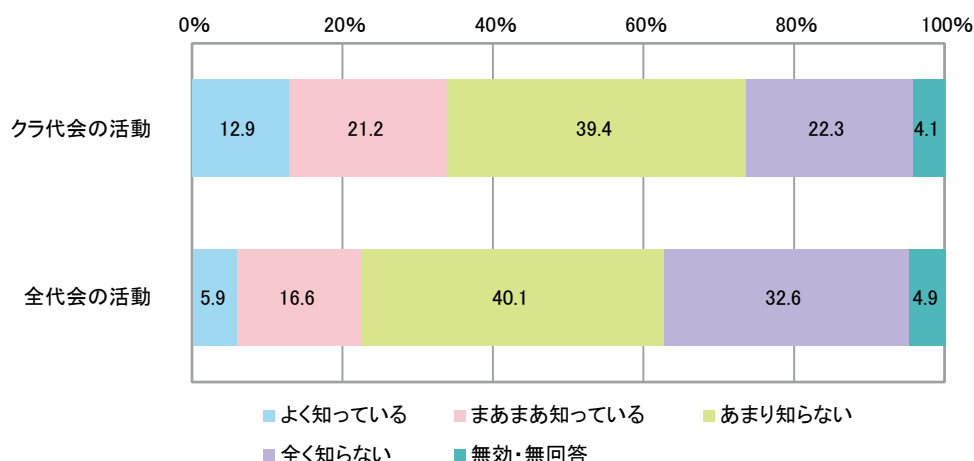
クラ代会の活動について、「よく知っている」「まあまあ知っている」（以下、これらをあわせて「知っている」と答えたのは34.1%、「あまり知らない」「全く知らない」（以下、これらをあわせて「知らない」と答えたのは61.7%であった。

全代会の活動については、「知っている」は22.5%、「知らない」は72.7%であった。どちらの学生組織についても、「知らない」との回答が多数を占めており、依然として多くの学生においては、これらの学生組織の活動の認知度は低いことがわかった。

前回調査時と比較すると、クラ代会については、「知っている」は6ポイント増、「知らない」は1.6ポイント増であった。無効・無回答の減少にともないどちらも増加しているものの、前者の方が増分としては大きかった。すなわち、前回調査時と比較して、クラ代会の活動の認知度はわずかに向上の傾向があった。全代会については、「知っている」は3.3ポイント増、「知らない」は3.9ポイント増であった。無効・無回答の減少にともないどちらも増加し、どちらの増加量もほぼ等しい。すなわち、前回調査時と比較して、全代会の活動の認知度の変化はあまりみられなかった。

問 21 の結果とあわせて分析したところ、クラ代会については、「大学への要望をまとめる」と答えた学生が多い学類ほどクラ代会の活動を「知っている」と答えた学生が多いという相関がみられた（相関係数0.56）。全代会については高い相関係数をもつ項目は認められなかった。

図 5.2 学生組織の活動【全体（%）】



問 23. サークル活動について

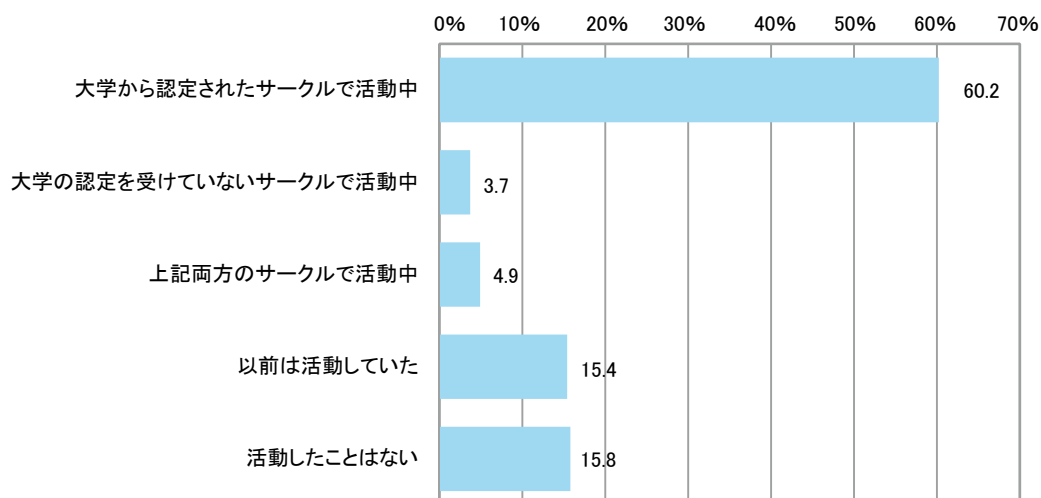
◎サークル活動への参加者が増加。

サークル活動への参加について、「大学から認定されたサークルで活動中」「大学の認定を受けていないサークルで活動中」「大学から認定されたサークルと認定を受けていないサークルの両方で活動中」「以前は活動していた」「活動したことはない」の5項目から1つ選択してもらった。

全体では、「活動中」あるいは「以前は活動していた」の合計が84.2%で、前回調査の74.8%を大きく上回った。学群・学類別では、教育学類83.4%、医学類82.9%、障害科学類82.7%、生物資源学類80.2%が「活動中」と答え、8割を超えた。「以前は活動していた」と答えた学生が最も多かったのは、応用理工学類35.3%であった。「活動中」あるいは「以前は活動していた」と答えた学生が最も多かったのは、人文学類94.2%で、医学類、生物資源学類、応用理工学類、看護学類、教育学類、工学システム学類、社会工学類、国際総合学類、日本語・日本文化学類においても9割を超える。「活動したことはない」と答えた学生が多かったのは、体育専門学群44.7%と芸術専門学群37.5%であった。

学年別では、医学類を除く学群・学類において、「活動中」と答えた学生は1年次81.1%、2年次67.4%、3年次68.8%、4年次51.6%であった。医学類では、1年次91.1%、2年次97.3%、3年次79.2%、4年次76.9%、5年次81.8%、6年次66.7%であった。

図 5.3 サークル活動への参加【全体 (%)】



問 23-1. サークル活動を行う理由について

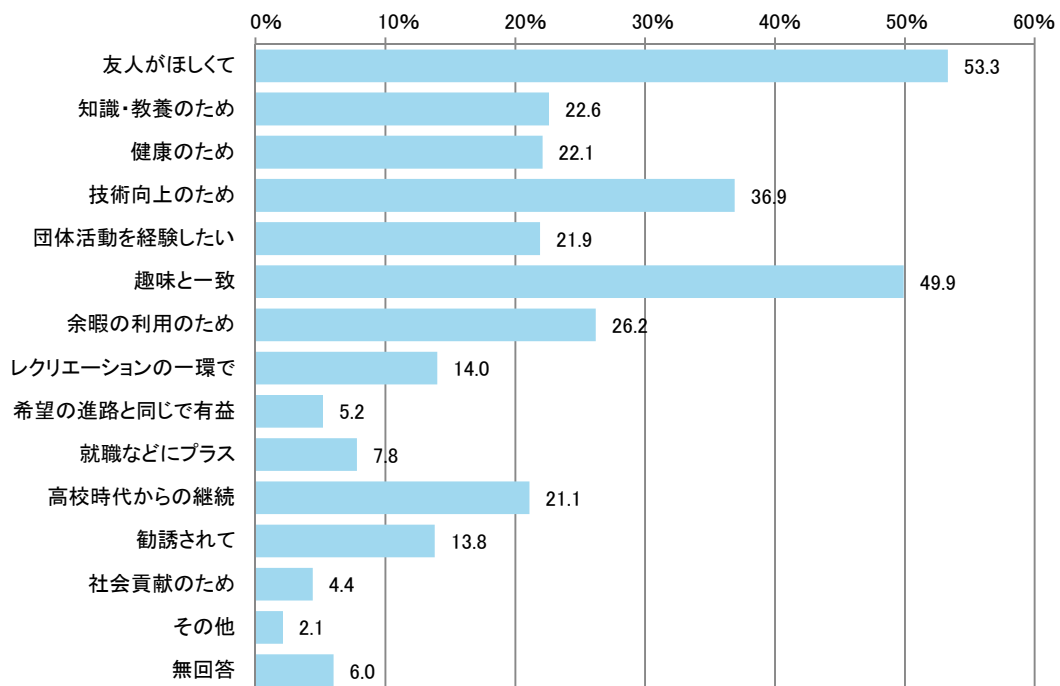
◎参加動機で最も多いのは友人、趣味関係。

現在、サークル活動をしている、あるいは、以前していた学生を対象に、サークル活動の動機について複数回答で調査した。

全体では、「友人がほしくて」「趣味と一致」が5割前後を占め、これまでの調査の傾向と同様であった。前回調査と最も大きく異なったのは、「高校時代からの継続」で、6.6ポイント減であった。

学群・学類別でも、体育専門学群以外はこの傾向はほぼ変わらない。体育専門学群は「友人がほしくて」は11.3%で他の学群・学類と比較して低く、「技術向上のため」66.2%、「高校時代からの継続」54.3%が高い。

図 5.4 サークル活動の動機【全体 (%)】



問 24. 宗教団体や啓発セミナーなどへの参加勧誘について

- ◎ 5 割の学生が、「勧誘を受けたことがある」と回答。
- ◎ 6 割以上の学生が、「他の人が勧誘を受けているのを見たり、聞いたりしたことがある」と回答。
- ◎ いずれのケースも、学内よりも学外のほうが多かった。

大学入学後の宗教団体や啓発セミナーなどへの参加勧誘に関して「勧誘を受けたこと」「他の人が勧誘を受けているのを見たり、聞いたりしたこと」について、キャンパス内外別に答えてもらった。

全体では 5 割の学生が学内または学外で宗教団体や啓発セミナーの勧誘を受けている。さらに、6 割以上の学生が、他の人が学内または学外で勧誘を受けているのを見たり、聞いたりしており、いずれも、学外での勧誘が多い。

「勧誘を受けた(学内)」と「勧誘を受けた(学外)」のあいだにはほとんど相関がみられなかったのに対し、「勧誘を受けた(学外)」と「他の人が勧誘を受けているのを見たり、聞いたりした(学外)」のあいだには 0.45 程度、「他の人が勧誘を受けているのを見たり、聞いたりした(学内)」と「他の人が勧誘を受けているのを見たり、聞いたりした(学外)」のあいだには 0.38 程度の相関がみられた。

男女別でみると、最も大きな違いがあったのは「大学入学後、キャンパス外で勧誘を受けたことがある／ない」の質問で男性 38.9%、女性 29.3%と 9.6 ポイントの違いがあった。外国人留学生・日本人学生別では大きな差は認められなかった。

なお、これらの結果は、サークル活動の有無（問 23 の活動中、または、以前は活動していた、活動したことはない）やボランティア活動の有無（問 25）とは、ほとんど相関はみられなかった。

図 5.5 宗教団体や啓発セミナーなどへの参加勧誘【学群・学類別、全体 (%)】

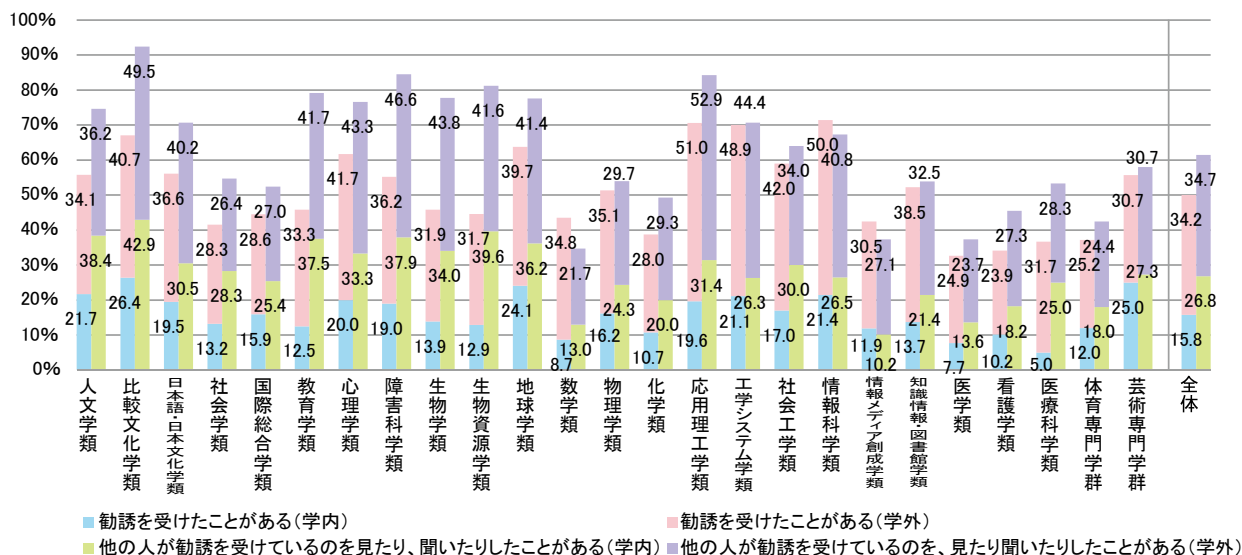
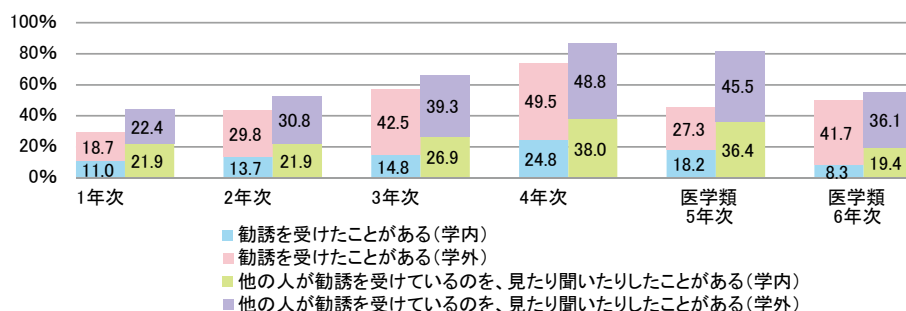


図 5.6 宗教団体や啓発セミナーなどへの参加勧誘【学年別 (%)】



問 25. ボランティア活動について

- ◎約 3 割強の学生がボランティア活動に参加したことがある。
- ◎約 4 人に 1 人の学生がボランティア活動に参加したいと考えている。
- ◎過半数の学生はボランティア活動に関心を持っている。

ボランティア活動の状況について、「授業やゼミを通じて参加したことがある」「つくばアクションプロジェクト（T-ACT）を通じて参加したことがある」「サークル活動を通じて参加したことがある」「その他の機会に参加したことがある」「参加したことはないが、在学中に参加したいと考えている」「ボランティア活動に参加する予定はない」に複数回答で答えてもらった。

「授業やゼミを通じて参加したことがある」「つくばアクションプロジェクト（T-ACT）を通じて参加したことがある」「サークル活動を通じて参加したことがある」「その他の機会に参加したことがある」のいずれかに該当すると答えた学生の割合は 30.6%であった。また、「参加したことはないが、在学中に参加したいと考えている」に該当すると答えた学生の割合は 24.5%であった。したがって、過半数の学生は、何かしらのボランティア活動に参加した経験があるか、または、今後参加したいと考えており、ボランティアに関心があると考えられる。

学群・学類別では、教育学類と障害科学類では、ボランティア活動が特に活発であることがうかがえた。この 2 学類の各項目はそれぞれ、「授業やゼミを通じて参加したことがある」で 37.5%と 17.2%、「つくばアクションプロジェクト（T-ACT）を通じて参加したことがある」で 4.2%と 5.2%、「サークル活動を通じて参加したことがある」で 54.2%と 39.7%、「その他の機会に参加したことがある」は 33.3%と 32.8%であり、全回答の平均を大きく上回った。

表 5.1 ボランティア活動について【全体】

	回答数	回答率
授業やゼミを通じて参加したことがある	110	4.9%
つくばアクションプロジェクト（T-ACT）を通じて参加したことがある	89	4.0%
サークル活動を通じて参加したことがある	343	15.3%
その他の機会に参加したことがある	279	12.5%
ボランティア活動に参加したことがある（上記いずれかに該当した者）	685	30.6%
参加したことはないが、在学中に参加したいと考えている	548	24.5%
ボランティア活動に参加する予定はない	1,003	44.9%

問 26. T-ACT の活動について

- ◎約 5 人に 1 人の学生がなんらかの形で T-ACT に関わったことがある。
- ◎いずれは T-ACT の活動に参加したいと考えている学生が 20% 近くいる。
- ◎約 4 割の学生が T-ACT の活動に関心を持っている。

つくばアクションプロジェクト (T-ACT) の活動について、「T-ACT で企画の発案者 (プランナー) や運営者 (オーガナイザー) を行ったことがある」「T-ACT の企画に参加者 (パーティシパント) として関わったことがある」「総合科目「みんなで創ろう『つくばアクションプロジェクト』」を受けたことがある」「T-ACT 主催のイベント (活動報告会や公開シンポジウムなど) に参加したことがある」「その他の機会 で T-ACT に関わったことがある」「参加したことはないが、在学中に参加したいと考えている」「T-ACT の活動に参加する予定はない」から複数回答で選んでもらった。

回答者のうち、17.7%の学生が何らかの形で T-ACT に関わったことがあり、T-ACT の活動に「参加したことはないが、在学中に参加したいと考えている」に該当すると答えた学生は 18.1%であった。これら をあわせて、約 4 割の学生が T-ACT の活動に何らかの関心を持っていると考えられる。

学群・学類別では、心理学類、比較文化学類、医療科学類などで、すでに参加しているという回答の割合が高かった。教育学類、生物資源学類、生物学類では、すでに参加しているという回答は低いものの、在学中に参加したいと考えている学生が比較的多い傾向であった。

「T-ACT で企画の発案者 (プランナー) や運営者 (オーガナイザー) を行ったことがある」と答えた学生のうち、「T-ACT の企画に参加者 (パーティシパント) として関わったことがある」と答えた学生は 31.3%であることから、参加者としての経験はなくても、発案者や運営者として活動を開始する学生が多いことがわかる。

表 5.2 T-ACT の活動について【全体】

	回答数	回答率
T-ACT で企画の発案者 (プランナー) や運営者 (オーガナイザー) を行ったことがある	83	3.7%
T-ACT の企画に参加者 (パーティシパント) として関わったことがある	148	6.6%
総合科目「みんなで創ろう『つくばアクションプロジェクト』」を受けたことがある	154	6.9%
T-ACT 主催のイベント (活動報告会や公開シンポジウムなど) に参加したことがある	39	1.7%
その他の機会 で T-ACT に関わったことがある	62	2.8%
T-ACT の活動に参加したことがある (上記いずれかに該当した者)	396	17.7%
参加したことはないが、在学中に参加したいと考えている	405	18.1%
T-ACT の活動に参加する予定はない	1,435	64.2%

問 27. 学外研修施設の利用について

- ◎学外研修施設は、実際に利用したことが「ある」と回答した学生は1割程度。
- ◎「存在を知らない」学生が過半数を超える。

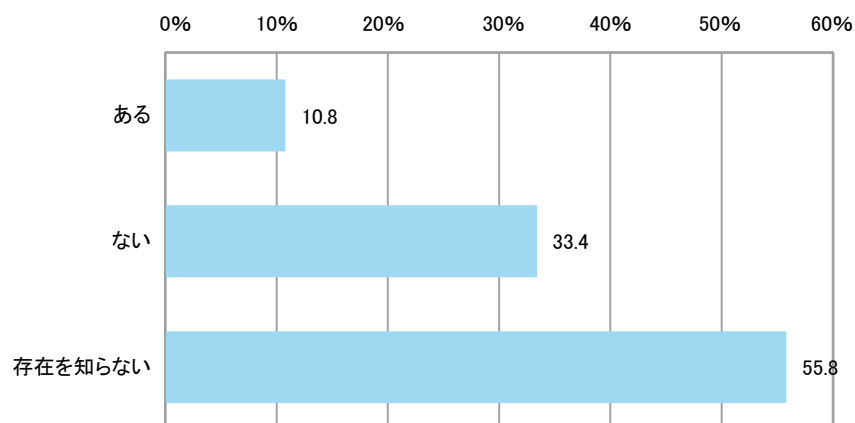
本学は、山中、館山の2箇所に研修施設を保有しているが、その好立地条件にもかかわらず、実際に利用したことが「ある」と回答した学生は1割程度であり、利用したことが「ない」と回答した学生は3割を超えた。「存在を知らない」と回答した学生が過半数に及んでいる。

「存在を知らない」と回答した学生の割合は、前回調査時点まで減少傾向にあり、前々回49.6%、前回33.6%であったが、今回の調査では再度高まる結果になった。

本年度は、研修施設の大規模な改修工事を行っており、長期間にわたって利用できない時期が続いていた。このことが、正課および課外活動における利用経験の減少につながり、「存在を知らない」という結果に結びついたものと考えられる。

学群・学類別で、利用経験が「ある」と回答した学生が多かったのは、地球学類63.8%、体育専門学群27.8%、生物学類16.7%、芸術専門学群15.9%であった。「存在を知らない」と回答した学生は地球学類は10%程度であったが、他の学群・学類では45%以上で、特に医療科学類と看護学類では7割を超えた。

図 5.7 学外研修施設利用の有無【全体 (%)】



第6章 進路や就職活動について

問 28. 卒業後の進路について

- ◎卒業後の進路は進学希望 38.4%、就職希望 46.9%、未決定 14.1%。
- ◎4年次では進学希望 46.5%と就職希望 46.8%がほぼ同率。
- ◎前回調査との比では進路未決定が2.5ポイント減少、進学希望が7.9ポイント増加。

進路は進学と就職に大きく分けることができるが、全体では、「筑波大学大学院」「国内の他大学大学院」「海外の大学院」「(進学) その他」の進学希望 38.4%に対して、就職希望 46.9%と就職希望が優位であった。しかし、学年別にみると、4年次でほぼ同率となり、進学希望が 46.5%、就職希望が 46.8%となっている。「決まっていない」「まだ考えていない」をあわせた進路未決定者は、1年次では2割を超えているが、学年を追うにつれて減少し、3年次では1割未満となる。男女別にみると、進学希望が男性 45.5%、女性 30.9%、就職希望は男性 39.0%、女性 55.2%と男性は進学志向が、女性は就職志向が高い。特に男子の進学希望が前回調査と比べ10ポイント増加している。

学群・学類別にみると、進学希望が6割を超えるのは、工学システム学類 83.5%、応用理工学類 76.5%、化学類 70.6%、生物学類 69.5%、地球学類 65.5%、情報科学類 63.2%、物理学類 62.1%。対して就職希望が6割を超えるのは、医学類 83.4%、看護学類 76.2%、日本語・日本文化学類 72.0%、知識情報・図書館学類 69.3%、社会学類 68.0%、国際総合学類 65.1%、比較文化学類 64.9%、人文学類 61.6%であった。

表 6.1 卒業後の進路【学年別、男女別、全体】

		1年次	2年次	3年次	4年次	医学類5年次	医学類6年次	男性	女性	全体
進 学	筑波大学大学院	26.0%	23.6%	33.6%	40.4%	0.0%	2.8%	36.7%	22.6%	29.8%
	国内の他大学大学院	9.9%	5.1%	4.1%	3.5%	0.0%	0.0%	6.5%	4.9%	5.7%
	海外の大学院	3.7%	1.9%	1.4%	1.7%	0.0%	0.0%	1.9%	2.5%	2.2%
	その他	0.6%	0.7%	0.5%	0.9%	0.0%	0.0%	0.4%	0.9%	0.7%
就 職	企業	15.4%	21.4%	25.8%	27.7%	18.2%	13.9%	18.4%	25.8%	22.0%
	教員	7.5%	9.0%	4.6%	2.2%	0.0%	0.0%	5.8%	5.9%	5.9%
	公務員	9.3%	10.3%	11.9%	9.9%	9.1%	13.9%	7.9%	12.8%	10.3%
	自営・起業	0.8%	0.7%	0.2%	0.4%	0.0%	0.0%	0.7%	0.4%	0.5%
	その他	5.2%	8.3%	7.5%	6.6%	72.7%	69.4%	6.2%	10.3%	8.2%
そ の 他	決まっていない	18.3%	17.1%	8.9%	5.9%	0.0%	0.0%	12.7%	12.8%	12.7%
	まだ考えていない	2.6%	1.2%	0.9%	0.9%	0.0%	0.0%	1.9%	0.9%	1.4%
	その他	0.6%	0.8%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	0.3%	0.5%
進学 計		40.2%	31.3%	39.6%	46.5%	0.0%	2.8%	45.5%	30.9%	38.4%
就職 計		38.2%	49.7%	50.0%	46.8%	100.0%	97.2%	39.0%	55.2%	46.9%
未決定 計		20.9%	18.3%	9.8%	6.8%	0.0%	0.0%	14.6%	13.7%	14.1%

表 6.2 卒業後の進路【学群・学類別】

	進 学				就 職					その他			進学計	就職計	未決定計
	筑波大学大学院	国内の他大学大学院	海外の大学院	その他	企業	教員	公務員	自営・起業	その他	決まっていない	まだ考えていない	その他			
人文学類	16.7%	7.2%	1.4%	0.7%	31.9%	7.2%	19.6%	0.0%	2.9%	10.1%	1.4%	0.7%	26.0%	61.6%	11.5%
比較文化学類	13.2%	3.3%	2.2%	0.0%	37.4%	9.9%	14.3%	2.2%	1.1%	14.3%	2.2%	0.0%	18.7%	64.9%	16.5%
日本語・日本文学類	15.9%	2.4%	0.0%	0.0%	42.7%	11.0%	13.4%	0.0%	4.9%	9.8%	0.0%	0.0%	18.3%	72.0%	9.8%
社会学類	7.5%	5.7%	1.9%	1.9%	39.6%	3.8%	20.8%	1.9%	1.9%	13.2%	1.9%	0.0%	17.0%	68.0%	15.1%
国際総合学類	4.8%	1.6%	6.3%	0.0%	44.4%	4.8%	11.1%	4.8%	0.0%	20.6%	1.6%	0.0%	12.7%	65.1%	22.2%
教育学類	37.5%	4.2%	0.0%	0.0%	12.5%	29.2%	8.3%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	41.7%	50.0%	8.3%
心理学類	33.3%	0.0%	1.7%	0.0%	26.7%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	1.7%	35.0%	46.7%	16.7%
障害科学類	20.7%	3.4%	0.0%	0.0%	15.5%	17.2%	20.7%	0.0%	3.4%	19.0%	0.0%	0.0%	24.1%	56.8%	19.0%
生物学類	56.3%	6.9%	4.9%	1.4%	10.4%	2.8%	2.8%	0.0%	0.0%	14.6%	0.0%	0.0%	69.5%	16.0%	14.6%
生物資源学類	41.6%	7.9%	6.9%	0.0%	13.9%	1.0%	11.9%	1.0%	1.0%	14.9%	0.0%	0.0%	56.4%	28.8%	14.9%
地球学類	53.4%	6.9%	5.2%	0.0%	12.1%	0.0%	8.6%	0.0%	0.0%	13.8%	0.0%	0.0%	65.5%	20.7%	13.8%
数学類	43.5%	4.3%	4.3%	0.0%	13.0%	26.1%	0.0%	0.0%	0.0%	8.7%	0.0%	0.0%	52.1%	39.1%	8.7%
物理学類	29.7%	27.0%	5.4%	0.0%	16.2%	0.0%	2.7%	0.0%	0.0%	13.5%	5.4%	0.0%	62.1%	18.9%	18.9%
化学類	58.7%	9.3%	1.3%	1.3%	6.7%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.7%	4.0%	0.0%	70.6%	10.7%	18.7%
応用理工学類	66.7%	7.8%	2.0%	0.0%	3.9%	3.9%	0.0%	2.0%	2.0%	9.8%	2.0%	0.0%	76.5%	11.8%	11.8%
工学システム学類	69.2%	12.0%	1.5%	0.8%	8.3%	0.0%	0.8%	0.0%	1.5%	3.8%	2.3%	0.0%	83.5%	10.6%	6.1%
社会工学類	40.0%	10.0%	3.0%	0.0%	18.0%	0.0%	15.0%	0.0%	0.0%	11.0%	2.0%	1.0%	53.0%	33.0%	13.0%
情報科学類	52.0%	8.2%	2.0%	1.0%	17.3%	0.0%	3.1%	0.0%	0.0%	13.3%	3.1%	0.0%	63.2%	20.4%	16.4%
情報メディア創成学類	37.3%	5.1%	0.0%	0.0%	33.9%	0.0%	3.4%	1.7%	0.0%	16.9%	1.7%	0.0%	42.4%	39.0%	18.6%
知識情報・図書館学類	9.4%	1.7%	1.7%	0.9%	35.9%	0.9%	31.6%	0.0%	0.9%	15.4%	0.9%	0.9%	13.7%	69.3%	16.3%
医学類	3.0%	1.8%	1.2%	0.6%	13.0%	0.6%	7.7%	1.2%	60.9%	5.3%	3.0%	1.8%	6.6%	83.4%	8.3%
看護学類	6.8%	1.1%	2.3%	3.4%	11.4%	4.5%	20.5%	0.0%	39.8%	9.1%	0.0%	1.1%	13.6%	76.2%	9.1%
医療科学類	36.7%	10.0%	1.7%	1.7%	6.7%	0.0%	6.7%	0.0%	25.0%	11.7%	0.0%	0.0%	50.1%	38.4%	11.7%
体育専門学群	20.3%	1.9%	0.8%	0.4%	28.6%	19.5%	6.0%	0.4%	4.1%	15.0%	1.9%	1.1%	23.4%	58.6%	16.9%
芸術専門学群	17.0%	9.1%	1.1%	1.1%	34.1%	8.0%	4.5%	0.0%	2.3%	21.6%	0.0%	1.1%	28.3%	48.9%	21.6%

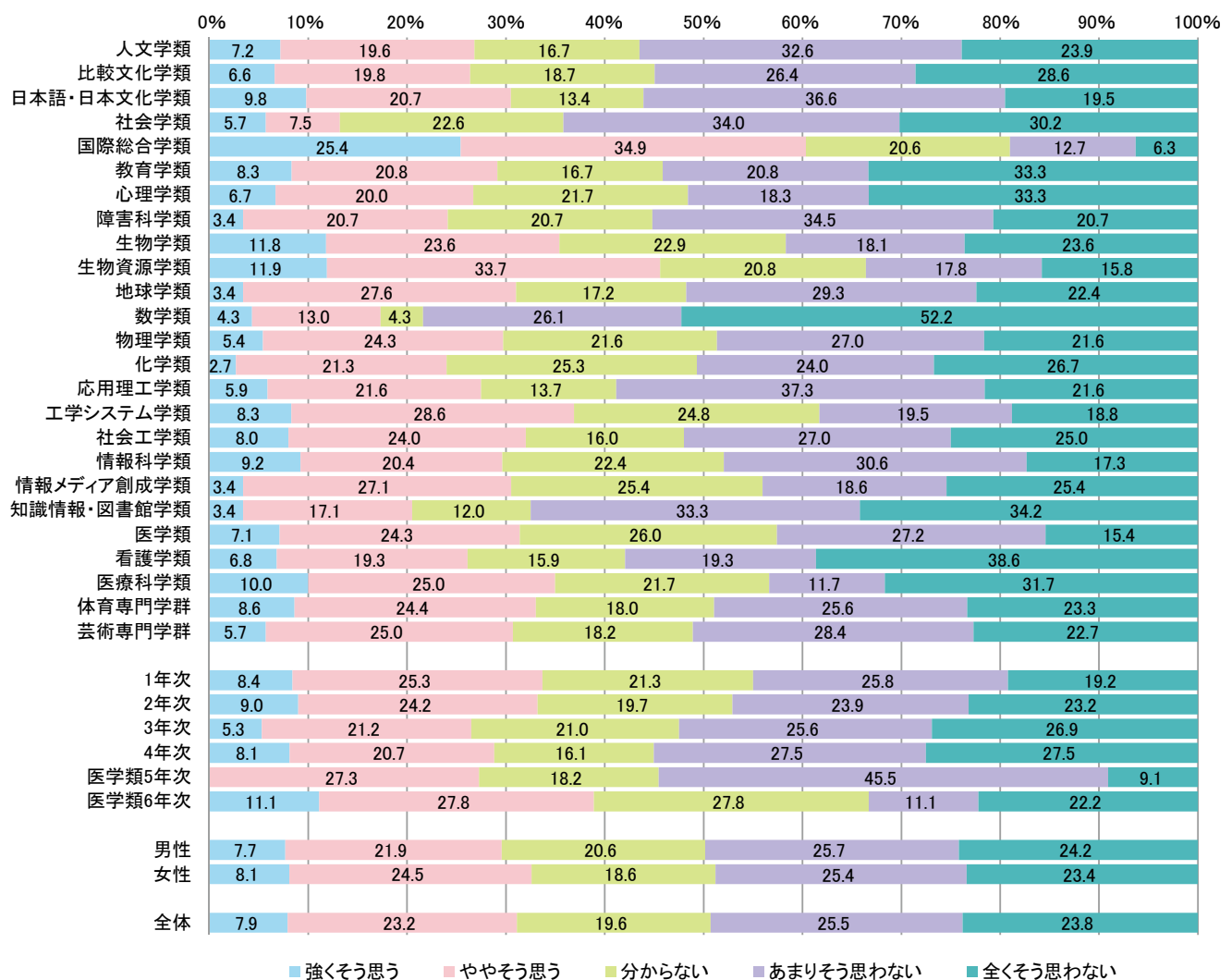
問 29. 卒業後の外国での就労希望について

- ◎約 3 割の学生が「外国での就労」を希望。
- ◎国際総合学類が突出して高く、約 6 割が海外就職を視野に入れている。
- ◎外国人留学生の約 6 割が日本での就労を希望。

卒業後の外国での就労希望について尋ねた。「強くそう思う」「ややそう思う」の合計は 31.1%と、前回調査と同様に約 3 割の学生が外国での就労を視野に入れていることがわかった。学群・学類別にみると、外国での就労志向は国際総合学類が突出して高く 60.3%、生物資源学類 45.6%、工学システム学類 36.9%と続く。男女別では差はほとんどないが、女性の方が海外就職希望が若干高くなっている。

また、今回初めて外国人留学生に卒業後の日本での就労希望の状況について調査したところ、「強くそう思う」「ややそう思う」の合計が 62.4%と非常に高い結果であった。現在、学群の外国人留学生の日本での就職は、卒業生の約 2 割であり、今後は就労を希望する外国人留学生の就職につながるような支援プログラムの充実を図る必要がある。

図 6.1 卒業後の外国での就労希望【学群・学類別、学年別、男女別、全体 (%)】



問 30. 進路決定の際の相談相手について

- ◎主な相談相手は「家族」78.4%、「友人・先輩」60.2%。
- ◎「教員」に相談する学生は2割程度。

進路決定の際の相談相手について、複数回答で尋ねた。最も多かったのは「家族」78.4%で、次いで「友人・先輩」60.2%であった。「教員」は19.9%、「事務職員」は1.7%で、合算しても2割程度にとどまっている。学年別にみると、概して学年を追うにつれて「家族」を相談相手とする割合は減少する一方で、「友人・先輩」を相談相手とする割合が増加する傾向にある。前回調査と比較すると、「教員」を相談相手とする割合が10.3ポイント増加している点特徴的である。

表 6.3 進路決定の際の相談相手【学年別、男女別、全体】

	1年次	2年次	3年次	4年次	医学類5年次	医学類6年次	男性	女性	全体
家族	83.3%	78.3%	75.8%	75.8%	81.8%	69.4%	73.2%	84.0%	78.4%
親戚・知人	12.5%	11.5%	8.7%	8.6%	0.0%	11.1%	12.1%	8.7%	10.5%
友人・先輩	56.8%	59.7%	65.1%	60.0%	45.5%	72.2%	57.7%	62.7%	60.2%
教員	20.0%	18.0%	19.2%	22.2%	9.1%	30.6%	20.8%	19.1%	19.9%
事務職員	0.8%	1.5%	1.6%	3.3%	0.0%	0.0%	1.9%	1.6%	1.7%
その他	5.0%	6.1%	7.5%	9.2%	9.1%	13.9%	7.6%	6.4%	7.0%

問 31. 進路を決めた（これから決める時に考慮する）理由について

- ◎進路選択では「やりがい」58.5%と「自分の能力や適性」55.9%、「安定した生活」52.6%を重視。
- ◎女性の41.6%が「ワーク・ライフ・バランス」を重視する。

進路決定の理由について、複数回答で尋ねた。最も多かったのは、「やりがい」58.5%、次いで「自分の能力や適性」55.9%、「安定した生活」52.6%であった。「大学で学んだことを活かせる」「専門知識を深める」は3割未満で、大学での学修と直接的に結びつけた進路選択の傾向は相対的に低い。

男女別では、「やりがい」を重視する傾向に変化はないが、「ワーク・ライフ・バランス」は女性が41.6%と、男性の29.7%を大きく上回っている。全体でも35.5%が重視しており、ダイバーシティ社会の浸透とともに「ワーク・ライフ・バランス」が進路選択の1つの指標となっている。

学年別では、1～3年次と4年次では傾向が異なり、4年次は「やりがい」や「自分の能力や適性」を重視する割合が相対的に低い一方で、「専門知識を深める」や「ワーク・ライフ・バランス」を重視する割合が高く、進路選択の理由が多様化する傾向がみられる。これは、進路選択に関して現実的な吟味のプロセスの中で、価値観が分化していき、自分は何を重視するか、ということがはっきりしてくることが影響しているのではないかと考えられる。

表 6.4 進路決定の理由【学年別、男女別、全体】

	1年次	2年次	3年次	4年次	医学類5年次	医学類6年次	男性	女性	全体
やりがい	62.8%	62.2%	56.2%	49.7%	90.9%	72.2%	54.3%	62.9%	58.5%
社会的貢献	32.8%	28.0%	26.5%	23.5%	63.6%	47.2%	26.8%	30.1%	28.4%
給与が多い	34.9%	39.5%	36.3%	26.1%	63.6%	33.3%	37.5%	31.0%	34.3%
安定した生活	55.8%	51.4%	56.4%	48.3%	63.6%	36.1%	47.2%	58.4%	52.6%
ワーク・ライフ・バランス	34.3%	32.0%	37.4%	38.9%	54.5%	33.3%	29.7%	41.6%	35.5%
自分の能力や適性	60.1%	54.2%	54.8%	53.2%	81.8%	58.3%	53.0%	58.9%	55.9%
専門知識を深める	29.9%	21.7%	27.9%	37.1%	54.5%	61.1%	32.3%	26.9%	29.7%
大学で学んだことを活かせる	33.9%	28.8%	26.7%	25.7%	54.5%	27.8%	27.7%	30.7%	29.2%
社会的評価	20.9%	16.4%	16.9%	18.2%	45.5%	16.7%	20.1%	16.5%	18.3%
将来性	34.1%	35.1%	36.5%	36.0%	54.5%	38.9%	34.4%	36.6%	35.5%
地理的利便性	10.7%	12.4%	19.2%	19.1%	27.3%	13.9%	13.9%	16.1%	15.0%
その他	3.4%	3.9%	4.3%	4.8%	0.0%	8.3%	5.5%	2.7%	4.1%

問 32. 将来の進路への感じ方について

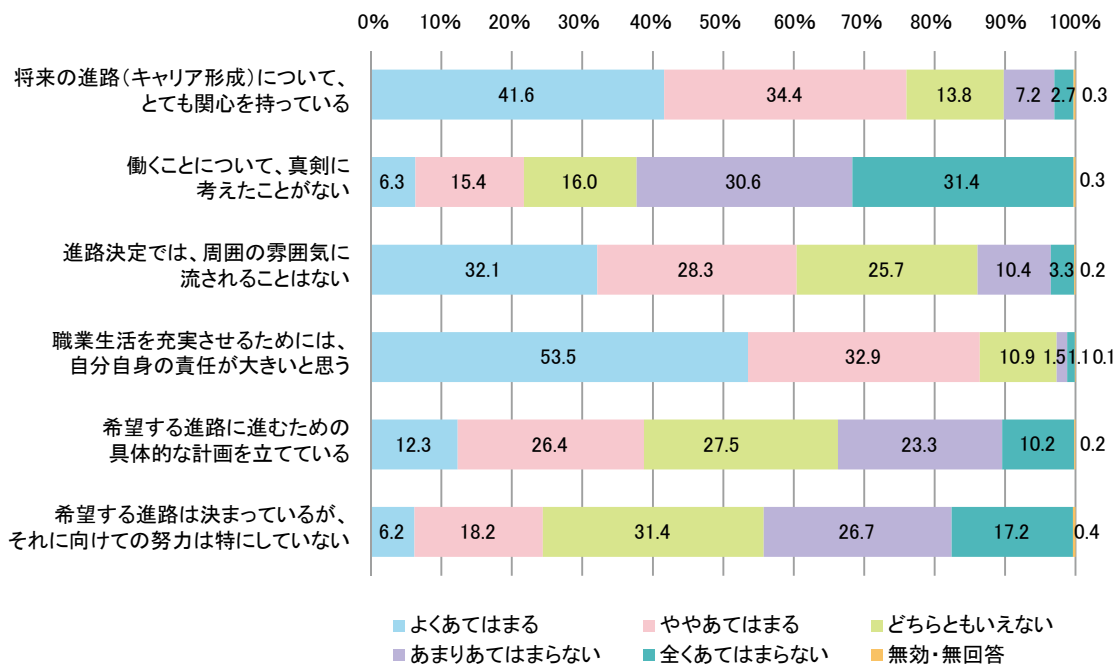
- ◎将来の進路について関心を持っている者は76.0%。
- ◎職業生活を充実させるためには自分自身の責任が大きいと感じている者は86.4%。
- ◎希望する進路に進むための具体的な計画を立てている者は38.7%。

将来に対する関心を尋ねたところ、進路への関心の程度については、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の合計が76.0%であった。一方、働くことについて真剣に考えた経験についての肯定的な回答では、設問が反転項目のため「あまりあてはまらない」「全くあてはまらない」の合計で62.0%と、将来への関心の高さと比較すると、働くことへの関心は若干低い。

進路決定や職業生活に対する自立の程度を尋ねたところ、進路決定場面における自立度については、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の合計は60.4%であった。職業生活全体における自立度においては、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の合計は86.4%で、当面の進路決定においては、周囲の雰囲気流されないものが半数以上を占め、職業生活の充実のためには自立が重要であると認識されていた。

進路を実現するための計画や実行の程度を尋ねたところ、計画の具体性については、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の合計が38.7%であった。将来への関心の強さと比較するとかなり低く、希望する進路の実現へ向けて行動を促すような支援が必要であると考えられる。

図 6.2 将来の進路についての感じ方【全体 (%)】



問 33. CARIO の活用について

- ◎教育学類、知識情報・図書館学類、障害科学類の活用率が相対的に高い。
- ◎比較文化学類はフレッシュマン・セミナーで CARIO を活用して継続的に活用している割合が高い。

CARIO の活用状況は、「現在、活用している」「時々、活用している」「フレッシュマンセミナーでのみ活用した」をあわせると全体で 49.8% で、そのうち、「現在、活用している」および「時々、活用している」と回答した継続的な CARIO 活用者は 5.3% であった。CARIO の活用状況は、学群・学類による差が大きく、継続的な CARIO 活用者は、比較文化学類 22.0% で、他の学群・学類と比べて高く、応用理工学類、情報科学類は 0% と低い。学年別では、1 年次の活用がもっとも高く、学年を追うごとに活用率が低下していく傾向にある。

フレッシュマン・セミナー FD において、CARIO の活用奨励を行ったことで、各学群・学類のフレッシュマン・セミナーにおける CARIO の活用は前回調査と比べて大幅に増えたが、継続的に CARIO を活用している割合は伸びていない。今後は、「面倒くさい」、「使い方がわからない」といった意見を踏まえ、継続的な活用につながるよう見直しを検討する必要がある。

表 6.5 CARIO の活用【学年別、男女別、全体】

	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	医学類 5 年次	医学類 6 年次	男性	女性	全体
現在、活用している	0.8%	0.5%	0.2%	0.0%	9.1%	0.0%	0.5%	0.4%	0.4%
時々、活用している	5.2%	5.3%	5.3%	3.9%	0.0%	5.6%	3.7%	6.2%	4.9%
フレッシュマンセミナーでのみ活用した	58.1%	46.4%	37.9%	33.9%	9.1%	30.6%	42.3%	46.8%	44.5%
活用していない	35.9%	47.8%	56.6%	62.2%	81.8%	63.9%	53.5%	46.7%	50.2%

問 34. 就職活動に役立った情報源について

- ◎就職活動の情報源として最も役立ったのは、「就職情報サイト」。
- ◎3年次では特に「インターンシップ」を重視。

就職活動に役立った情報源について、「就職活動を行った」「就職活動中」の学生に複数回答で尋ねた。最も高かったのは「就職情報サイト」40.5%で、次いで「学内の就職ガイダンス」38.4%、「インターンシップ」36.5%、「企業・自治体等のHP」34.4%で、就職課の取り組みが情報源として一定の評価を受けていることがわかる。

3・4年次および医学類6年次の回答をみると、調査時期から推測して、就職活動の準備段階にある3年次と、就職活動の渦中もしくは内々定を得てすでに実質的な就職活動を終えている4年次とでは傾向が異なり、3年次においては、職業世界の理解や仕事を選択する際に重視する要件を固めていく上で役立つ「インターンシップ」56.7%や「学内の就職ガイダンス」50.0%を役立った情報源としてあげている割合が高い。一方、4年次においては、企業や自治体等へ応募する手段となっている「就職情報サイト」47.8%や、最終的な応募企業の選定において重要な情報入手の手段となる「企業・自治体等のHP」43.0%が相対的に高くなっている。

前回調査と比較すると、3年次における「インターンシップ」を役立った情報源とする学生が増えており、学生、企業ともに就職活動の一環としてインターンシップを重視しているものと推測される。

表 6.6 就職活動に役に立った情報取得源【学年別（3-4年次および医学類6年次）、全体】

	3年次	4年次	医学類6年次	全体
キャリアサポート部門/就職課	21.7%	32.4%	0.0%	27.3%
キャリアサポート部門/就職課HP	25.0%	22.1%	0.0%	22.3%
学内の就職ガイダンス	50.0%	37.5%	7.7%	38.4%
学群・学類の就職委員	7.5%	6.6%	15.4%	9.6%
就職情報誌	3.3%	9.2%	0.0%	9.2%
就職情報サイト	37.5%	47.8%	23.1%	40.5%
学外の就職イベント	23.3%	40.4%	23.1%	29.8%
企業・自治体等のHP	32.5%	43.0%	23.1%	34.4%
インターンシップ	56.7%	33.8%	23.1%	36.5%
OB・OG訪問	7.5%	12.9%	15.4%	12.1%
その他	0.8%	6.3%	7.7%	5.4%

問 35. 就職活動の学修への影響について

- ◎約 4 割は「学修への支障あり」と回答。
- ◎4 年次における支障の割合が大きく減少。

今回の調査は、前回調査時から、さらに学修への影響を緩和するために倫理憲章の見直しが行われ、企業の広報活動開始時期が3ヵ月、選考開始時期が2ヵ月後ろ倒しとなった中での調査となった。

就職活動の学修への影響について、「就職活動を行った」と「就職活動中」の学生に複数回答で尋ねた。学修への支障が出たとする割合は、「支障が多少でている」と「支障がとてでもでている」をあわせて40.9%と前回調査時よりも23.7ポイント減少した。

また、3・4年次および医学類6年次の回答をみると、学修に支障が出たとする割合は、3年次が37.4%で前回調査から3.5ポイント減少、4年次は49.8%で前回調査から22.5ポイント減少という結果となり、4年次は、学修に支障が出ている割合が大きく減少したが、3年次は、割合は減少しているものの大きな減少ではない。

このことは、今回調査時においては、制度変更後2年目ということもあり、スケジュールが浸透したことや、3年次では就職活動としてインターンシップのウエイトが増していることなどが影響しているものと推測される。

表 6.7 就職活動の学修への影響【学年別（3-4年次および医学類6年次）、全体】

	3年次	4年次	医学類6年次	全体
支障は全くでていない	24.2%	22.1%	56.3%	29.2%
支障はほとんどでていない	38.5%	28.1%	25.0%	29.9%
支障が多少はでている	30.8%	39.4%	12.5%	32.1%
支障がとてでもでている	6.6%	10.4%	6.3%	8.8%

第7章 本学への期待や要望等について

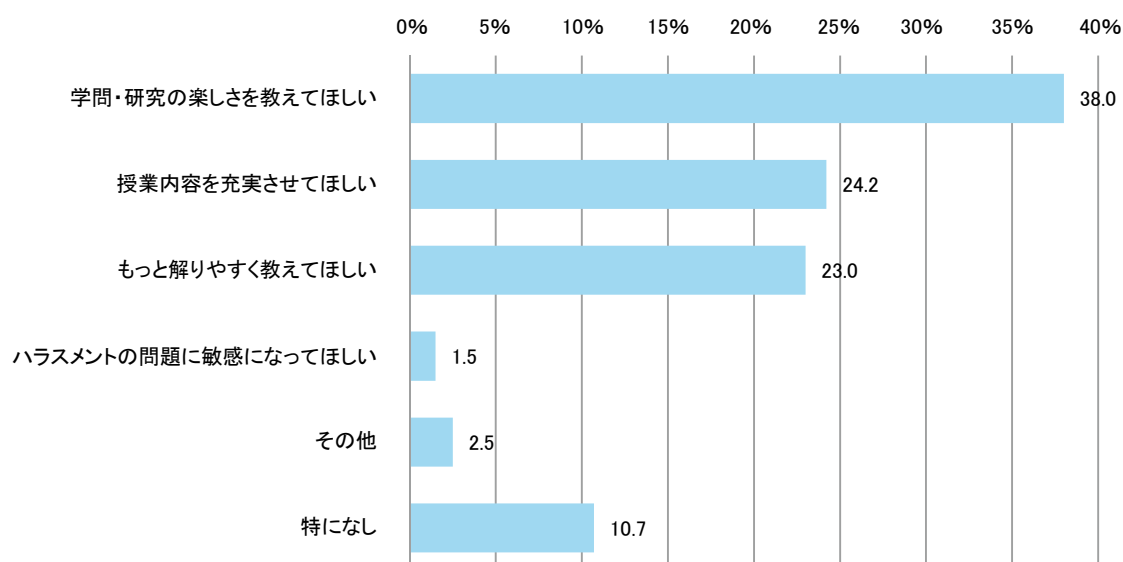
問 36. 教員に最も期待することについて

- ◎ 「学問・研究の楽しさを教えてほしい」という要望は、前回調査と同様に4割程度。
- ◎ 「授業内容の充実」「解りやすく教えてほしい」という要望はそれぞれ25%程度。

教員に最も期待することについて、前回調査と同じ内容で尋ねた。「学問・研究の楽しさを教えてほしい」38.0%、「授業内容を充実させてほしい」24.2%、「もっと解りやすく教えてほしい」が23.0%で、前回調査とほぼ同じ割合で上位を占めている。これらの授業内容にかかわるものについては、各教員が担当する授業内容の改善を考えていく必要があるだろう。

「その他」では、manabaの活用を求める記述とともに、学生とのコミュニケーションを取ることを求める記述も複数認められた。

図 7.1 教員に期待すること【全体 (%)】

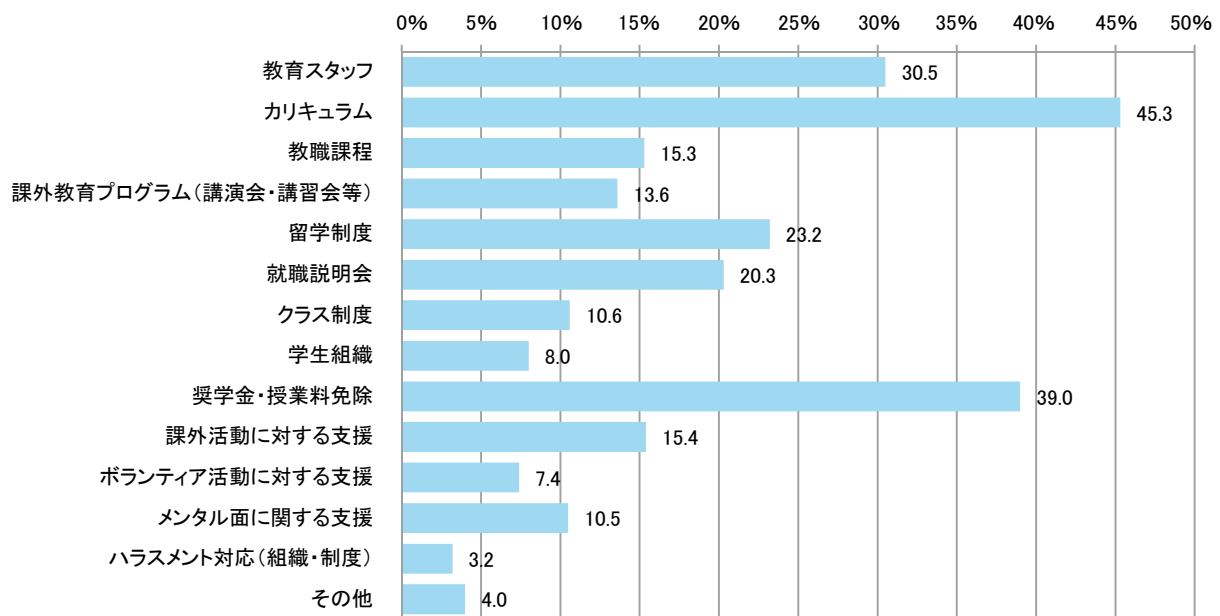


問 37. 教育面や制度面で充実してほしい点について

- ◎上位の選択肢は「カリキュラム」、「奨学金・授業料免除」、「教育スタッフ」。
- ◎「奨学金・授業料免除」の充実を求める意見が増加。

教育面や制度面で充実してほしい点について、前回調査と同じ形式で尋ねた。前回は3つまで選択であったのに対して、今回は制限を設けずに選択可能としたため、全体的に各項目を選択した割合が若干高くなっている。上位の選択肢は前回調査と変化はないが、「奨学金・授業料免除」が30.0%から39.0%、「教育スタッフ」は21.1%から30.5%と充実を求める声は大きく増えている。その他では、特に文系の教員数の増員、語学の授業の充実、支援室の対応の改善を求める意見が複数あった。

図 7.2 教育面や制度面で充実してほしい点【全体 (%)】



問 38. manaba の使いやすさについて

問 39. 授業での manaba の利用状況について

問 40. 今後の授業での manaba の利用について

◎ manaba の使いやすさと現在の利用状況については、おおむね満足しているという意見が大多数。

◎今後の授業での manaba の利用についても積極的に利用してほしいという意見が多い。

平成 26 年度から導入された manaba について尋ねた。使いやすさについては、「満足」18.1%と「まあ満足」49.4%で半数以上を占め、「普通」24.2%を含めると大多数の学生が manaba の使いやすさにほぼ満足しているものと考えられる。しかし、自由記述欄には、「TWINS や KdB との連携」「通知機能の充実」や「スマートホンでの使いやすさ」などを求める意見が多数寄せられており、更なる使いやすさの向上も必要である。

manaba の現在の利用状況、今後の授業での利用についても、それぞれ「まあ満足」「普通」と「現状程度でいい」「積極的に活用してほしい」の意見が多数を占めており、学生側からは今後さらに活用することが期待されている。自由記述欄においても「教員にもっと manaba を活用してほしい」という意見が多数あげられていた。

図 7.3 manaba の使いやすさ【全体 (%)】

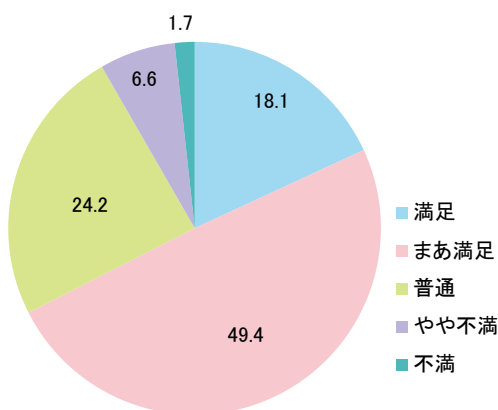


図 7.4 manaba の利用状況について【全体 (%)】

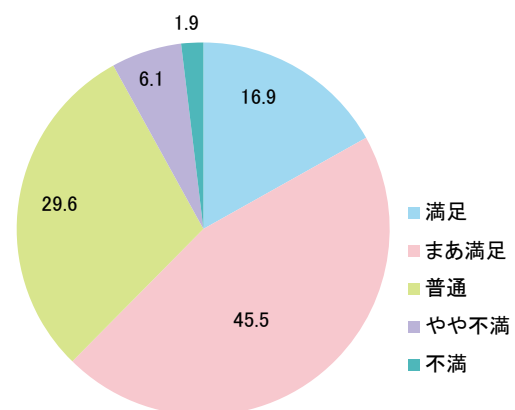
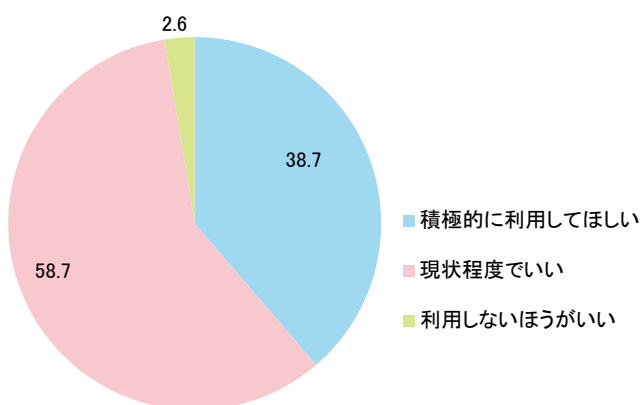


図 7.5 今後の授業での manaba の利用について【全体 (%)】



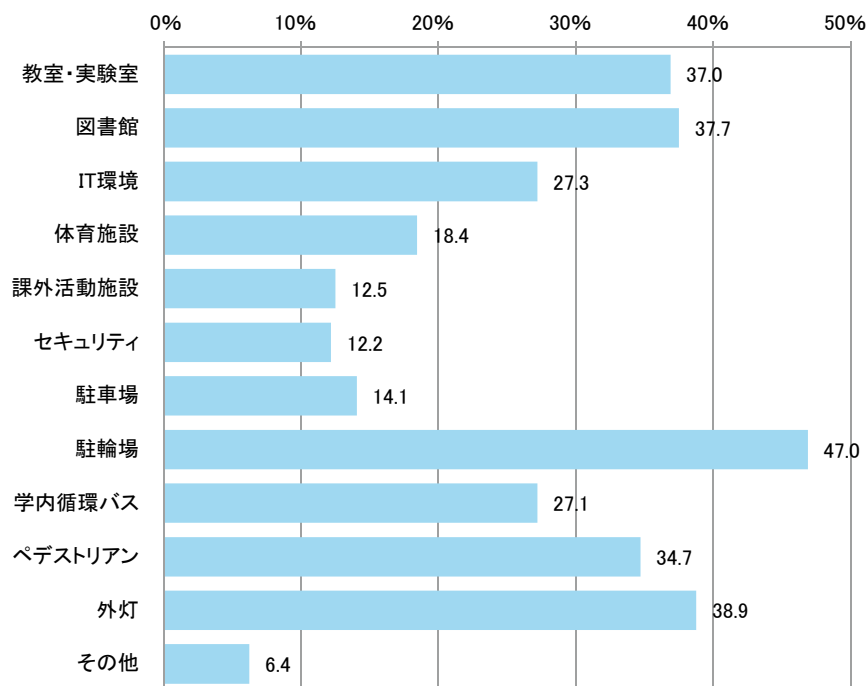
問 41. 整備・充実してほしい施設等について

◎選択の上位は「駐輪場」、「外灯」、「図書館」、「教室・実験室」。

整備・充実してほしい施設等について、前回調査と同じ形式で、選択数を制限せずに尋ねた。選択の上位は「駐輪場」「外灯」「図書館」「教室・実験室」であった。前回調査でも同様の結果であることから、それぞれ改善の必要があると考えられる。特に、「駐輪場」の充実を求める声は約半数に上り、早急に対処する必要がある。

その他の項目では、「空調関係」「食堂」「トイレ」を指摘する意見が多数あり、これらについても改善が必要であろう。

図 7.6 整備・充実してほしい施設等【全体 (%)】



問 42. 学内の福利厚生施設の満足度について

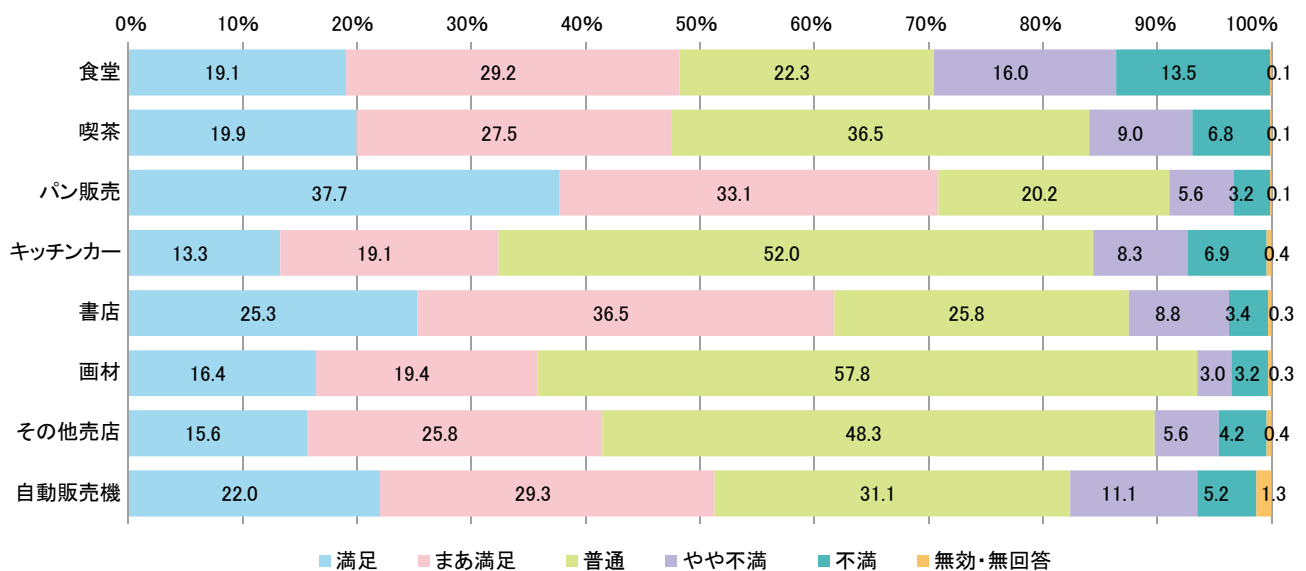
- ◎食堂以外については不満を感じている学生は2割以下。
- ◎食堂については約3割が不満を感じている。

学内の福利厚生施設の満足度について、新たに導入された「キッチンカー」も含めて、前回調査と同じ形で尋ねた。「食堂」を除けば、「不満」と「やや不満」を選択した学生の割合は2割未満であり、多数の学生がおおむね満足している、あるいは現状程度で良いと思っている。

食堂については、「不満」と「やや不満」で約3割、「満足」と「まあ満足」で約5割で、満足している学生の割合の方が高いものの、今後改善していく必要はあるだろう。

自由記述では、「食堂」に関して、「混雑している」「値段が高い」という不満とともに、「質の改善」や「エリアごとの食堂の格差（特に医学、第一、春日）」を指摘する声が多数あった。なお、春日エリアについては、「食堂」以外に「喫茶」「パン販売」の設置を求める意見も多数あり、同エリアの飲食環境の改善が必要である。新しく導入した「キッチンカー」については、「値段が高い」という意見が多数寄せられた。

図 7.7 福利厚生施設の満足度【全体 (%)】

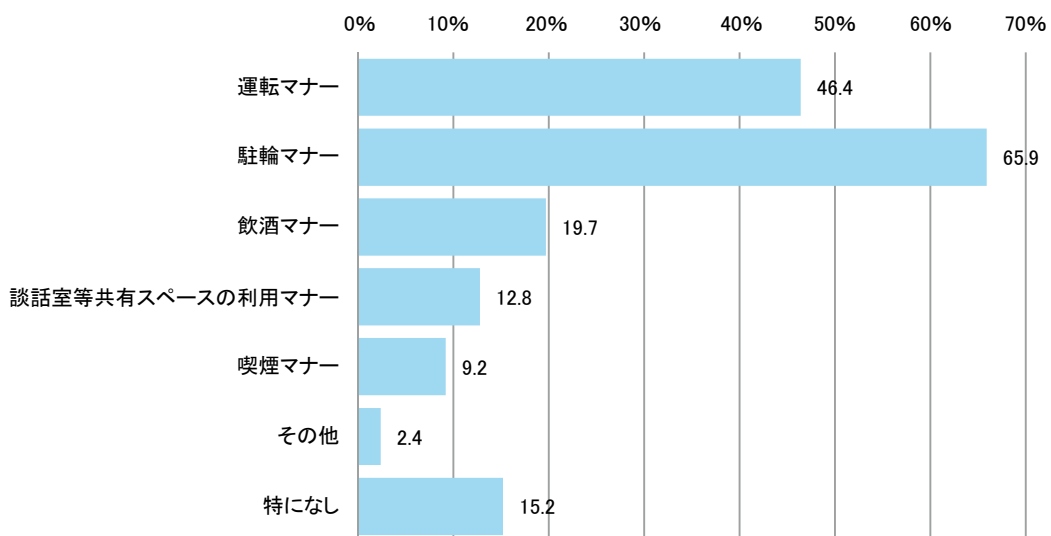


問 43. 向上を望むキャンスマナーについて

◎選択の上位は「駐輪マナー」と「運転マナー」。

向上を望むキャンスマナーについて、前回調査と同じ形式で、選択数を制限せずに尋ねた。選択の上位は「駐輪マナー」と「運転マナー」で、前回調査と変化はなかった。特に「運転マナー」は選択率が35.6%から46.4%と顕著に増加しており、今後の対策が必要である。「その他」の項目では、「授業中のおしゃべり」などの受講マナーや「自転車の運転マナー」を指摘する意見が複数あげられており、今後はこれらの改善に向けた方策も必要であろう。

図 7.8 向上を望むキャンスマナー【全体 (%)】



問 44. 筑波大学への要望や提言等について

筑波大学への要望や提言等について、A. 制度等に関する要望、B. 教職員に対する要望、C. 施設に対する要望、D. その他の4つの大項目に分けて尋ねた。自由記述には539名から意見があり、以下はそれぞれの項目にあげられた意見等の概要である。

A. 制度等に関する要望

A1. カリキュラム (117件)

カリキュラムの制度面では、モジュール制（Cモジュールの授業が少なくABモジュールが過密になっている）、履修上限単位（成績優秀者のみ45単位以上習得できる制度の改定）についての要望が多数出された。また、教職科目（学類開設授業との時間帯の重複解消や標準履修年次の撤廃により受けやすくする）についての要望も複数出された。なお、学類内及び他学類の授業との授業時間の重複を指摘する声もあった。外国人留学生からはG30科目の拡充と体系化（基礎的な科目を増やす）を求める意見があった。

A2. 学生生活支援 (32件)

各エリア支援室について、開室時間帯の変更（6限終了後や昼休みの時間帯の開室）や職員の態度に関する意見が複数あった。また、Web掲示板やmanabaに対する要望（もっと見やすく、授業登録を削除しやすく）もあった。卒業単位数の確認ももっと早期にできるようにしてほしいという要望もあった。

A3. 経済支援 (57件)

奨学金（民間団体を含む）や授業料免除について、申し込み方法や期限などの情報を求める声が多くあった。また、親の年収による制限について、家庭の状況や家族構成なども考慮してほしいという意見も多数あった。さらに、給付型奨学金や成績優秀者に対する奨学金を求める声も複数あった。

A4. キャリア・就職支援 (20件)

全般に就職支援の拡充（より効果的な就職支援セミナーや公務員試験対策、1・2年次向けのキャリア支援や説明会の開催など）を求める声が多くを占めた。外国人留学生からは留学生向けの就職支援を求める声があった。

A5. その他 (159件)

Web掲示板（TIPS）に関連する要望が約100件を占めており、その大部分が、使いにくい、必要な情報にたどり着けない、検索・通知機能の設定を求めるものであった。中には、紙の掲示板の復活を求める声もあった。学群・学類単位での情報の整理などが必要であろう。他にはTWINS上での卒業要件単位の確認機能を求める声や、自転車の登録制度（登録料の用途）、トレーニング場や駐車場の利用、全大会のあり方、入試改革や転学群・転学類についての意見があった。

B. 教職員に対する要望

B1. 教員に対して (74件)

教員の増員を求める意見が15件と多数寄せられ、特に文系教員（人文学類、日本語・日本文化学類など）に関するものが10件あった。中には、教員数の減少により授業や卒論テーマの選択肢が少なくなっていることを嘆く意見もあった。また、授業運営（manabaの活用、出席を取るかとらないか）や質（もっと解りやすく）、評価基準の明確化に関する意見が複数あった。

B2. 事務職員に対して (58件)

学生に対する対応の悪さを指摘する意見が34件と過半数を占めた。基本的には相談しやすい雰囲気作りと親身な対応を求めている。その他には、支援室の開室時間に関するもの、日程に関する連絡や成績開

示の早期化を求めるものがあった。

B3. その他（7件）

ここでも教員数の増加を求める意見が複数あった。

C. 施設に対する要望

C1. 学修・研究環境（44件）

空調に関するものが13件と多く、また、特に第1エリアの建物の老朽化を指摘する意見が多数あった。他には、ラウンジやサテライト室の使用方法の問題などの指摘があった。

C2. IT（45件）

Wi-Fiに関する指摘が28件と過半数を占めた。その大部分は、繋がらないところをなくしてほしい、速度を早くしてほしい、という要望であった。また、manabaとTWINSの統合や各掲示板の統合を求める意見もあった。

C3. 図書館（57件）

蔵書に関するもの（新しい書籍や一般文芸書・小説の設置）を求める意見が19件、開館時間の延長を求める意見が12件あった。他には、学習スペースの拡充を求める意見があった。

C4. 宿舎（58件）

個室が狭いという指摘が4件、古くて汚いので改修を求めるものが8件（特に一の矢宿舎）、利用費を安くしてほしい6件、などの意見であった。また、利用者のマナーが悪いことを指摘する意見も多くあった。

C5. 食堂・売店（46件）

食堂に関して、値段が高い、美味しくないという意見が多数を占めた。また、エリアごとに施設の設置状況などの差が大きいことも指摘されていた。

C6. 駐輪場（88件）

駐輪スペースが足りない、狭いという指摘が53件と過半数を占めた。また、講義棟の近くへの設置や屋根の設置を求める意見があった。中には、既存駐輪場で1台分のスペースを表示したり、ラックを設置するなどして駐輪しやすくする、駐輪場の場所がわかるような表示をするなどの対応を求める意見もあった。

C7. ペデ・道路等（157件）

大学全体にわたって、ペデやループ道路の凹凸や段差があり危険という指摘が57件と多数あった。他にも、ペデが狭くて危険、タイルやレンガの所は雨天時に滑るなどの指摘があった。また、歩行者と自転車のレーンを分けるといった提案もあった。他には、外灯の設置を求める意見も複数あった。

C8. その他（62件）

体育館など運動施設に対する要望（利用しやすく）、文科系サークル館の改修、駐車場に対する要望（一般向け駐車場の設置など）、トイレに対する要望などがあった。

D. その他（60件）

サテライト室の印刷枚数の上限、情報伝達手段、学生組織、自転車運転マナーなど、様々な要望が出された。また、この調査に関しても項目が多すぎるなどの指摘があった。

【資料】

平成 29 年度筑波大学 学生生活実態調査（学群）データ集計表＜全体＞

I. 生活全般について

1. 1ヶ月の平均収入・支出

A 収入		平均金額
1	仕送り	44,624 円
2	奨学金	18,984 円
3	アルバイト	21,736 円
4	預貯金から	9,382 円
5	借金により	498 円
6	その他	1,546 円

B 支出		平均金額
1	食費	24,654 円
2	住居費（家賃・共益費・光熱費等）	29,491 円
3	就学費（授業料を除く図書・文房具・パソコン等）	4,422 円
4	交通費（定期代・ガソリン代・駐車場代等）	4,903 円
5	通信費（電話料・インターネット等）	2,860 円
6	その他（交際費・教養娯楽費・被服費・医療費等）	13,330 円
7	預貯金・借金返済	9,569 円

2. アルバイトの有無（2017年4月以降）

	回答数	回答率
1 定期的なアルバイトをした	1,056	47.2%
2 臨時的なアルバイトをした	318	14.2%
3 定期的・臨時的両方のアルバイトをした	329	14.7%
4 全くしなかった	533	23.8%
合計	2,236	

2-1. アルバイトの種類（複数選択）

	回答数	回答率
1 家庭教師	89	5.2%
2 塾講師・添削指導	356	20.9%
3 一般事務	161	9.5%
4 特殊技能（翻訳・通訳・スポーツコーチ等）	126	7.4%
5 飲食店での業務	746	43.8%
6 飲食店以外の軽労働（調査・配達・販売等）	314	18.4%
7 重労働（引っ越し・建築関係等）	61	3.6%
8 その他	357	21.0%
無効・無回答	18	1.1%
合計	2,228	

2-2. アルバイトを行う理由（複数選択）

	回答数	回答率
1 学費や生活費のため	1,182	69.4%
2 サークル活動費のため	447	26.2%
3 レジャー・海外旅行のため	616	36.2%
4 技術を得るため	277	16.3%
5 友人を得るため	91	5.3%
6 その他	204	12.0%
無効・無回答	46	2.7%
合計	2,863	

2-3. アルバイトの学修への影響

	回答数	回答率
1 かなり妨げになっている	75	4.4%
2 多少妨げになっている	570	33.4%
3 妨げになっていない	970	56.8%
無効・無回答	93	5.4%
合計	1,708	

3. 大学に希望する経済支援（複数選択）

	回答数	回答率
1 給付型（返還義務なし）奨学金	1,294	57.9%
2 貸与型（返還義務あり）奨学金	234	10.5%
3 授業料免除	1,092	48.8%
4 一時貸付金	41	1.8%
5 その他	37	1.7%
6 特に希望しない	554	24.8%
合計	3,252	

3-1. 一時貸付金を希望する理由（複数選択）

	回答数	回答率
1 授業料のため	21	51.2%
2 生活費のため	32	78.0%
3 その他	4	9.8%
無効・無回答	1	2.4%
合計	58	

4. 現在の住まい

	回答数	回答率
1 学生宿舎	426	19.1%
2 民間のアパート・マンションなど	1,400	62.6%
3 親と同居	370	16.5%
4 親戚・知人宅	15	0.7%
5 その他	25	1.1%
合計	2,236	

4-1. 学生宿舎への入居

	回答数	回答率
1 希望する	139	7.6%
2 希望しない	1,547	84.2%
無効・無回答	151	8.2%
合計	1,837	

4-2. 現在の居住地

	回答数	回答率
A1 つくば市 天久保	540	29.6%
A2 つくば市 春日	628	34.5%
A3 つくば市 桜	136	7.5%
A4 つくば市 柴崎	10	0.5%
A5 つくば市 吾妻	9	0.5%
A6 (つくば市内) その他	98	5.4%
B1 茨城県南地域	94	5.2%
B2 茨城県西地域	20	1.1%
B3 (つくば市以外で茨城県内) その他	10	0.5%
C1 東京都	48	2.6%
C2 千葉県	77	4.2%
C3 埼玉県	49	2.7%
C4 (茨城県外で関東地方) その他	4	0.2%
D1 (その他の地域) その他	6	0.3%
無効・無回答	93	5.1%
合計	1,822	

4-3. ①学生宿舎の地区

	回答数	回答率
1 一の矢地区	124	28.8%
2 平砂地区	184	42.8%
3 追越地区	66	15.3%
4 春日地区	31	7.2%
無効・無回答	25	5.8%
合計	430	

4-3. ②居室のタイプ

	回答数	回答率
1 単身宿舎	349	81.0%
2 世帯宿舎	3	0.7%
3 二人室	9	2.1%
4 シェアハウス	50	11.6%
無効・無回答	20	4.6%
合計	431	

4-4. 学生宿舎満足度

	かなり満足		おおむね満足		どちらともいえない		少し不満		かなり不満		無効・無回答	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1 料金	255	59.0%	112	25.9%	22	5.1%	22	5.1%	8	1.9%	13	3.0%
2 居室	63	14.6%	160	37.0%	71	16.4%	81	18.8%	41	9.5%	16	3.7%
3 補食室	37	8.6%	77	17.8%	103	23.8%	108	25.0%	89	20.6%	18	4.2%
4 トイレ	65	15.0%	128	29.6%	76	17.6%	94	21.8%	52	12.0%	17	3.9%
5 洗濯室(ランドリー)	59	13.7%	131	30.3%	82	19.0%	101	23.4%	43	10.0%	16	3.7%
6 浴場	43	10.0%	79	18.3%	141	32.6%	60	13.9%	79	18.3%	30	6.9%
7 コインシャワー	33	7.6%	96	22.2%	91	21.1%	113	26.2%	71	16.4%	28	6.5%
8 外灯	76	17.6%	98	22.7%	112	25.9%	77	17.8%	49	11.3%	20	4.6%
9 出入口の施錠	96	22.2%	109	25.2%	76	17.6%	86	19.9%	45	10.4%	20	4.6%
10 売店・食堂	39	9.0%	82	19.0%	139	32.2%	81	18.8%	62	14.4%	29	6.7%
11 管理事務所の対応	104	24.1%	138	31.9%	133	30.8%	20	4.6%	15	3.5%	22	5.1%
12 総体的に	32	7.4%	189	43.8%	98	22.7%	66	15.3%	29	6.7%	18	4.2%

4-5. A 学生宿舎内の近隣入居者との関係

	回答数	回答率
1 よく会話をする	47	10.9%
2 時々会話する	107	24.9%
3 あいさつを交わす程度	142	33.0%
4 ほとんど会話しない	120	27.9%
無効・無回答	14	3.3%
合計	430	

4-5. B 外国人留学生居住者との交流

	回答数	回答率
1 よくある	29	6.8%
2 ときどきある	69	16.1%
3 あまりない	74	17.3%
4 まったくない	239	55.8%
無効・無回答	17	4.0%
合計	428	

4-5. C 今年度の宿舎祭の参加状況

	回答数	回答率
1 企画(イベントや模擬店、実行委員など)で参加した	216	50.2%
2 来場者として参加した	70	16.3%
3 参加しなかった	132	30.7%
無効・無回答	12	2.8%
合計	430	

5. 平均的な1日または1週間の過ごし方

	平均時間
1 大学の授業・実習・研究等の時間	5.6 時間/日
2 授業等以外の学習時間	1.9 時間/日
3 睡眠時間	6.5 時間/日
1 大学の授業・実習・研究等の時間	30.0 時間/週
2 授業等以外の学習時間	11.3 時間/週
3 サークル・ボランティアなどの活動時間	7.1 時間/週
4 アルバイト時間	7.1 時間/週

6. 日常生活満足度

	回答数	回答率
1 かなり満足	248	11.1%
2 おおむね満足	1,274	57.0%
3 どちらともいえない	403	18.0%
4 少し不満	232	10.4%
5 かなり不満	79	3.5%
合計	2,236	

Ⅱ. 通学・事故等について

7. 通学手段（複数選択）

		雨天時		雨天以外	
		回答数	回答率	回答数	回答率
1	徒歩	1,120	50.1%	608	27.2%
2	自転車	1,511	67.6%	1,937	86.6%
3	バイク（原付を含む）	80	3.6%	100	4.5%
4	自家用車	186	8.3%	143	6.4%
5	キャンパス交通システム（学内循環バス）	532	23.8%	274	12.3%
6	学内循環バス以外の路線バス	79	3.5%	51	2.3%
7	つくばエクスプレス（TX）	221	9.9%	219	9.8%
8	JR 常磐線	44	2.0%	45	2.0%
9	その他	68	3.0%	52	2.3%
合計		3,841		3,429	

8. 片道の通学時間（雨天以外）

		回答数	回答率
1	15分未満	1,610	72.0%
2	15分～30分未満	283	12.7%
3	30分～45分未満	45	2.0%
4	45分～1時間未満	65	2.9%
5	1時間～1時間半未満	96	4.3%
6	1時間半～2時間未満	104	4.7%
7	2時間以上	33	1.5%
合計		2,236	

9. キャンパス交通システム（学内循環バス）の利用頻度

		回答数	回答率
1	ほぼ毎日	165	7.4%
2	週に2～3回	273	12.2%
3	月に2～3回	688	30.8%
4	年に数回	549	24.6%
5	いままでに数回	403	18.0%
6	利用したことはない	158	7.1%
合計		2,236	

10. 自転車事故経験の有無（過去1年間、新入生は入学後）（複数選択）

		回答数	回答率
1	事故の経験はない	1,994	89.2%
2	加害者になったことがある	19	0.8%
3	被害者になったことがある	106	4.7%
4	自損事故の経験がある	165	7.4%
合計		2,284	

11. 交通事故（自転車事故を除く）経験の有無（過去1年間、新入生は入学後）（複数選択）

		回答数	回答率
1	事故の経験はない	2,125	95.0%
2	加害者になったことがある	21	0.9%
3	被害者になったことがある	57	2.5%
4	自損事故の経験がある	53	2.4%
合計		2,256	

12. 盗難被害の有無（大学入学後）（複数選択）

		回答数	回答率
1	被害にあったことはない	1,915	85.6%
2	学内で被害にあった	211	9.4%
3	学外で被害にあった	146	6.5%
合計		2,272	

13. 引ったくり・暴行・傷害・たかり・恐喝等被害の有無（複数選択）

		回答数	回答率
1	被害にあったことはない	2,209	98.8%
2	学内で被害にあった	13	0.6%
3	つくば市内で被害にあった	16	0.7%
4	上記以外の場所で被害にあった	13	0.6%
合計		2,251	

Ⅲ. 健康状態について

14. 健康状態（過去1年間）（複数選択）

	回答数	回答率
1 健康である	1,324	59.2%
2 健康不良で数日寝込んだ（受診・入院を除く）	727	32.5%
3 身体の病気で受診・入院した	335	15.0%
4 精神的な問題で受診・入院した	80	3.6%
5 心理的な問題で相談機関を利用した	112	5.0%
6 けがで受診・入院した	175	7.8%
7 その他	14	0.6%
合計	2,767	

15. 悩みの原因（過去1年間）（複数選択）

	回答数	回答率
1 学業や研究の不振	817	36.5%
2 単位修得の問題	577	25.8%
3 転学類・転学群	67	3.0%
4 休学・退学	92	4.1%
5 進路	962	43.0%
6 就職	618	27.6%
7 友人との関係	530	23.7%
8 教員との関係	98	4.4%
9 研究室内の問題	65	2.9%
10 部活動・サークル内の問題	734	32.8%
11 恋愛関係	452	20.2%
12 家族関係	283	12.7%
13 自分の性格	730	32.6%
14 自分の精神的・心理的状态	758	33.9%
15 自分の身体的病気・けが等の状態	266	11.9%
16 経済状態	503	22.5%
17 ハラスメント	22	1.0%
18 その他	46	2.1%
19 特になし	328	14.7%
合計	7,948	

16. 感じ方（過去1年間）

	とてもあてはまる		少しあてはまる		あまりあてはまらない		全くあてはまらない		無効・無回答	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1 自分のやりたいことができている	745	33.3%	1,087	48.6%	343	15.3%	60	2.7%	1	0.0%
2 何となく不安になることがある	806	36.0%	912	40.8%	327	14.6%	188	8.4%	3	0.1%
3 自分のことをよくわかってきている人がある	840	37.6%	836	37.4%	441	19.7%	116	5.2%	3	0.1%
4 何をやってもうまくいかない気がする	242	10.8%	600	26.8%	888	39.7%	502	22.5%	4	0.2%
5 気分が憂鬱である	279	12.5%	667	29.8%	735	32.9%	552	24.7%	3	0.1%
6 「死にたい」と思ったことがある	170	7.6%	323	14.4%	405	18.1%	1,329	59.4%	9	0.4%
7 大学生活が充実している	671	30.0%	1,123	50.2%	346	15.5%	83	3.7%	13	0.6%

Ⅳ. 相談相手・情報の得方について

17-1. 相談相手

		1 番目		2 番目		3 番目	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	家族	896	40.1%	455	20.3%	364	16.3%
2	恋人	260	11.6%	217	9.7%	135	6.0%
3	友人（学内）	564	25.2%	742	33.2%	451	20.2%
4	友人（学外）	301	13.5%	396	17.7%	416	18.6%
5	先輩・後輩（学内）	49	2.2%	161	7.2%	269	12.0%
6	先輩・後輩（学外）	9	0.4%	36	1.6%	58	2.6%
7	教員	3	0.1%	24	1.1%	84	3.8%
8	その他	23	1.0%	22	1.0%	38	1.7%
9	特にいない	129	5.8%	161	7.2%	391	17.5%
無効・無回答		2	0.1%	22	1.0%	30	1.3%
合計		2,236		2,236		2,236	

17-2. 相談相手と話す機会

		頻繁にある		少しある		あまりない		ほとんどない		無効・無回答	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	1 番目の人とは	1,431	67.3%	454	21.4%	153	7.2%	40	1.9%	48	2.3%
2	2 番目の人とは	1,081	51.7%	650	31.1%	233	11.2%	54	2.6%	71	3.4%
3	3 番目の人とは	650	33.0%	651	33.1%	363	18.4%	117	5.9%	187	9.5%

18. 情報取得源（複数選択）

		回答数	回答率
1	担任・指導教員	384	17.2%
2	支援室の事務職員	479	21.4%
3	友人等	1,525	68.2%
4	Web 掲示板	1,097	49.1%
5	TWINS 掲示板	1,186	53.0%
6	大学の HP	839	37.5%
7	学群・学類等の HP	536	24.0%
8	学群・学類やクラスのメーリングリスト	332	14.8%
9	SNS (social networking service)	914	40.9%
10	その他	51	2.3%
合計		7,343	

19. 相談機関

		利用したことがある		利用したことはないが、利用の仕方は知っている		利用したことはないが、存在は知っている		利用したことがなく、存在も知らない		無効・無回答	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	スチューデントプラザ 総合相談窓口	389	17.4%	150	6.7%	1,215	54.3%	475	21.2%	7	0.3%
2	春日地区総合相談窓口	44	2.0%	74	3.3%	465	20.8%	1,645	73.6%	8	0.4%
3	保健管理センター 学生相談室	345	15.4%	228	10.2%	1,122	50.2%	534	23.9%	7	0.3%
4	キャリア・就職相談（学生）	183	8.2%	149	6.7%	1,008	45.1%	888	39.7%	8	0.4%
5	相談室「あう」	23	1.0%	41	1.8%	290	13.0%	1,871	83.7%	11	0.5%
6	保健管理センター 1階 精神保健相談（精神科）	193	8.6%	252	11.3%	1,008	45.1%	772	34.5%	11	0.5%
7	保健管理センター 2階 健康相談（内科）	364	16.3%	233	10.4%	934	41.8%	692	30.9%	13	0.6%
8	LGBT等の相談窓口（DACセンターダイバーシティ部門）	20	0.9%	50	2.2%	536	24.0%	1,607	71.9%	23	1.0%
9	障害学生支援の相談窓口（DACセンターアクセシビリティ部門）	34	1.5%	65	2.9%	588	26.3%	1,528	68.3%	21	0.9%
10	留学生相談室	42	1.9%	68	3.0%	679	30.4%	1,433	64.1%	14	0.6%
11	ハラスメント相談センター	18	0.8%	46	2.1%	449	20.1%	1,705	76.3%	18	0.8%

20. 定期的に読む学内広報誌（複数選択）

	回答数	回答率
1 筑波大学新聞	443	19.8%
2 つくばスチューデント	57	2.5%
3 Campus	140	6.3%
4 筑波スポーツ	74	3.3%
5 TSUKUBA SPORTS NEWS FLASH (TSA)	31	1.4%
6 その他	33	1.5%
7 どれも読まない	1,680	75.1%
合計	2,458	

V. クラス制度・学生組織・課外活動等について

21. クラスの機能（1、2年生）（複数選択）

	回答数	回答率
1 大学への要望をまとめる	130	10.8%
2 大学からの情報を学生に連絡する	355	29.4%
3 勉強会を行う	78	6.5%
4 行事を企画運営する	219	18.2%
5 友人・知り合いをつくる	606	50.2%
6 クラス担任教員とのつながりを維持する	299	24.8%
7 その他	35	2.9%
8 機能していない	300	24.9%
無効・無回答	14	1.2%
合計	2,036	

22. 学生組織の活動（1、2年生）（複数選択）

	よく知っている		まあまあ知っている		あまり知らない		全く知らない		無効・無回答	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1 クラス代表者会議の活動	160	12.9%	262	21.2%	487	39.4%	276	22.3%	51	4.1%
2 全学学類・専門学群代表者会議（全大会の活動）	73	5.9%	205	16.6%	495	40.1%	402	32.6%	60	4.9%

23. サークル活動

	回答数	回答率
1 大学から認定されたサークルで活動中	1,345	60.2%
2 大学の認定を受けていないサークルで活動中	83	3.7%
3 「1」と「2」両方のサークルで活動中	109	4.9%
4 以前は活動していた	345	15.4%
5 活動したことはない	354	15.8%
合計	2,236	

23-1. サークル活動の動機（複数選択）

	回答数	回答率
1 友人がほしくて	1,003	53.3%
2 知識・教養のため	425	22.6%
3 健康のため	415	22.1%
4 技術向上のため	694	36.9%
5 団体活動を経験したい	412	21.9%
6 趣味と一致	939	49.9%
7 余暇の利用のため	493	26.2%
8 レクリエーションの一環で	264	14.0%
9 希望の進路と同じで有益	98	5.2%
10 就職などにプラス	147	7.8%
11 高校時代からの継続	398	21.1%
12 勧誘されて	259	13.8%
13 社会貢献のため	83	4.4%
14 その他	40	2.1%
無効・無回答	112	6.0%
合計	5,782	

24. ①～④カルト宗教等への参加勧誘

		ある		ない	
		回答数	回答率	回答数	回答率
1	大学入学後、キャンパス内で勧誘を受けたことが	354	15.8%	1,882	84.2%
2	大学入学後、キャンパス外で勧誘を受けたことが	765	34.2%	1,471	65.8%
3	大学入学後、キャンパス内で他の人が勧誘を受けているのを見たり、聞いたりしたことが	600	26.8%	1,636	73.2%
4	大学入学後、キャンパス外で他の人が勧誘を受けているのを見たり、聞いたりしたことが	776	34.7%	1,460	65.3%

25. ボランティア活動（複数選択）

		回答数	回答率
1	授業やゼミを通じて参加したことがある	110	4.9%
2	つくばアクションプロジェクト（T-ACT）を通じて参加したことがある	89	4.0%
3	サークル活動を通じて参加したことがある	343	15.3%
4	その他の機会に参加したことがある	279	12.5%
5	参加したことはないが、在学中に参加したいと考えている	548	24.5%
6	ボランティア活動に参加する予定はない	1,003	44.9%
合計		2,372	

26. T-ACT の活動（複数選択）

		回答数	回答率
1	T-ACT で企画の発案者（プランナー）や運営者（オーガナイザー）を行ったことがある	83	3.7%
2	T-ACT の企画に参加者（パーティシパント）として関わったことがある	148	6.6%
3	総合科目「みんなで創ろう『つくばアクションプロジェクト』」を受けたことがある	154	6.9%
4	T-ACT 主催のイベント（活動報告会や公開シンポジウムなど）に参加したことがある	39	1.7%
5	その他の機会です T-ACT に関わったことがある	62	2.8%
6	参加したことはないが、在学中に参加したいと考えている	405	18.1%
7	T-ACT の活動に参加する予定はない	1,435	64.2%
合計		2,326	

27. 学外研修施設利用の有無

		回答数	回答率
1	ある	242	10.8%
2	ない	747	33.4%
3	存在を知らない	1,247	55.8%
合計		2,236	

VI. 進路や就職活動について

28. 卒業後の進路

	回答数	回答率
A1 筑波大学大学院	667	29.8%
A2 国内の他大学大学院	128	5.7%
A3 海外の大学院	49	2.2%
A4 (進学) その他	15	0.7%
B1 企業	492	22.0%
B2 教員	131	5.9%
B3 公務員	230	10.3%
B4 自営・起業	12	0.5%
B5 (就職) その他	183	8.2%
C1 決まっていない	285	12.7%
C2 まだ考えていない	32	1.4%
C3 その他	12	0.5%
合計	2,236	

29. 外国での就労希望度

	回答数	回答率
1 強くそう思う	176	7.9%
2 ややそう思う	518	23.2%
3 分からない	439	19.6%
4 あまりそう思わない	571	25.5%
5 全くそう思わない	532	23.8%
合計	2,236	

30. 進路決定の相談相手 (複数選択)

	回答数	回答率
1 家族	1,754	78.4%
2 親戚・知人	234	10.5%
3 友人・先輩	1,345	60.2%
4 教員	446	19.9%
5 事務職員	39	1.7%
6 その他	156	7.0%
合計	3,974	

31. 進路決定の理由 (複数選択)

	回答数	回答率
1 やりがいい	1,307	58.5%
2 社会的貢献	635	28.4%
3 給与が多い	768	34.3%
4 安定した生活	1,177	52.6%
5 ワーク・ライフ・バランス	794	35.5%
6 自分の能力や適性	1,250	55.9%
7 専門知識を深める	664	29.7%
8 大学で学んだことが生かせる	652	29.2%
9 社会的評価	410	18.3%
10 将来性	793	35.5%
11 地理的利便性	335	15.0%
12 その他	92	4.1%
合計	8,877	

32. 進路についての感じ方

	よくあてはまる		ややあてはまる		どちらともいえない		あまりあてはまらない		全くあてはまらない		無効・無回答	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1 将来の進路(キャリア形成)について、とても関心を持っている	930	41.6%	770	34.4%	309	13.8%	161	7.2%	60	2.7%	6	0.3%
2 働くことについて、真剣に考えたことがない	141	6.3%	344	15.4%	358	16.0%	684	30.6%	702	31.4%	7	0.3%
3 進路決定では、周囲の雰囲気には流されることはない	717	32.1%	633	28.3%	575	25.7%	233	10.4%	74	3.3%	4	0.2%
4 職業生活を充実させるためには、自分自身の責任が大きいと思う	1,196	53.5%	736	32.9%	243	10.9%	34	1.5%	24	1.1%	3	0.1%
5 希望する進路に進むための具体的な計画を立てている	276	12.3%	590	26.4%	616	27.5%	521	23.3%	228	10.2%	5	0.2%
6 希望する進路は決まっているが、それに向けての努力は特にしていない	139	6.2%	406	18.2%	701	31.4%	596	26.7%	385	17.2%	9	0.4%

33. CARIO 活用の有無

		回答数	回答率
1	現在、活用している	10	0.4%
2	時々、活動している	109	4.9%
3	フレッシュマンセミナーでのみ活用した	995	44.5%
4	活用していない	1,122	50.2%
合計		2,236	

34. 就職活動の情報源（複数選択）

		回答数	回答率
1	キャリアサポート部門 / 就職課	142	27.3%
2	キャリアサポート部門 / 就職課 HP	116	22.3%
3	学内の就職ガイダンス	200	38.4%
4	学群・学類の就職委員	50	9.6%
5	就職情報誌	48	9.2%
6	就職情報サイト	211	40.5%
7	学外の就職イベント	155	29.8%
8	企業・自治体等の HP	179	34.4%
9	インターンシップ	190	36.5%
10	OB・OG 訪問	63	12.1%
11	その他	28	5.4%
合計		1,382	

35. 就職活動の学修への影響

		回答数	回答率
1	支障は全くでていない	120	29.2%
2	支障はほとんどでていない	123	29.9%
3	支障が多少はでている	132	32.1%
4	支障がととてもでている	36	8.8%
合計		411	

Ⅶ. 本学への期待や要望について

36. 教員に期待すること

	回答数	回答率
1 学問・研究の楽しさを教えてほしい	849	38.0%
2 授業内容を充実させてほしい	542	24.2%
3 もっと解りやすく教えてほしい	515	23.0%
4 ハラスメントの問題に敏感になってほしい	34	1.5%
5 その他	56	2.5%
6 特になし	240	10.7%
合計	2,236	

37. 教育面や制度面で充実してほしい点（複数選択）

	回答数	回答率
1 教育スタッフ	681	30.5%
2 カリキュラム	1,014	45.3%
3 教職課程	342	15.3%
4 課外教育プログラム（講演会・講習会等）	304	13.6%
5 留学制度	518	23.2%
6 就職説明会	453	20.3%
7 クラス制度	238	10.6%
8 学生組織	178	8.0%
9 奨学金・授業料免除	873	39.0%
10 課外活動に対する支援	344	15.4%
11 ボランティア活動に対する支援	166	7.4%
12 メンタル面に関する支援	234	10.5%
13 ハラスメント対応（組織・制度）	72	3.2%
14 その他	89	4.0%
合計	5,506	

38. manaba の使いやすさ

	回答数	回答率
1 満足	405	18.1%
2 まあ満足	1,105	49.4%
3 普通	540	24.2%
4 やや不満	148	6.6%
5 不満	38	1.7%
合計	2,236	

39. manaba の利用状況

	回答数	回答率
1 満足	378	16.9%
2 まあ満足	1,018	45.5%
3 普通	661	29.6%
4 やや不満	136	6.1%
5 不満	43	1.9%
合計	2,236	

40. 今後の授業での manaba の利用について

	回答数	回答率
1 積極的に利用してほしい	865	38.7%
2 現状程度でいい	1,312	58.7%
3 利用しないほうがいい	59	2.6%
合計	2,236	

41. 整備・充実してほしい施設等（複数選択）

	回答数	回答率
1 教室・実験室	827	37.0%
2 図書館	843	37.7%
3 IT環境	610	27.3%
4 体育施設	412	18.4%
5 課外活動施設	279	12.5%
6 セキュリティ	272	12.2%
7 駐車場	315	14.1%
8 駐輪場	1,050	47.0%
9 学内循環バス	607	27.1%
10 ペDESTリアン	775	34.7%
11 外灯	869	38.9%
12 その他	143	6.4%
合計	7,002	

42. 福利厚生施設満足度

	満足		まあ満足		普通		やや不満		不満		無効・無回答	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1 食堂	426	19.1%	652	29.2%	498	22.3%	357	16.0%	301	13.5%	2	0.1%
2 喫茶	446	19.9%	616	27.5%	816	36.5%	202	9.0%	153	6.8%	3	0.1%
3 パン販売	844	37.7%	741	33.1%	452	20.2%	125	5.6%	71	3.2%	3	0.1%
4 キッチンカー	298	13.3%	426	19.1%	1,162	52.0%	186	8.3%	155	6.9%	9	0.4%
5 書店	565	25.3%	816	36.5%	577	25.8%	197	8.8%	75	3.4%	6	0.3%
6 画材	366	16.4%	433	19.4%	1,292	57.8%	67	3.0%	71	3.2%	7	0.3%
7 その他売店	349	15.6%	576	25.8%	1,080	48.3%	126	5.6%	95	4.2%	10	0.4%
8 自動販売機	493	22.0%	655	29.3%	695	31.1%	248	11.1%	116	5.2%	29	1.3%

43. キャンスマナーの向上を望むこと（複数選択）

	回答数	回答率
1 運転マナー	1,037	46.4%
2 駐輪マナー	1,473	65.9%
3 飲酒マナー	440	19.7%
4 談話室等共有スペースの利用マナー	287	12.8%
5 喫煙マナー	205	9.2%
6 その他	53	2.4%
7 特になし	340	15.2%
合計	3,835	

平成 29 年度学生生活実態調査 [学群]

平成 30 年 3 月発行

編集 学生生活支援室
表紙デザイン：田中佐代子（芸術系 教授）

発行 筑波大学
つくば市天王台 1-1-1
☎ 029-853-2298、2224

University of Tsukuba

